
第 25 回
市政に関する世論調査

調査報告書

平成 27 年度

鹿 沼 市

目 次

第1章 調査の概要・調査票

1 調査目的.....	3
2 調査の設計	3
3 調査機関.....	3
4 回収結果.....	3
5 報告書の表記について	3
6 調査票	5

第2章 回答者の属性

1 性別.....	19
2 年代別	19
3 職業別	20
4 居住地区別（15 地区）	21
5 居住地区別（2 地区）	22
6 居住年数別	22

第3章 調査結果の分析

1 暮らしの変化.....	25
2 市の魅力の発信	39
3 市歌について.....	42
4 市政に対する現状評価	46
5 ごみ処理手数料について.....	53
6 人権について.....	57
7 青少年の健全育成について	64
8 住環境について	77
9 公共施設の利用について.....	105
10 消防団について	114
11 広報活動について	125

第 1 章

調査の概要・調査票

1 調査目的

市民の生活や市政に対するご意見やご要望を把握し、今後の市政運営のあり方の基礎資料とすることを目的としている。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 鹿沼市全域
- (2) 調査対象 平成 27 年 6 月 1 日現在、鹿沼市に居住する満 20 歳以上 80 歳未満の男女
- (3) 対象人数 2,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの等間隔無作為抽出
(①地域別・②性別・③年代別)
- (5) 調査時期 平成 27 年 7 月 15 日 (水) ～ 7 月 31 日 (金)
- (6) 調査方法 郵送による配付・回収
- (7) 調査内容 属性質問 5 問 一般設問 29 問

3 調査機関 鹿沼市秘書課広報広聴係

4 回収結果

標本数	回収数	回収率
2,000 標本	750 件	37.5%

5 報告書の表記について

- (1) 調査結果の比率はすべて百分比 (%) で表しており、その質問の回答者数を基数として、小数第 2 位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- (3) グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表す。
- (4) クロス集計では、例えば性別の場合、性別を回答していない人がいるため、男性と女性の合計が「全体」にならない。年齢や他の設問間クロス集計においても同様となる。また、表側項目の無回答を除いて集計しているため、各項目の「n」の合計が「全体」と一致しない場合がある。
- (5) 質問の選択肢は意味を損なわない程度に省略した表現を用いていることがある。
- (6) 標本数 (n) が 10 未満の項目についてはコメントをしない。



第25回市政に関する世論調査

平成27年7月

[あなたご自身について]

あてはまる番号に、○を1つ付けてください。

★1 あなたの性別は。

1 男 2 女

★2 あなたの年齢は。

1 20代 2 30代 3 40代 4 50代
5 60代 6 70歳以上

★3 あなたの職業は。

- 1 専門職（医師、弁護士、大学教授、僧侶など）
- 2 管理職（官公庁や事業所の重役、部課長など）
- 3 事務・技術職（一般事務、公務員、技師、教員、看護師など）
- 4 販売・生産・労務職（店員、工員、職人、運転手、作業員など）
- 5 農林水産業従事者
- 6 自営業
- 7 パート・アルバイト
- 8 主に家事、育児をしている
- 9 学生
- 10 無職
- 11 その他

★4 あなたのお住まいの地区は。

- | | | | | |
|----------------|--------|-----------------|-------|-------|
| 1 鹿沼（中央・東部・北部） | 2 板荷 | 3 西大芦 | | |
| 4 加蘇 | 5 北犬飼 | 6 南摩 | 7 南押原 | 8 東大芦 |
| 9 菊沢 | 10 北押原 | 11 東部台 | 12 粟野 | 13 粕尾 |
| 14 永野 | 15 清洲 | 16 地区名がわからない（町名 | ） | |

★5 鹿沼市（旧栗野町を含む）に住んで何年ですか。

1 5年以下 2 6～10年 3 11～20年 4 21年以上

1) 暮らしの変化

問1 あなたの生活は、暮らし向きや生活環境などを含めて、総じて2～3年の間にどう変わったと思いますか。次の中から**1つ**選んでください。

- 1 かなり良くなった 2 少し良くなった … 問1-1へ
 3 変わらない
 4 少し悪くなった 5 かなり悪くなった … 問1-2へ



問1で1番あるいは2番とお答えの方にお聞きします。

問1-1 どういうところが良くなったと思いますか。次の中から**いくつでも**選んでください。

- 1 家計の状態
 2 通勤や買い物の便利さ
 3 道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ
 4 道路や通学路の安全性
 5 商品の品質・安全性
 6 ごみの収集や処理の状況
 7 地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ
 8 近所の風紀
 9 レジャー施設
 10 その他 ()

問1で4番あるいは5番とお答えの方にお聞きします。

問1-2 どういうところが悪くなったと思いますか。次の中から**いくつでも**選んでください。

- 1 家計の状態
 2 通勤や買い物の便利さ
 3 道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ
 4 道路や通学路の安全性
 5 商品の品質・安全性
 6 ごみの収集や処理の状況
 7 地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ
 8 近所の風紀
 9 レジャー施設
 10 その他 ()

問2 暮らしや趣味などさまざまな情報を、主にどんなメディア（情報媒体）から入手していますか。次の中から**いくつでも**選んでください。

- 1 テレビ 2 ラジオ 3 ホームページ 4 ツイッター・フェイスブック等
 5 新聞 6 コミセンだより 7 広報紙 8 その他 ()

2) 市の魅力の発信

問3 鹿沼市には、豊かな自然や彫刻屋台などの伝統文化、かぬまブランドをはじめとした様々な特産品などたくさんの魅力があります。そのなかでも、鹿沼を代表するイメージはなんだと思いますか。 3つまで 自由にご記入ください。

{ } { } { }

問4 あなただけが知っている、鹿沼の隠れた魅力を教えてください。

{ }

問5 かぬまブランド品として、「いちご」「かぬま和牛」「鹿沼そば」「さつき」「鹿沼こんにゃく」「鹿沼組子」「いちご大福」「はちみつ」など36品目あります。かぬまブランド品を知っていますか。次の中から 1つ 選んでください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 ほとんど知っている | 2 半分は知っている |
| 3 1品～5品程度は知っている | 4 知らない |

3) 市歌

問6 市で定めている市歌を知っていますか。次の中から 1つ 選んでください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 知っているし歌うことができる | 2 知っているが歌えない |
| 3 知らない | |

問7 市歌を市民の皆さんに広く知っていただくためには、どんなことをするべきだと思いますか。次の中から いくつでも 選んでください。

- | |
|------------------------------|
| 1 歌う機会を増やす |
| 2 聞く機会を増やす |
| 3 テンポなど曲調を変える |
| 4 合唱版やマーチングバンド版などバリエーションを増やす |
| 5 その他 () |



4) 市政に対する現状評価等

- 問8 現在の鹿沼市の施策や生活環境について、どのように感じているかお答えください。下記の項目ごとに、評価欄にある番号に○印を付けてください。
評価基準：1 満足、2 やや満足、3 普通、4 やや不満、5 不満



	項 目	評 価				
1	子どもの遊び場、公園の整備	1	2	3	4	5
2	住宅施策の充実（宅地、市営住宅、空き家）	1	2	3	4	5
3	上水道の整備	1	2	3	4	5
4	下水道の整備	1	2	3	4	5
5	ごみ処理対策（分別、リサイクルなど）	1	2	3	4	5
6	河川の整備	1	2	3	4	5
7	環境保全対策（美化運動、不法投棄対策など）	1	2	3	4	5
8	公害対策（騒音、大気汚染、放射能、水質汚濁防止など）	1	2	3	4	5
9	資源エネルギー対策	1	2	3	4	5
10	区画整理事業・中心市街地の整備	1	2	3	4	5
11	公共交通機関の整備	1	2	3	4	5
12	道路・歩道の整備	1	2	3	4	5
13	地域産業の基盤強化	1	2	3	4	5
14	農業の振興	1	2	3	4	5
15	林業の振興・森林資源の活用	1	2	3	4	5
16	商工業の振興	1	2	3	4	5
17	観光の振興	1	2	3	4	5
18	保健・医療体制の充実	1	2	3	4	5
19	高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5
20	障がい福祉の充実	1	2	3	4	5
21	子育て支援の充実	1	2	3	4	5
22	人口減少対策への対応（少子化、結婚出産対策）	1	2	3	4	5
23	地域における福祉活動	1	2	3	4	5
24	消防・救急・救助体制	1	2	3	4	5
25	防災対策・災害に対する安全性	1	2	3	4	5
26	交通安全対策	1	2	3	4	5
27	人権が尊重される明るい社会の実現	1	2	3	4	5
28	男女共同参画社会の形成	1	2	3	4	5
29	学校教育の充実	1	2	3	4	5
30	生涯学習の推進	1	2	3	4	5

評価基準：1 満足、2 やや満足、3 普通、4 やや不満、5 不満

31	青少年の健全育成	1	2	3	4	5
32	芸術文化の振興	1	2	3	4	5
33	スポーツ・レクリエーション施策の充実	1	2	3	4	5
34	情報インフラの整備	1	2	3	4	5
35	国際化の推進	1	2	3	4	5
36	広報・広聴の充実	1	2	3	4	5
37	雇用環境の充実	1	2	3	4	5
38	地域でのコミュニケーション、近所づきあい	1	2	3	4	5
39	日常の買い物の利便性	1	2	3	4	5
40	市の魅力の発信、イメージアップPR	1	2	3	4	5
41	定住移住策の推進	1	2	3	4	5
42	中山間地域の振興	1	2	3	4	5
43	自然環境の豊かさ	1	2	3	4	5
44	他市等との広域連携、都市間交流	1	2	3	4	5
45	市役所職員の市民への対応（説明の分かりやすさ等）	1	2	3	4	5
46	まちの住みやすさ	1	2	3	4	5

問 8 - 1 問 8 の 46 項目の中から、今後のまちづくりで特に重点をおくべきと思う項目を **5 つ** まで選んで、番号を記入してください。

--	--	--	--	--

問 9 現在の「第 6 次鹿沼市総合計画」では、『花と緑と清流のまち』と『笑顔あふれる優しいまち』を目指しています。新たな総合計画策定にあたり、鹿沼市の「将来イメージ」としてふさわしいと思う、キーワードとなる言葉を **3 つ** までご記入ください。

{ } { } { }

問 1 0 鹿沼市の人口減少が加速しています。平成 13 年 3 月の 104,916 人をピークに、昨年 4 月に 10 万人を切り、今年 5 月には 9 万 9 千人を切りました。人口規模が直接、住み良さにつながるものではありませんが、全国的な人口減少傾向が進行する中で、本市の人口規模はどの程度が望ましいと思いますか？ 次の中から **1 つ** 選び、その理由があればご記入ください。

- | | | |
|---|---------|-----|
| 1 | 20 万人程度 | () |
| 2 | 15 万人程度 | () |
| 3 | 10 万人程度 | () |
| 4 | 8 万人程度 | () |
| 5 | その他 | () |



7) 青少年の健全育成



問 1 6 家庭で身につけるべきことは、どんなことが重要だと思いますか。下記の項目ごとに、評価欄にある番号に○印を付けてください。

評価基準：1 とても重要、2 重要、3 あまり重要でない、4 まったく重要でない

	項 目	評 価			
1	他人に迷惑をかけない	1	2	3	4
2	礼儀作法を身につける	1	2	3	4
3	お金や物を大切にする	1	2	3	4
4	物事を計画し、実行する	1	2	3	4
5	言ったことは責任をもつ	1	2	3	4
6	やり抜く我慢強さ	1	2	3	4
7	思いやりの心	1	2	3	4
8	異なる意見を尊重する	1	2	3	4

問 1 7 ひきこもり予防や支援のため、どのような取り組みが必要と思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

- 1 家庭教育の見直しや、家庭内コミュニケーションの充実
- 2 学校における児童・生徒への相談支援体制の充実
- 3 学校における職業に関する教育の充実
- 4 専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実
- 5 職場におけるメンタルケア等の充実
- 6 地域の相談支援や支援ネットワークの充実
- 7 国・地方公共団体における自立支援策の充実
- 8 児童委員・民生委員や自治会等の地域コミュニティによる取り組み

問 1 8 身内のひきこもりで悩んだ場合、だれに相談しますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | | | | |
|----------------|---------------|------|----------|-------|
| 1 父 | 2 母 | 3 兄弟 | 4 祖父母、親類 | 5 配偶者 |
| 6 学校（学生時代）の友人 | 7 学校の先生 | | | |
| 8 学校の先輩 | 9 職場の同僚・上司や先輩 | | | |
| 10 近所の人 | 11 インターネットの友達 | | | |
| 12 インターネットのサイト | 13 恋人 | | | |
| 14 公的相談機関 | 15 誰にも相談しない | | | |

8) 住環境

問 19 住環境について、下記の項目ごとに、評価欄にある番号に○印を付けてください。

評価基準：1 満足、2 やや満足、3 普通、4 やや不満、5 不満

	項 目	評 価				
1	通勤通学の便利さ	1	2	3	4	5
2	景観の美しさ	1	2	3	4	5
3	医療・福祉施設への近さ	1	2	3	4	5
4	公共施設への近さ	1	2	3	4	5
5	住んでいる地域の活気	1	2	3	4	5
6	鹿沼市全体の活気	1	2	3	4	5
7	鹿沼市は住みやすい所だと思うか	1	2	3	4	5

問 20 今後も今の場所に住み続けたいですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これからもずっと住み続けたい 2 どちらかといえば住み続けたい。
3 市内の他の場所に移りたい 4 市外へ引っ越したい 5 わからない

問 20 で 1 番あるいは 2 番とお答えの方にお聞きします。

問 20-1 住み続けたい理由を次の中から1つ選んでください。

- 1 家や土地がある 2 地域や人に愛着がある
3 日常生活が便利 4 住居環境がよい
5 仕事があるから 6 通勤、通学に便利
7 充実した余暇・趣味が楽しめる 8 その他 ()

問 20 で 3 番あるいは 4 番とお答えの方にお聞きします。

問 20-2 引っ越したい理由を次の中から1つ選んでください。

- 1 家や土地が取得しにくい 2 地域や人になじめない
3 日常生活が不便 4 住居環境が悪い
5 仕事がない 6 通勤、通学に不便
7 充実した余暇・趣味を楽しめない
8 その他 ()



問 2 1 市は、住まいづくりや定住化について、どのような取り組みをすべきと思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1 住宅に関する相談窓口 | 2 より良い選択ができるような住宅情報 |
| 3 鹿沼市の特色を生かした木造住宅への取り組み | |
| 4 地域振興策としての住まいづくり | 5 景観に合った住まいづくり |
| 6 高齢者や障がい者にやさしいバリアフリー等の取り組み | |
| 7 医療・福祉施設との連携のとれた（公共）住宅等の整備 | |
| 8 自然と共生した、省エネの工夫された環境にやさしい住宅づくり | |
| 9 防犯への取り組み | 10 耐震等の防災への取り組み |
| 11 若者やファミリー世帯の住宅取得への支援 | |
| 12 市外居住者やUターン者への定住化に向けた支援 | |
| 13 住宅建設費や家賃に対する支援 | 14 市営住宅等の公共住宅の整備 |
| 15 その他（ ） | |

9) 公共施設の利用

問 2 2 図書館のうち1年以内に利用したものを、次の中からいくつでも選んでください。

- | | | |
|-------------|-------|-------|
| 1 図書館本館 | 2 東分館 | 3 栗野館 |
| 4 利用したことがない | | |



問 2 2 で1・2・3番とお答えの方にお聞きします。

問 2 2 - 1 図書館を利用した目的について、次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 図書、視聴覚資料等を借りる | 2 勉強や学習 |
| 3 行事や催し物に参加 | 4 その他（ ） |

問 2 2 で4番とお答えの方にお聞きします。

問 2 2 - 2 図書館を利用しない理由について、次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 本や必要な情報は行かなくても手に入る | 2 必要な本や資料がない |
| 3 図書館が遠い | 4 本は購入してしまう |
| 5 その他（ ） | |

問 2 3 市民文化センターでどのような催しを観たいですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 歌謡曲等のコンサート | 2 クラシックコンサート |
| 3 親子向けのイベント | 4 演劇・ミュージカル |
| 5 落語・お笑い | 6 伝統芸能（能・狂言・歌舞伎等） |
| 具体的な出演者・演目などを記入してください。（ ） | |

10) 消防団の充実強化

- 問 2 4 鹿沼市消防団は、団員定数 8 3 5 人の団本部と地域単位の 1 4 分団によって構成され、本市の消防防災活動に取り組んでいます。消防団活動について、知っていますか。
次の中から 1つ 選んでください。



- | | |
|-----------|---------|
| 1 よく知っている | 2 知っている |
| 3 少し知っている | 4 わからない |

- 問 2 5 全国的に消防団員が減っており、地域の消防防災力の低下が心配されています。あなたは、消防団への入団について、どのように思いますか。次の中から 1つ 選んでください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 入団したい | 2 話があれば入団してもよい |
| 3 できれば入団したくない | 4 絶対に入団したくない |
| 5 どちらともいえない | |

- 問 2 6 入団に際して支障になると思うこと、または入団したくないと思う理由は、どのようなことですか。次の中からあてはまるものを いくつでも 選んでください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 体力に自信がない、または高齢であるため |
| 2 災害現場での活動が危険だと思っから |
| 3 仕事や家事、育児、介護などで、参加できる時間がない |
| 4 趣味など、自分の時間を大切にしたい |
| 5 消防団の活動内容が分からない |
| 6 入団の仕方がわからない、または入団を誘われていない |
| 7 報酬や福利厚生など、待遇がよくないから |
| 8 地域防災や消防団の活動に関心がない |
| 9 勤務先の理解が得られない、または仕事に支障が出ると思っから |
| 10 家族の理解が得られない、または家族の負担となると思っから |
| 11 消防団に対するイメージが良くないため |
| 12 以前、消防団に入団していたため |

1.1) 広報活動

問27 広報かぬまのどんな記事をよく読みますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|----------|---------|--------------|
| 1 特集記事 | 2 市民の広場 | 3 かぬまフラッシュ |
| 4 みんなの健康 | 5 お知らせ | 6 制度・事業のお知らせ |
| 7 その他() | | 8 広報を読んでいない |

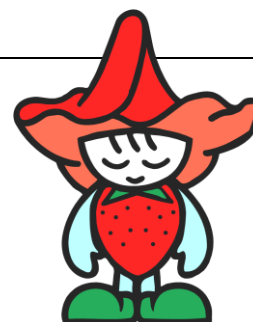
問28 市のホームページで一番知りたい情報は何ですか。次の中から1つ選び、具体的に知りたい情報をご記入ください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 暮らし・手続き() | 2 福祉・健康() |
| 3 子育て・教育() | 4 安全・安心() |
| 5 その他() | 6 ホームページは見ない |

1.2) 自由意見

問29 市政全般でご意見等がありましたら、次の欄内に自由にお書きください。

★ ご協力ありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、
7月31日(金)までにご投函ください。

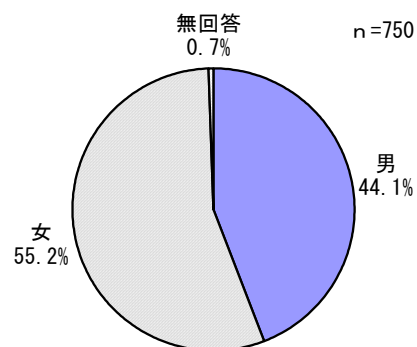


第2章

回答者の属性

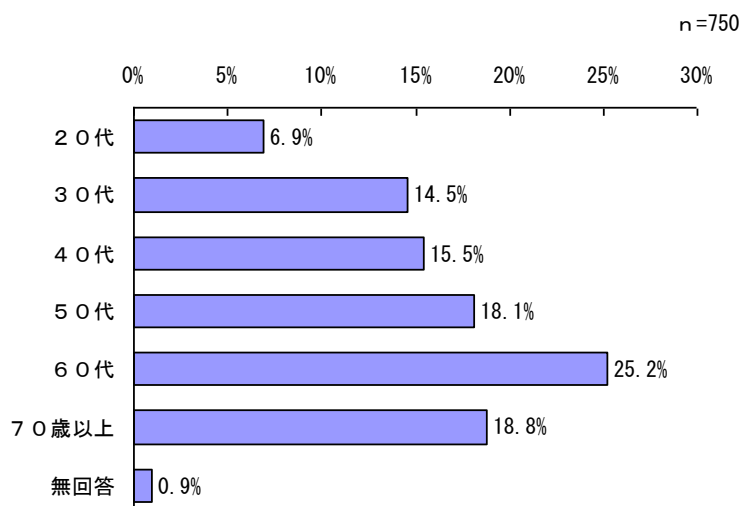
1 性別

選択肢	基数(n)	構成比(%)
男	331	44.1
女	414	55.2
無回答	5	0.7
全体	750	100.0



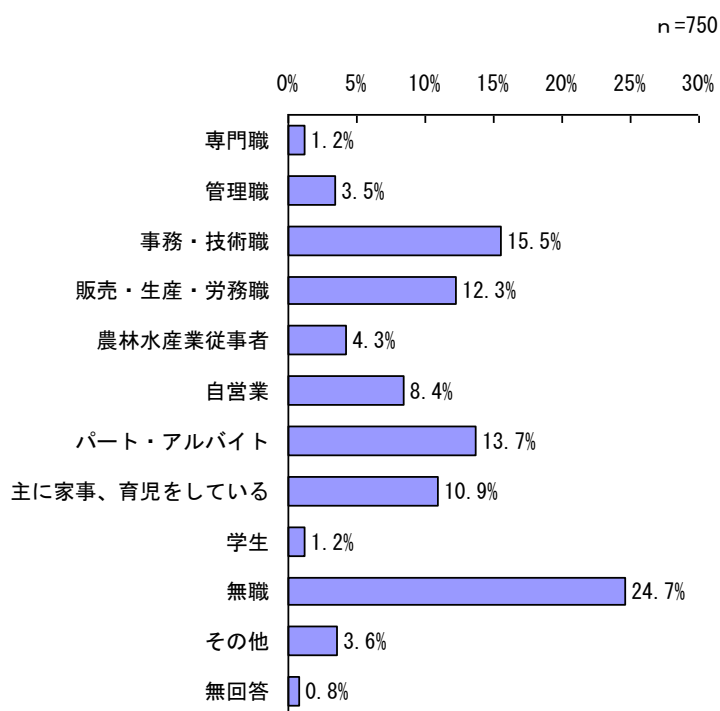
2 年代別

選択肢	基数(n)	構成比(%)
20代	52	6.9
30代	109	14.5
40代	116	15.5
50代	136	18.1
60代	189	25.2
70歳以上	141	18.8
無回答	7	0.9
全体	750	100.0



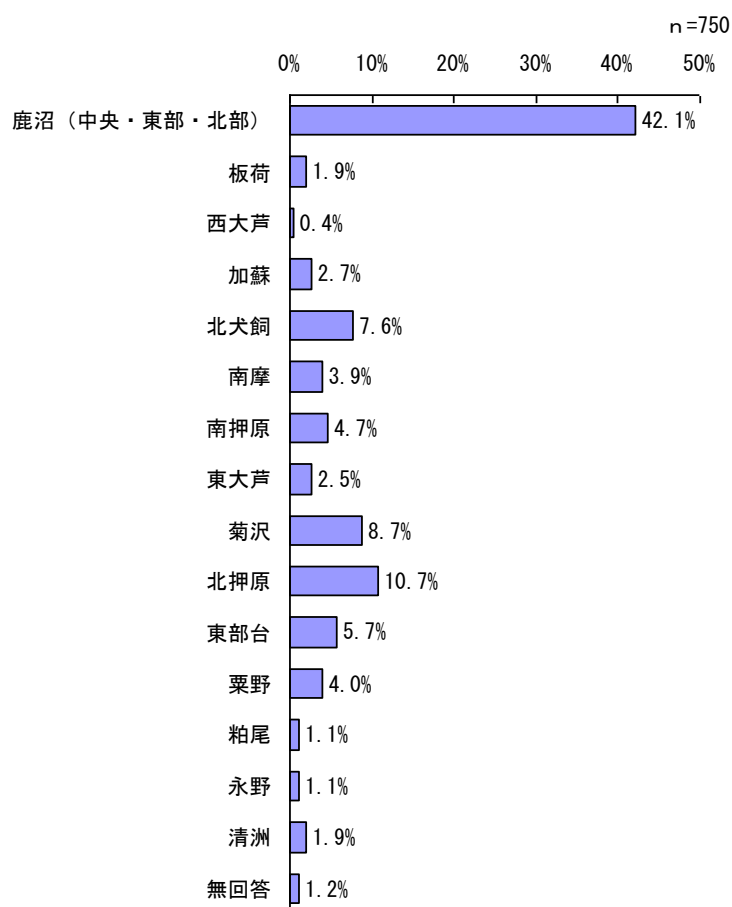
3 職業別

選択肢	基数(n)	構成比(%)
専門職	9	1.2
管理職	26	3.5
事務・技術職	116	15.5
販売・生産・労務職	92	12.3
農林水産業従事者	32	4.3
自営業	63	8.4
パート・アルバイト	103	13.7
主に家事、育児をしている	82	10.9
学生	9	1.2
無職	185	24.7
その他	27	3.6
無回答	6	0.8
全体	750	100.0



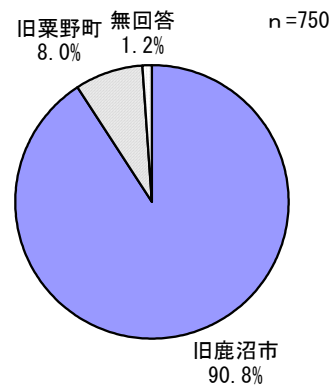
4 居住地区別（15 地区）

選択肢	基数(n)	構成比(%)
鹿沼（中央・東部・北部）	316	42.1
板荷	14	1.9
西大芦	3	0.4
加蘇	20	2.7
北犬飼	57	7.6
南摩	29	3.9
南押原	35	4.7
東大芦	19	2.5
菊沢	65	8.7
北押原	80	10.7
東部台	43	5.7
粟野	30	4.0
粕尾	8	1.1
永野	8	1.1
清洲	14	1.9
無回答	9	1.2
全体	750	100.0



5 居住地区別（2地区）

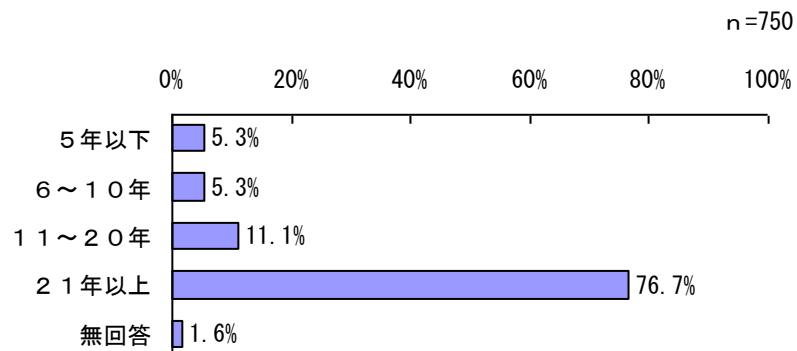
選択肢	基数(n)	構成比(%)
旧鹿沼市	681	90.8
旧栗野町	60	8.0
無回答	9	1.2
全体	750	100.0



- ・旧鹿沼市：鹿沼（中央・東部・北部）、板荷、西大芦、加蘇、北犬飼、南摩、南押原、東大芦、菊沢、北押原、東部台
- ・旧栗野町：粟野、粕尾、永野、清州

6 居住年数別

選択肢	基数(n)	構成比(%)
5年以下	40	5.3
6～10年	40	5.3
11～20年	83	11.1
21年以上	575	76.7
無回答	12	1.6
全体	750	100.0



第3章

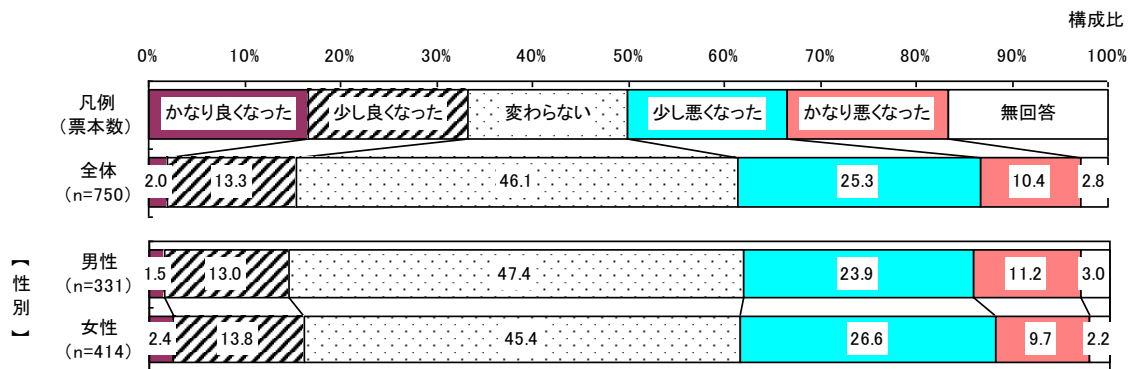
調査結果の分析

1 暮らしの変化

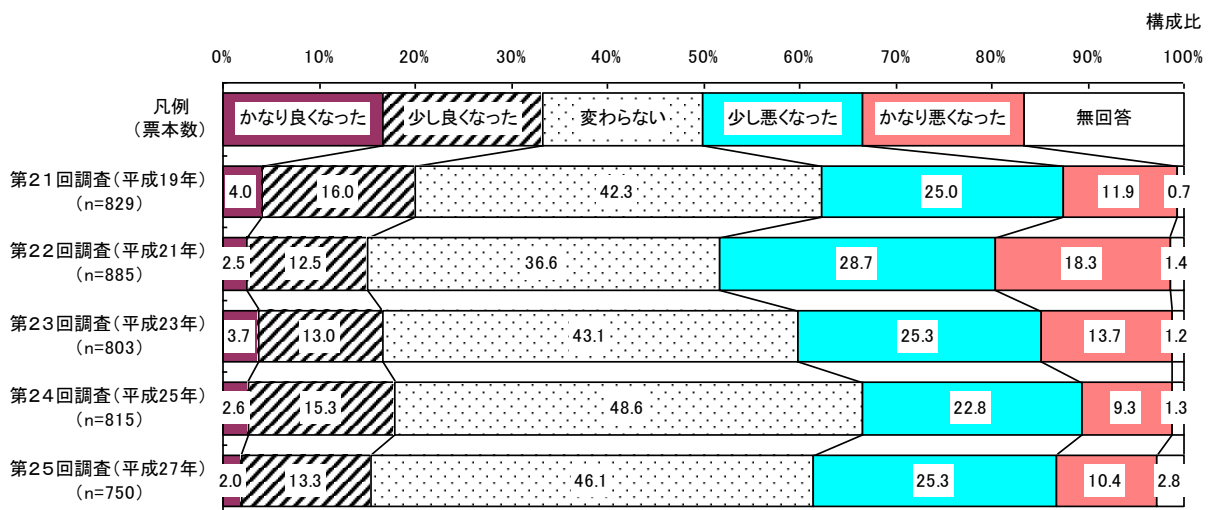
(1) ここ2～3年の暮らし向きの変化

問1 あなたの生活は、暮らし向きや生活環境などを含めて、総じて2～3年の間にどう変わったと思いますか。次の中から1つ選んでください。

問1 暮らしの変化【性別】(SA)

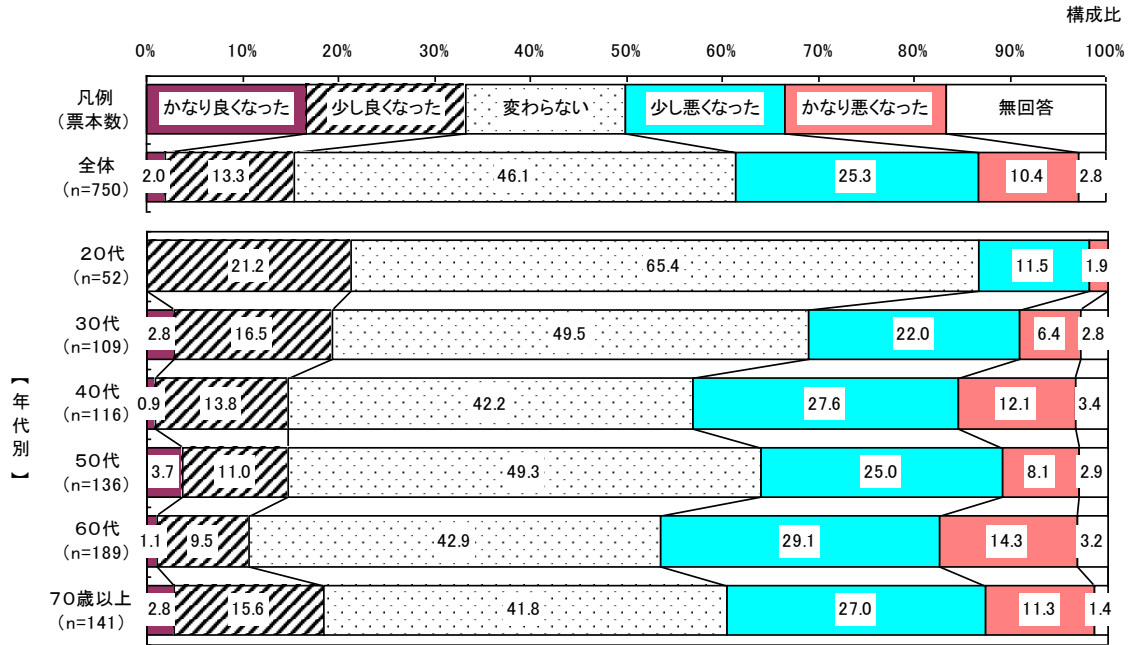


問1 暮らしの変化【経年変化】(SA)

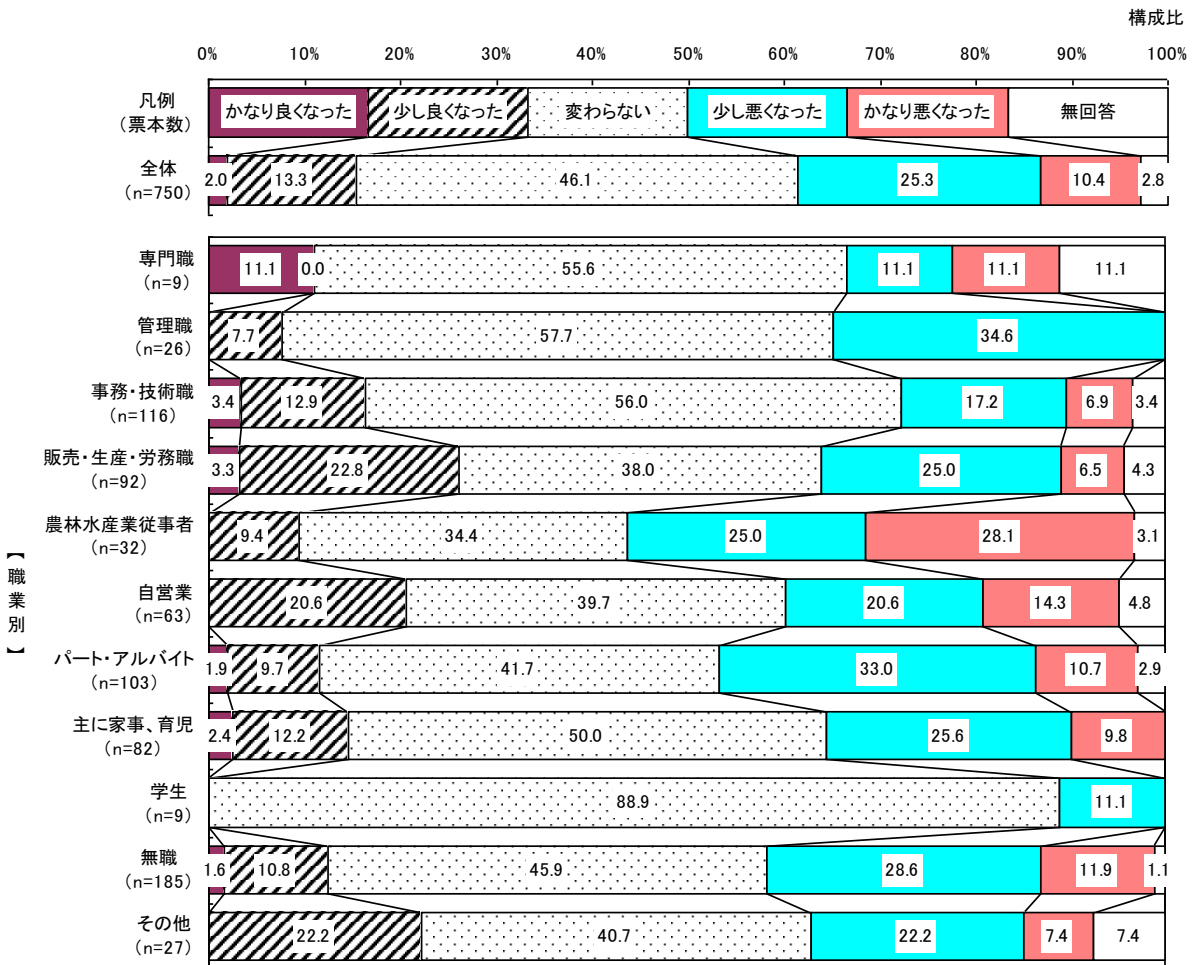


第3章 調査結果の分析

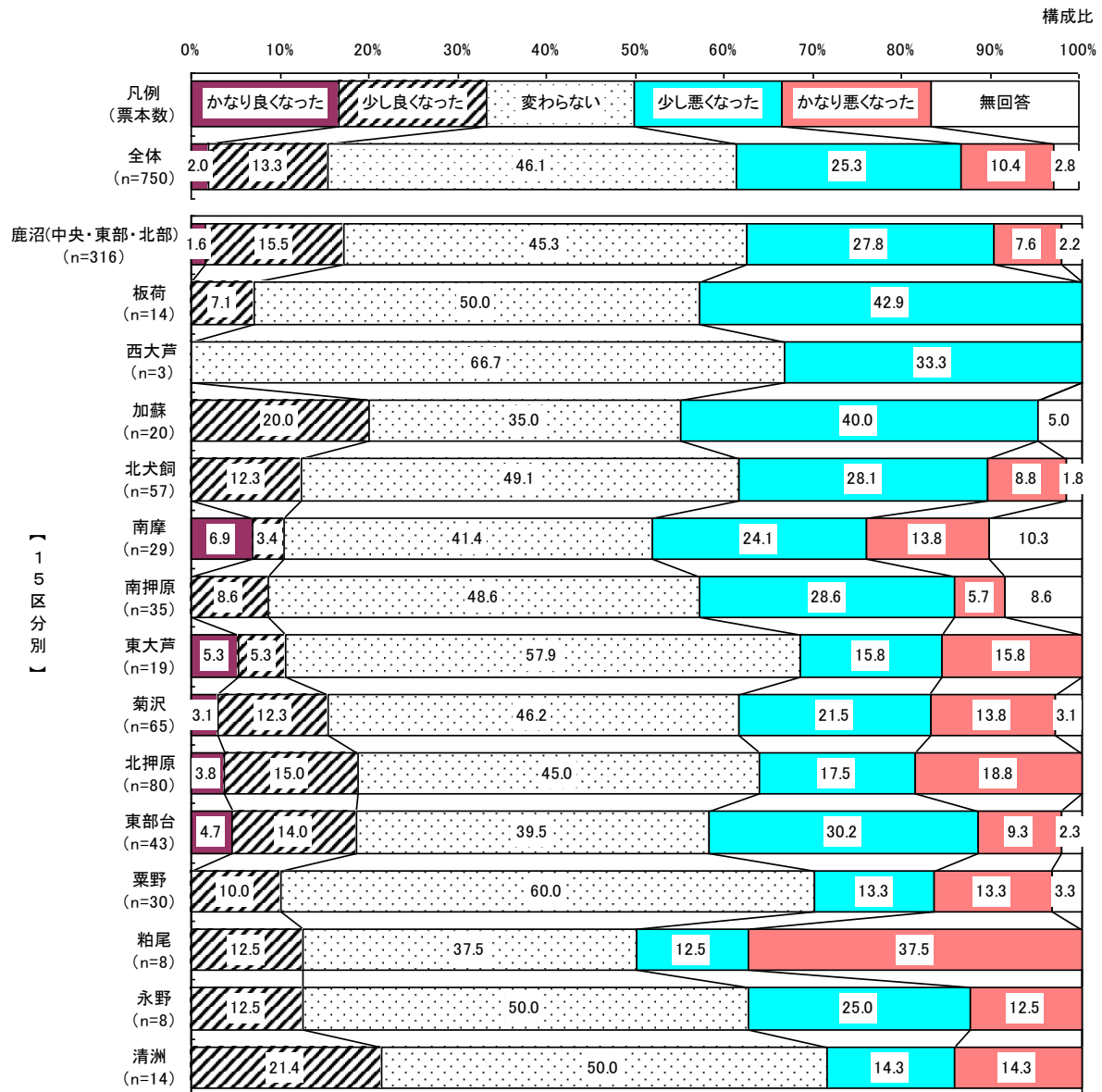
問1 暮らしの変化【年代別（SA）】



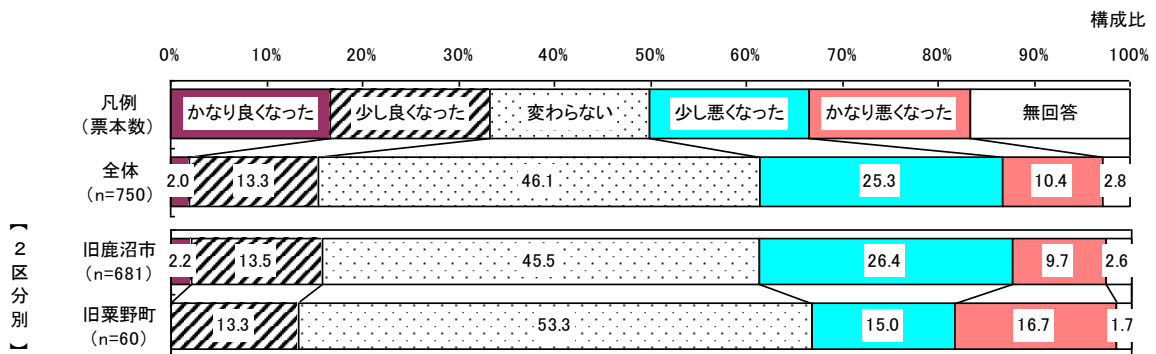
問1 暮らしの変化【職業別】（SA）



問1 暮らしの変化【居住地区別（15区分）】（SA）



問1 暮らしの変化【居住地区別（2区分）】（SA）



第3章 調査結果の分析

問1 暮らしの変化

◎『良くなった』が約15%、「変わらない」は46.1%、『悪くなった』が35.7%。

【全体】

ここ2～3年の暮らし向きの変化について全体で見ると、「かなり良くなった」2.0%と「少し良くなった」13.3%を合わせた『良くなった』は15.3%、「少し悪くなった」25.3%と「かなり悪くなった」10.4%を合わせた『悪くなった』は35.7%となり、『悪くなった』が『良くなった』を約20ポイント上回っている。また、「変わらない」は46.1%となっている。

【経年変化】

経年変化をみると、今回調査は『良かった』が15.3%と、第23回調査（平成23年）16.7%、第24回調査（平成25年）17.9%を下回り、第22調査（平成21年）15.0%とほぼ同じくらいになっている。また、『悪くなった』は今回調査では35.7%となっており、前回の第24回調査の32.1%と比べて3.6ポイント上昇している。

【性別】

性別で見ると、男性の『良くなった』14.5%に対し、女性は16.2%と男性に比べ1.7ポイント高くなっている。また、『悪くなった』についても、男性は35.1%に対し、女性は36.3%と男性に比べ1.2ポイント高くなっている。

【年代別】

年代別で見ると、20代を除くどの年代においても『悪くなった』の割合が『良くなった』の割合を上回っているが、特に60代で約35ポイント、40代で約25ポイント、50代と70歳以上で約20ポイント、『悪くなった』の割合が『良くなった』の割合を上回っている。

『良くなった』は20代が最も高く21.2%となっている。一方、最も低いのは60代10.6%で、20代に比べ10.6ポイント下回っている。『悪くなった』は60代43.4%が最も高く、次いで40代39.7%、70歳以上38.3%と4割近くで続いており、最も低いのは20代で13.4%となっている。

【職業別】

職業別で見ると、『良くなった』は販売・生産・労務職が26.1%と最も高く、次いで自営業が20.6%と続いている。一方で『悪くなった』は農林水産業従事者が53.1%と5割を超えて最も高くなっている。

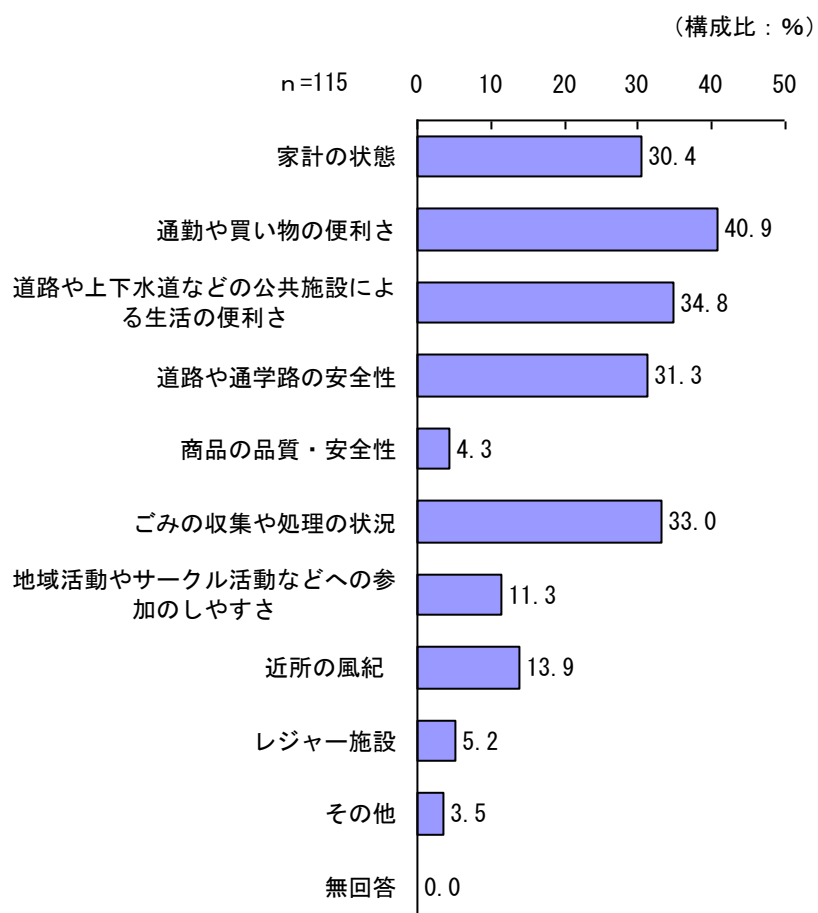
【居住地区別】

居住地区別で見ると、『良くなった』は清洲21.4%、加蘇20.0%で高く、南押原8.6%が最も低い。一方で『悪くなった』は板荷42.9%、加蘇40.0%、東部台39.5%が4割前後で高くなっている。

問1-1 問1で1番あるいは2番とお答えの方にお聞きします。どういうところが良くなったと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

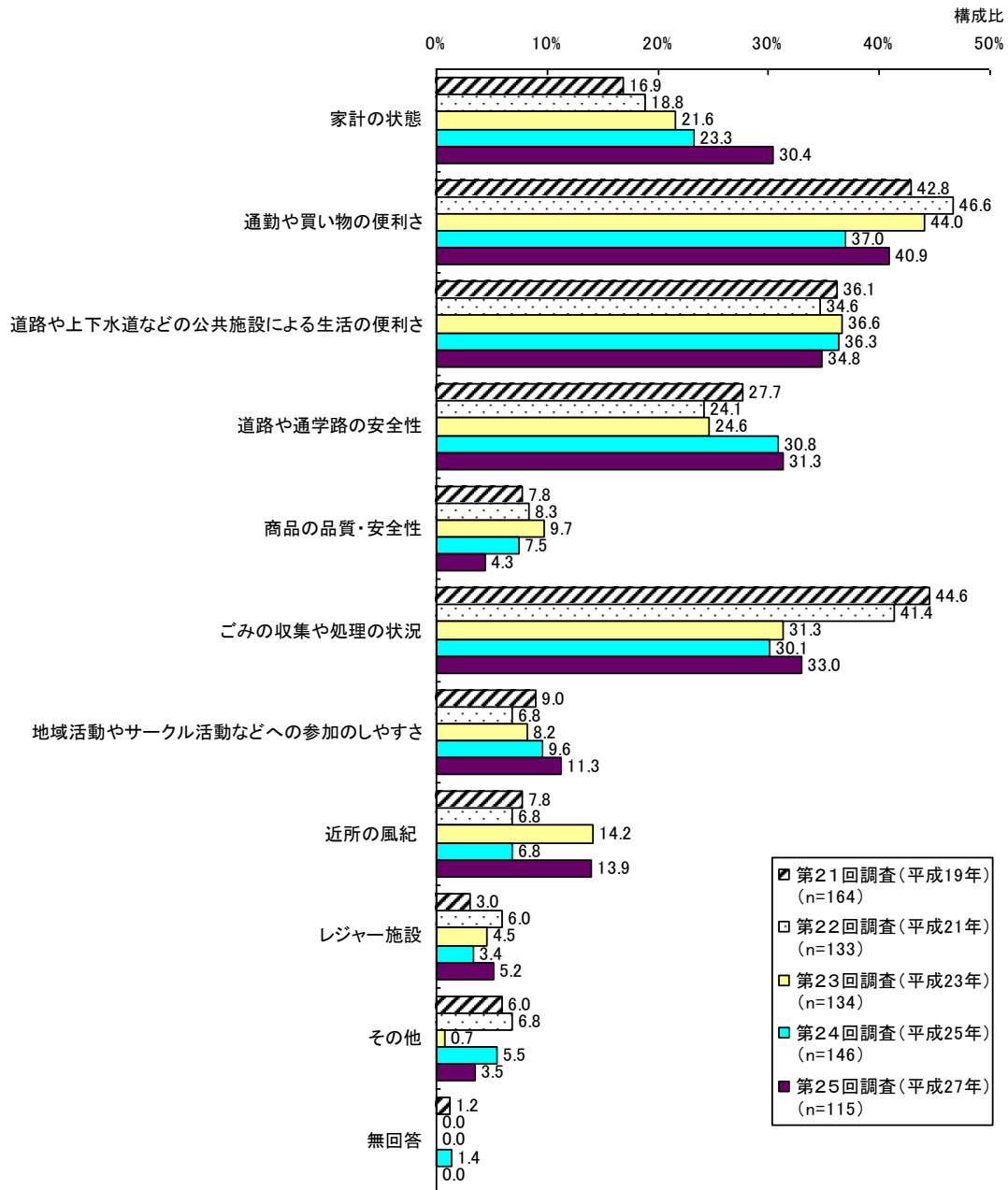
※問1で「かなり良くなった」「少し良くなった」と回答したひとのみ

問1-1 良くなった点【全体】(MA)



第3章 調査結果の分析

問1-1 良くなった点【経年変化】(MA)



問1-1 良くなった点【性別・年代別・職業別・居住地区別・居住年数別】(MA)

(構成比:%)

		家計の状態	通勤や買い物の利便さ	道路や上下水道などの公共施設による生活の利便さ	道路や通学路の安全性	商品の品質・安全性	ごみの収集や処理の状況	地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ	近所の風紀	レジャー施設	その他	無回答
	全体(n=115)	30.4	40.9	34.8	31.3	4.3	33.0	11.3	13.9	5.2	3.5	0.0
性別	男性(n=48)	37.5	37.5	39.6	27.1	6.3	25.0	8.3	12.5	2.1	4.2	0.0
	女性(n=67)	25.4	43.3	31.3	34.3	3.0	38.8	13.4	14.9	7.5	3.0	0.0
年代	20代(n=11)	27.3	72.7	9.1	36.4	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0
	30代(n=21)	33.3	47.6	23.8	33.3	0.0	9.5	14.3	28.6	9.5	4.8	0.0
	40代(n=17)	35.3	29.4	35.3	23.5	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0
	50代(n=20)	55.0	45.0	30.0	40.0	10.0	35.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	60代(n=20)	15.0	30.0	55.0	30.0	0.0	55.0	15.0	15.0	5.0	5.0	0.0
	70歳以上(n=26)	19.2	34.6	42.3	26.9	3.8	61.5	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0
職業	専門職(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	管理職(n=2)	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務・技術職(n=19)	21.1	47.4	26.3	26.3	5.3	26.3	5.3	26.3	10.5	0.0	0.0
	販売・生産・労務職(n=24)	37.5	41.7	33.3	33.3	8.3	16.7	4.2	8.3	0.0	8.3	0.0
	農林水産業従事者(n=3)	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業(n=13)	61.5	15.4	30.8	23.1	0.0	30.8	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0
	パート・アルバイト(n=12)	33.3	41.7	50.0	41.7	8.3	33.3	8.3	25.0	8.3	8.3	0.0
	主に家事・育児(n=12)	25.0	66.7	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0
	学生(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職(n=23)	4.3	39.1	43.5	21.7	4.3	65.2	21.7	13.0	4.3	0.0	0.0
	その他(n=6)	33.3	50.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
居住地区(15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=54)	25.9	51.9	27.8	29.6	5.6	25.9	13.0	16.7	3.7	3.7	0.0
	板荷(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	西大芦(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇(n=4)	0.0	25.0	75.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北犬飼(n=7)	42.9	28.6	14.3	14.3	0.0	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
	南摩(n=3)	0.0	33.3	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南押原(n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	東大芦(n=2)	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊沢(n=10)	50.0	20.0	80.0	40.0	0.0	80.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	北押原(n=15)	40.0	20.0	33.3	26.7	0.0	26.7	13.3	20.0	6.7	0.0	0.0
	東部台(n=8)	37.5	62.5	37.5	12.5	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	粟野(n=3)	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	粕尾(n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	永野(n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	清洲(n=3)	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区(2区分)	旧鹿沼市(n=107)	30.8	40.2	36.4	29.9	4.7	35.5	10.3	15.0	5.6	2.8	0.0
	旧粟野町(n=8)	25.0	50.0	12.5	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0
居住年数	5年以下(n=8)	37.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0
	6~10年(n=5)	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	11~20年(n=10)	40.0	10.0	20.0	50.0	0.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	21年以上(n=90)	28.9	43.3	42.2	32.2	5.6	35.6	10.0	12.2	5.6	2.2	0.0

第3章 調査結果の分析

問1-1 良くなった点

◎公共施設や道路交通面での評価が高い。

【全体】

ここ2～3年の暮らし向きが『良くなった』と回答した人の良くなった点を全体で見ると、「通勤や買い物の便利さ」40.9%が4割を超えて最も高くなっている。次いで「道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ」34.8%、「ごみの収集や処理の状況」33.0%、「道路や通学の安全性」31.3%といった公共事業や道路交通面での評価が続き、「家計の状態」30.4%と合わせて3割を超えている。

【経年変化】

経年変化で見ると、「家計の状態」は第21回調査（平成19年）から調査ごとに上がっており、今回調査では前回調査（平成25年）と比べ7.1ポイント上昇している。また今回調査では「通勤や買い物の便利さ」「道路や通学の安全性」「ごみの収集や処理の状況」「地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ」「近所の風紀」「レジャー施設」の項目で前回調査を上回っている。一方「商品の品質・安全性」は今回調査では4.3%と過去4回の調査と比べ最も低くなっている。

【性別】

性別で見ると、男性は「家計の状態」「道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ」が女性よりも高く、女性は「通勤や買い物の便利さ」「道路や通学の安全性」「ごみの収集や処理の状況」「地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ」「レジャー施設」といった多くの項目で男性を上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、20代では「通勤や買い物の便利さ」72.7%が7割を超えており他の年代に比べ高くなっている。また、50代では「家計の状態」、60代では「道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ」「ごみの収集や処理の状況」、70歳以上では「ごみの収集や処理の状況」がそれぞれ5割を超えて高くなっている。

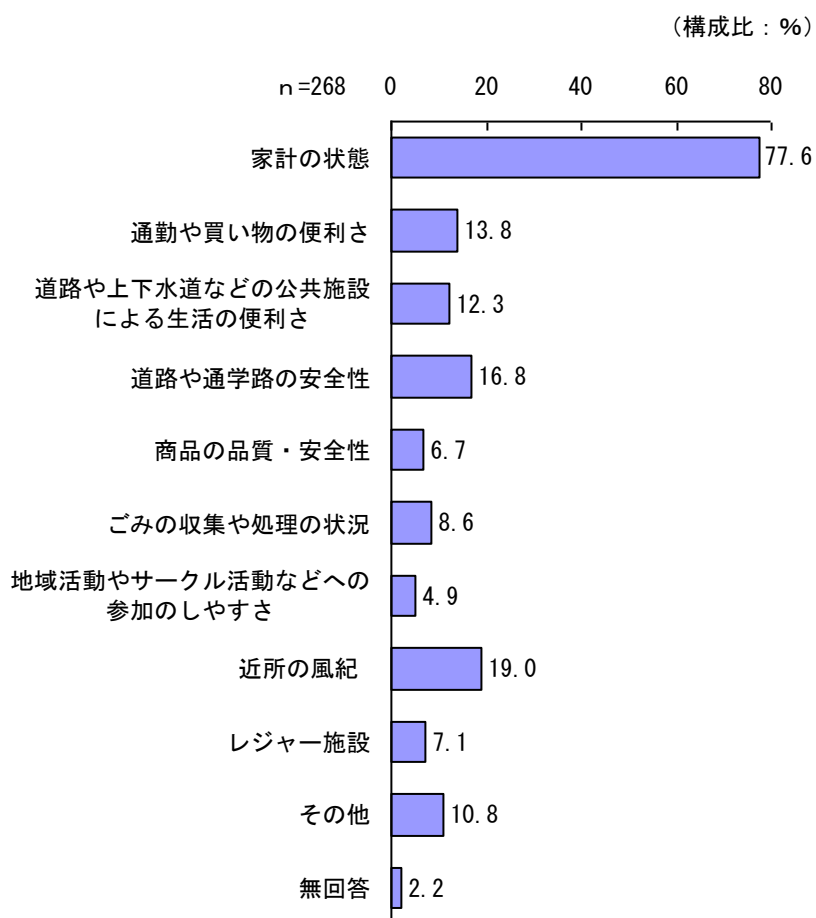
【職業別】

職業別で見ると、自営業では「家計の状態」、事務・技術職、販売・生産・労務職、主に家事・育児では「通勤や買い物の便利さ」、パート・アルバイトでは「道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ」、無職では「ごみの収集や処理の状況」が高くなっている。

問1-2 問1で4番あるいは5番とお答えの方にお聞きします。どういうところが悪くなったと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

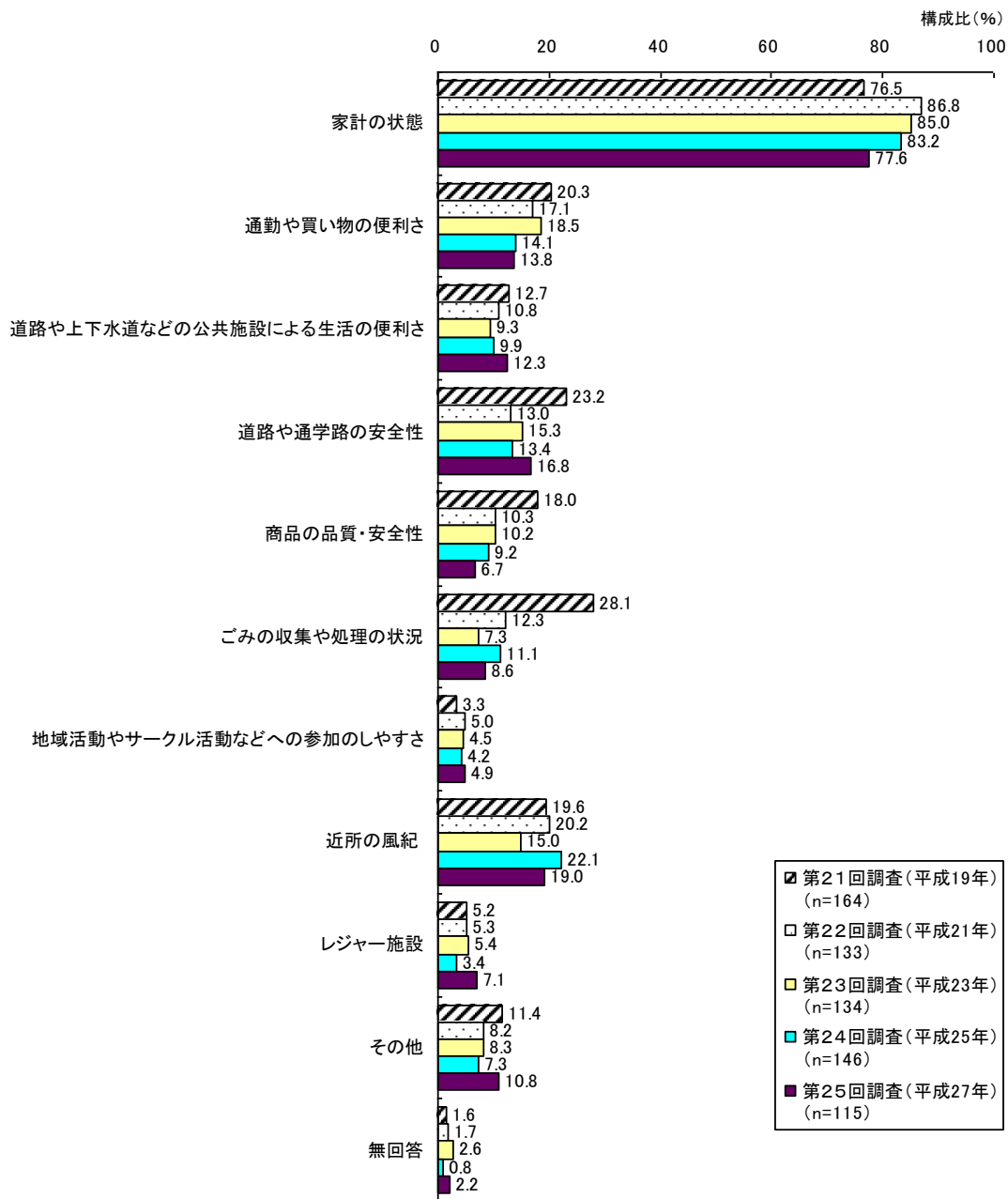
※問1で「少し悪くなった」「かなり悪くなった」と回答したひとのみ

問1-2 悪くなった点【全体】(MA)



第3章 調査結果の分析

問1-2 悪くなった点【経年変化】(MA)



問1-2 悪くなった点【性別・年代別・職業別・居住地区別・居住年数別】(MA)

(構成比:%)

		家計の状態	通勤や買い物の 利便さ	道路や上下水道などの公共 施設による生活の利便さ	道路や通学路の安全性	商品の品質・安全性	ごみの収集や処理の状況	地域活動やサークル活動な どへの参加のしやすさ	近所の風紀	レジャー施設	その他	無回答
	全体(n=268)	77.6	13.8	12.3	16.8	6.7	8.6	4.9	19.0	7.1	10.8	2.2
性別	男性(n=116)	71.6	8.6	12.1	19.8	6.0	6.9	6.9	22.4	6.9	14.7	3.4
	女性(n=150)	82.7	17.3	12.7	14.7	7.3	9.3	3.3	16.7	7.3	8.0	1.3
年代	20代(n=7)	71.4	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0
	30代(n=31)	80.6	22.6	9.7	22.6	0.0	6.5	3.2	22.6	6.5	3.2	0.0
	40代(n=46)	87.0	13.0	17.4	19.6	8.7	10.9	2.2	21.7	15.2	4.3	4.3
	50代(n=45)	73.3	15.6	11.1	13.3	11.1	13.3	8.9	13.3	4.4	13.3	4.4
	60代(n=82)	78.0	11.0	11.0	18.3	3.7	6.1	4.9	25.6	3.7	13.4	0.0
	70歳以上(n=54)	74.1	13.0	11.1	11.1	9.3	9.3	5.6	13.0	5.6	11.1	3.7
職業	専門職(n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0
	管理職(n=9)	55.6	0.0	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1
	事務・技術職(n=28)	64.3	32.1	25.0	32.1	7.1	17.9	3.6	17.9	17.9	14.3	3.6
	販売・生産・労務職(n=29)	82.8	17.2	10.3	13.8	6.9	13.8	0.0	17.2	10.3	3.4	3.4
	農林水産業従事者(n=17)	82.4	0.0	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8	5.9	11.8	5.9
	自営業(n=22)	77.3	9.1	9.1	18.2	0.0	4.5	13.6	31.8	4.5	13.6	4.5
	パート・アルバイト(n=45)	88.9	8.9	11.1	15.6	4.4	4.4	4.4	8.9	6.7	6.7	2.2
	主に家事・育児(n=29)	75.9	13.8	13.8	17.2	6.9	10.3	6.9	20.7	6.9	13.8	0.0
	学生(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無職(n=75)	78.7	16.0	9.3	13.3	8.0	8.0	4.0	22.7	5.3	10.7	0.0
その他(n=8)	87.5	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=112)	81.3	8.9	8.0	10.7	7.1	9.8	4.5	17.9	7.1	11.6	1.8
	板荷(n=6)	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	西大芦(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇(n=8)	75.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0
	北大飼(n=21)	81.0	14.3	23.8	23.8	14.3	4.8	4.8	19.0	9.5	14.3	9.5
	南摩(n=11)	72.7	36.4	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	27.3	27.3	9.1	9.1
	南押原(n=12)	75.0	33.3	25.0	25.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
	東大芦(n=6)	83.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
	菊沢(n=23)	87.0	8.7	13.0	39.1	8.7	0.0	0.0	21.7	4.3	0.0	0.0
	北押原(n=29)	75.9	17.2	31.0	13.8	6.9	20.7	6.9	20.7	6.9	0.0	3.4
	東部台(n=17)	70.6	5.9	5.9	29.4	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	23.5	0.0
	粟野(n=8)	75.0	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	粕尾(n=4)	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	永野(n=3)	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	清洲(n=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=246)	78.9	12.6	13.0	16.7	6.9	8.5	4.5	19.5	7.7	10.2	2.4
	旧粟野町(n=19)	63.2	26.3	5.3	21.1	5.3	5.3	10.5	15.8	0.0	21.1	0.0
居住年数	5年以下(n=14)	57.1	35.7	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	21.4	0.0	28.6	0.0
	6~10年(n=14)	71.4	21.4	21.4	42.9	7.1	35.7	7.1	35.7	21.4	7.1	0.0
	11~20年(n=37)	78.4	16.2	13.5	8.1	5.4	2.7	5.4	18.9	8.1	8.1	0.0
	21年以上(n=198)	78.8	11.6	12.6	17.2	6.6	7.6	5.1	18.2	6.6	10.6	3.0

第3章 調査結果の分析

問1 悪くなった点

◎「家計の状態」は8割近く。治安に関する不安が高い傾向にある。

【全体】

ここ2～3年の暮らし向きが『悪くなった』と回答した人の悪くなった点を全体で見ると、「家計の状態」77.6%が7割近くで最も高くなっている。次いで「近所の風紀」19.0%、「道路や通学路の安全性」16.8%といった治安に関する不安が10%後半台と高くなっている。

【経年変化】

経年変化で見ると、「家計の状態」は前回調査（平成25年）と比べ今回調査は5.6ポイント下がっており、8割を切って第21回調査（平成19年）76.5%の水準に戻っている。

【性別】

性別で見ると、男性は「道路や通学の安全性」「近所の風紀」が女性よりも5ポイント以上高く、女性は「家計の状態」「通勤や買い物の便利さ」が男性よりも10ポイント前後上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、すべての年代で「家計の状態」が7割を超えて高くなっている。また、30代、40代、60代では「近所の風紀」が2割を超えている。

【職業別】

職業別で見ると、いずれの職業でも「家計の状態」が最も高くなっている。事務・技術職では「通勤や買い物の便利さ」「道路や通学の安全性」、自営業では「近所の風紀」が3割を超えて高くなっている。

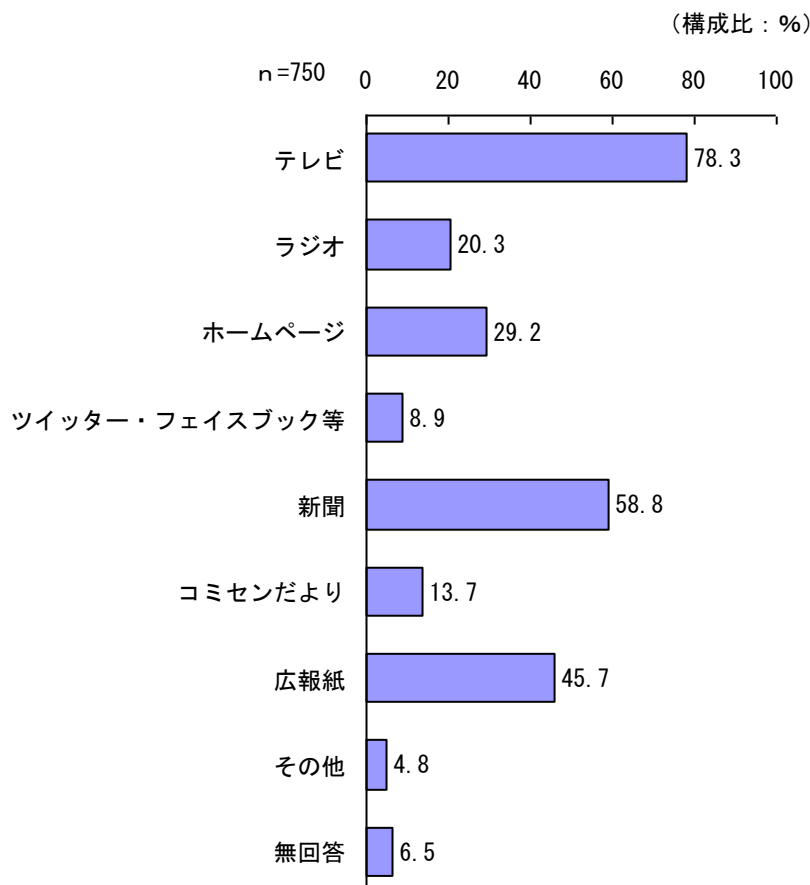
【居住年数別】

居住年数別で見ると、いずれも「家計の状態」が最も高くなっている。居住年数が5年以下では「通勤や買い物の便利さ」、6～10年では「道路や通学の安全性」「ごみ収集や処理の状況」「近所の風紀」が3割を超えて高くなっている。

(2) 情報を入手先

問2 暮らしや趣味などさまざまな情報を、主にどんなメディア（情報媒体）から入手していますか。次の中からいくつでも選んでください。

問2 情報入手先【全体】（MA）



問2 情報入手先

◎「テレビ」は8割近く。年代が高いほど紙媒体による情報入手の割合が高く、年代が低いほどインターネットの割合が高くなる傾向にある。

【全体】

暮らしや趣味などさまざまな情報を、主にどんなメディア（情報媒体）から入手しているかについて全体で見ると、「テレビ」78.3%が8割近くと最も高く、次いで「新聞」「広報紙」「ホームページ」が続いている。

【年代別】

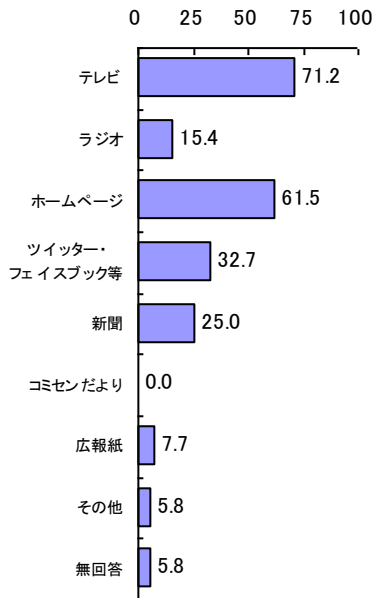
年代別で見ると、いずれの年代も「テレビ」が最も高く7割を超えている。年代が高いほど「新聞」「広報紙」「コミセンだより」の紙媒体による情報入手の割合が高く、年代が低いほど「ホームページ」「ツイッター・フェイスブック等」のインターネットによる情報入手の割合が高くなる傾向にある。

第3章 調査結果の分析

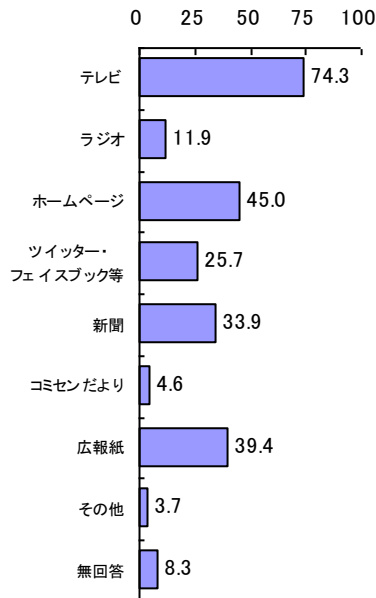
問2 情報入手先【年代別】(MA)

(構成比:%)

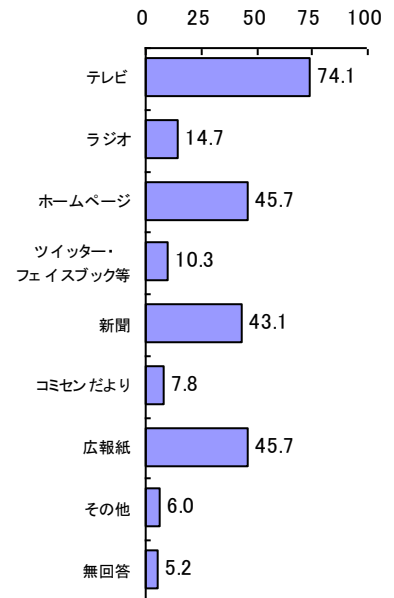
20代(n=52)



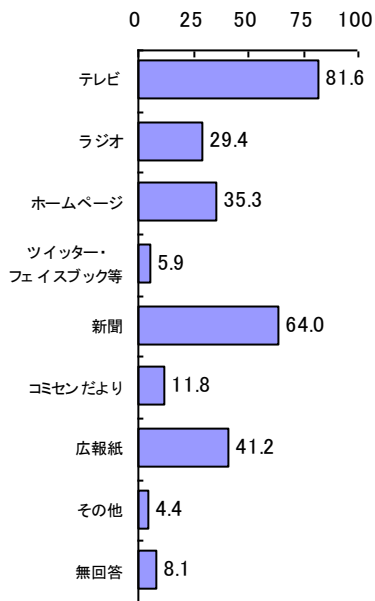
30代(n=109)



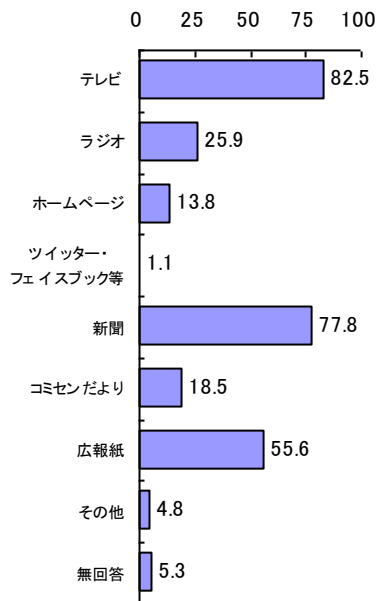
40代(n=116)



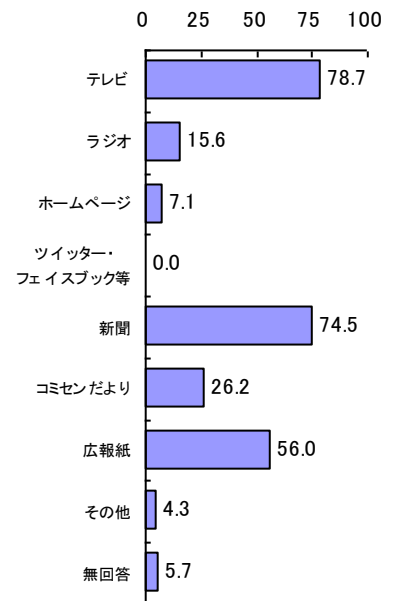
50代(n=136)



60代(n=189)



70歳以上(n=141)

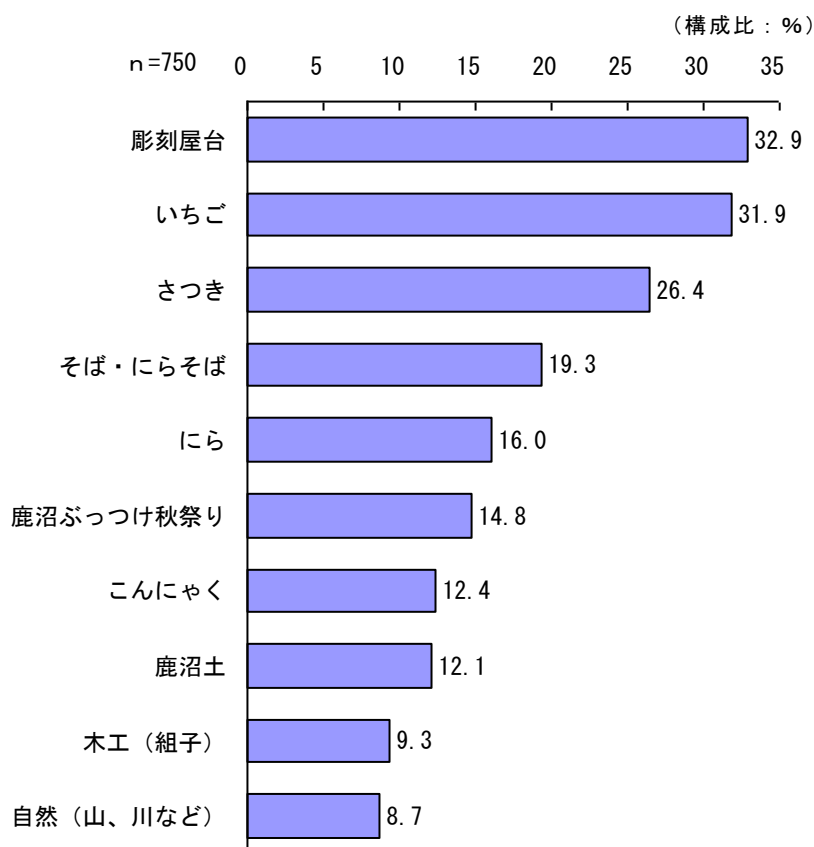


2 市の魅力の発信

(1) 鹿沼を代表するイメージ

問3 鹿沼市には、豊かな自然や彫刻屋台などの伝統文化、かぬまブランドをはじめとした様々な特産品などたくさんの魅力があります。そのなかでも、鹿沼を代表するイメージはなんだと思いますか。3つまで自由にご記入ください。

問3 鹿沼を代表するイメージ【全体・上位10項目】(MA)



問3 鹿沼を代表するイメージ

◎「彫刻屋台」「いちご」は3割を超える。

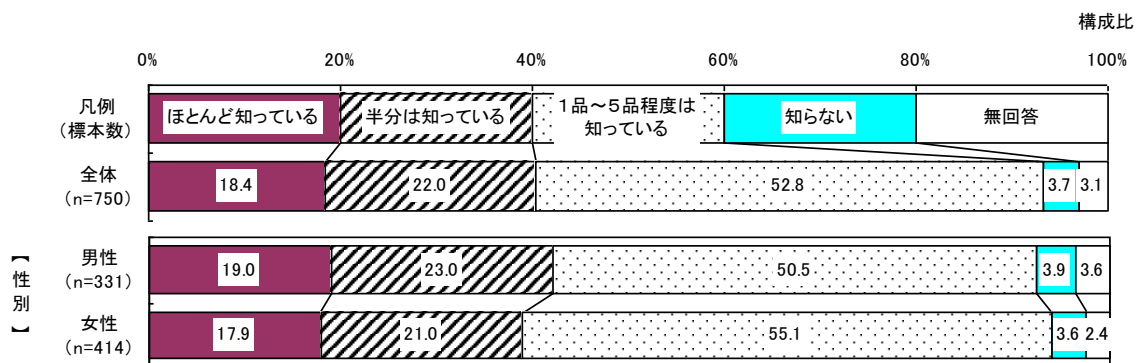
【全体・上位10項目】

鹿沼を代表するイメージについて全体でみると、「彫刻屋台」32.9%、「いちご」31.9%が3割を超えて高くなっている。次いで「さつき」26.4%、「そば・にらそば」19.3%が2割前後で続いており、「にら」「鹿沼ぶっつけ祭り」「こんにやく」「鹿沼土」と10%を超えている。

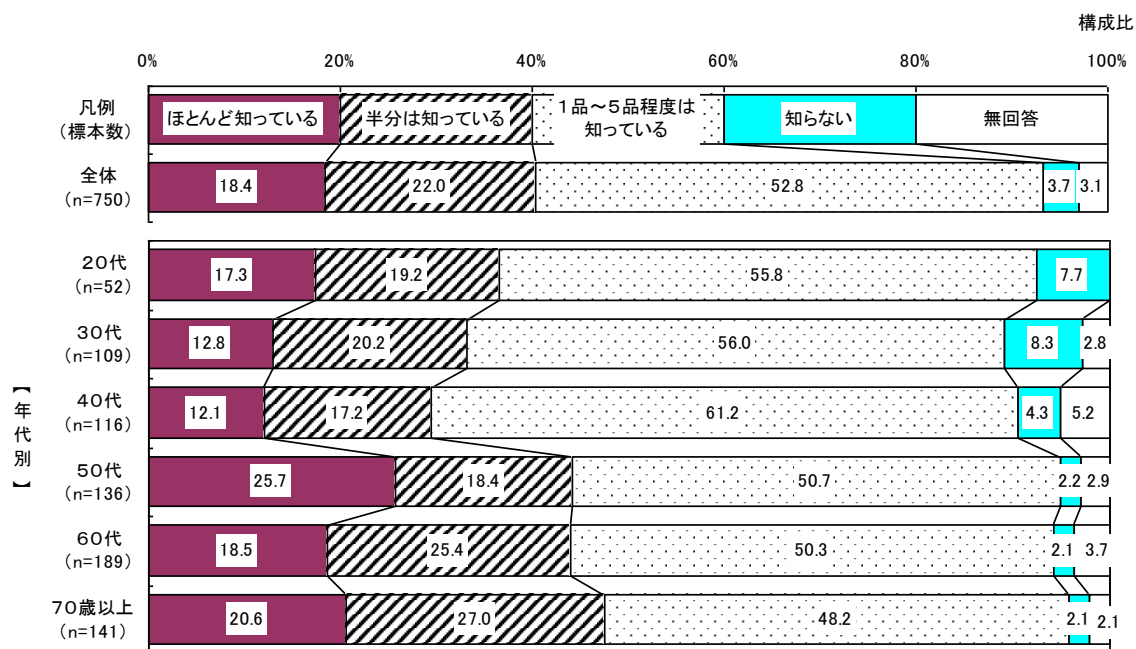
(2) かぬまブランドの認知度

問5 かぬまブランド品として、「いちご」「かぬま和牛」「鹿沼そば」「さつき」「鹿沼こんにゃく」「鹿沼組子」「いちご大福」「はちみつ」など36品目あります。かぬまブランド品を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

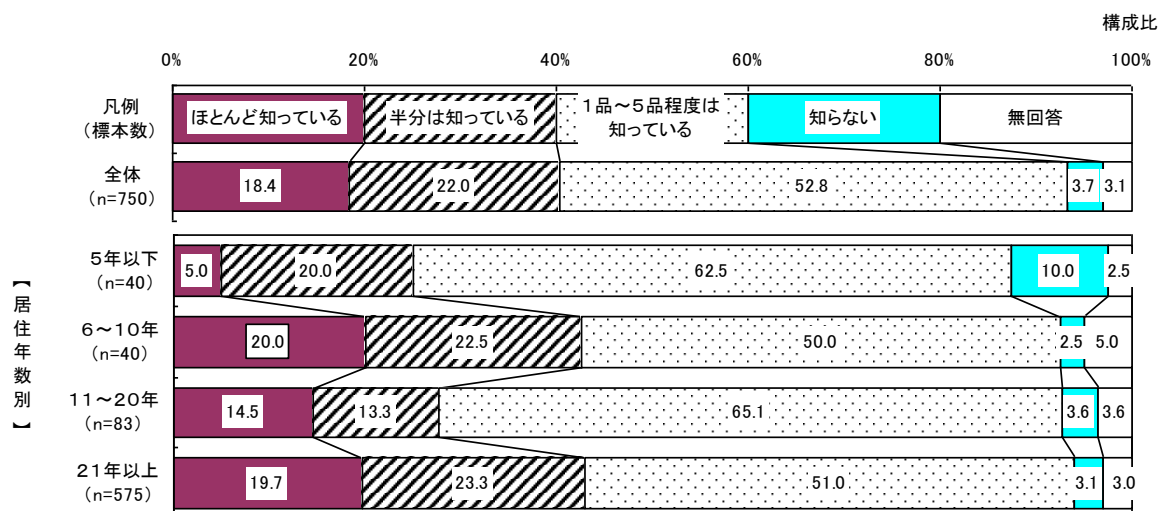
問5 かぬまブランドの認知度【性別】(SA)



問5 かぬまブランドの認知度【年代別】(SA)



問5 かぬまブランドの認知度【居住年数別】(S A)



問5 かぬまブランドの認知度

◎1品以上『知っている』は9割を超える。

【全体】

かぬまブランドの認知度を全体で見ると、「ほとんど知っている」18.4%及び「半分以上知っている」22.0%は2割前後となっており、「1品~5品以上知っている」52.8%は5割を超えている。また、「ほとんど知っている」「半分以上知っている」「1品~5品以上知っている」を合わせた『知っている』は9割を超えている。

【性別】

性別で見ると、男性は「ほとんど知っている」「半分以上知っている」がともに女性よりもやや高く、女性は「1~5品以上知っている」が男性よりも高い。

【年代別】

年代別で見ると、1品以上『知っている』は30代を除くすべての年代で9割を超えている。また、「ほとんど知っている」は50代が25.7%、「半分以上知っている」は70歳以上が27.0%と、他の年代に比べ高くなっている。「知らない」は20代が7.7%、30代が8.3%となっており、年代が上がるにつれ低くなる傾向にある。

【居住年数別】

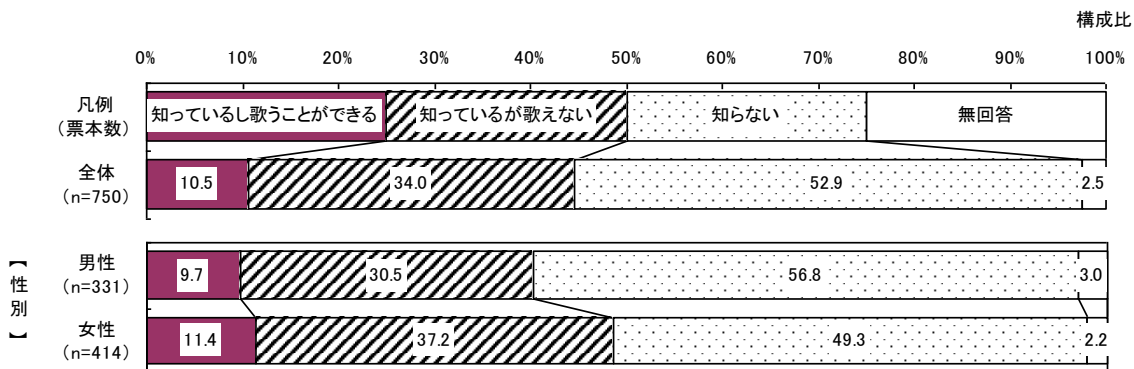
居住年数で見ると、1品以上『知っている』は5年以下を除くすべての年数で9割を超えており、年数が長くなるにつれて高くなる傾向にある。11~20年で「半分以上知っている」と答えた割合は13.3%と他の年代に比べ低くなっている。

3 市歌について

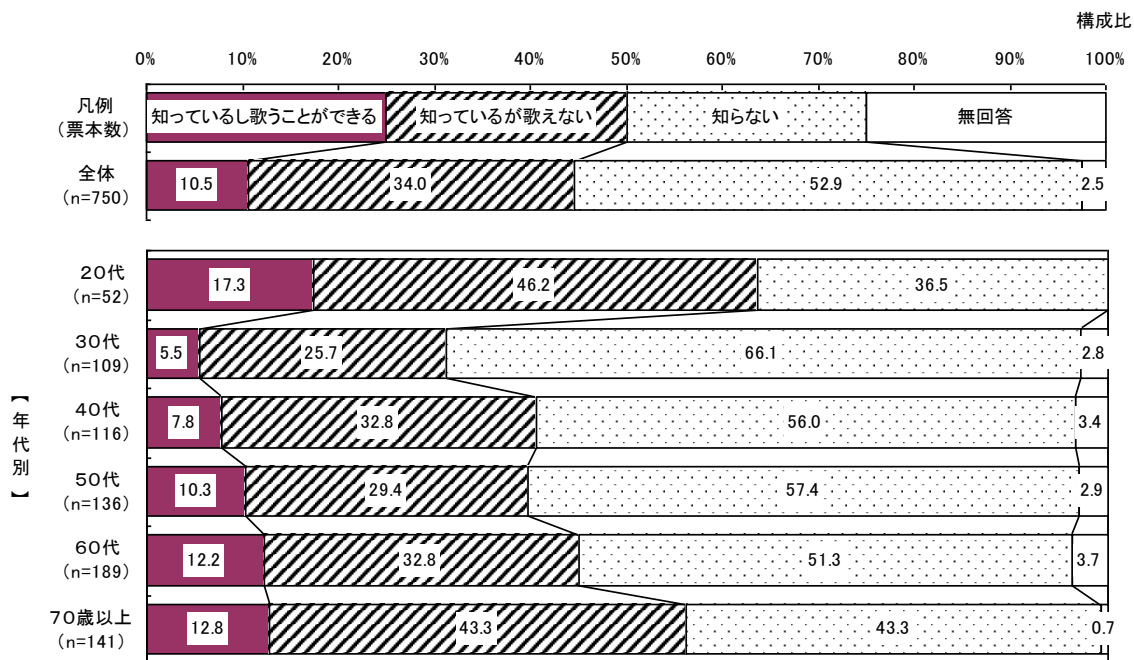
(1) 市歌の認知度

問6 市で定めている市歌を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

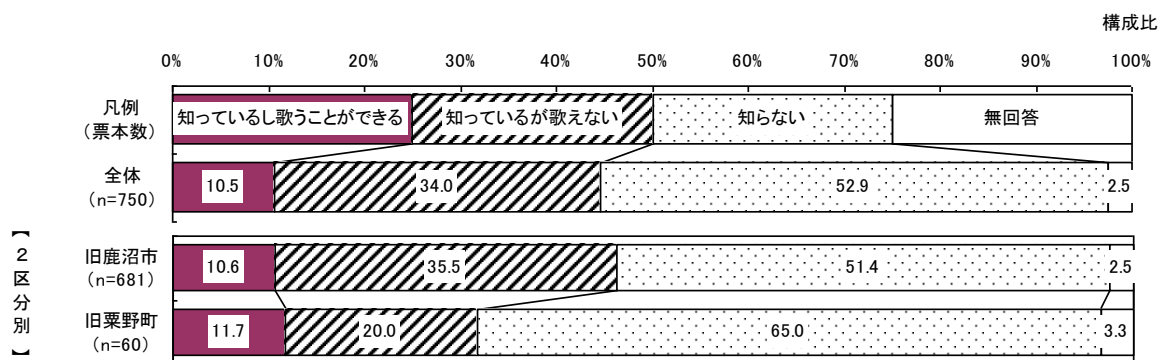
問6 市歌の認知度【性別】(SA)



問6 市歌の認知度【年代別】(SA)



問6 市歌の認知度【居住地区別（2区分）】（SA）



問6 市歌の認知度

◎約5割が「知らない」と回答。

【全体】

鹿沼市の市歌の認知度を全体でみると、「知っているし歌うことができる」は10.5%、「知っているが歌えない」は34.0%となっており、2つを合わせた『知っている』は44.5%となっている。一方、「知らない」との回答割合は52.9%と5割を超えている。

【性別】

性別でみると、「ほとんど知っている」「半分は知っている」の割合はともに女性の方が男性よりも高くなっており、『知っている』は男性が40.2%、女性が48.6%で、女性が男性を8.4ポイント上回っている。「知らない」は男性が56.8%、女性は49.3%となっており、男性が女性を7.5ポイント上回っている。

【年代別】

年代別でみると、20代の『知っている』の回答割合は他の年代に比べ最も高く、「知っているし歌うことができる」17.3%、「知っているが歌えない」46.2%もともに他の年代よりも高い。一方、『知っている』の回答割合は30代が最も低く、「知っているし歌うことができる」5.5%、「知っているが歌えない」25.7%もともに他の年代よりも低い。また、「知らない」の割合は30代が最も高く66.1%、20代が最も低く36.5%となっている。

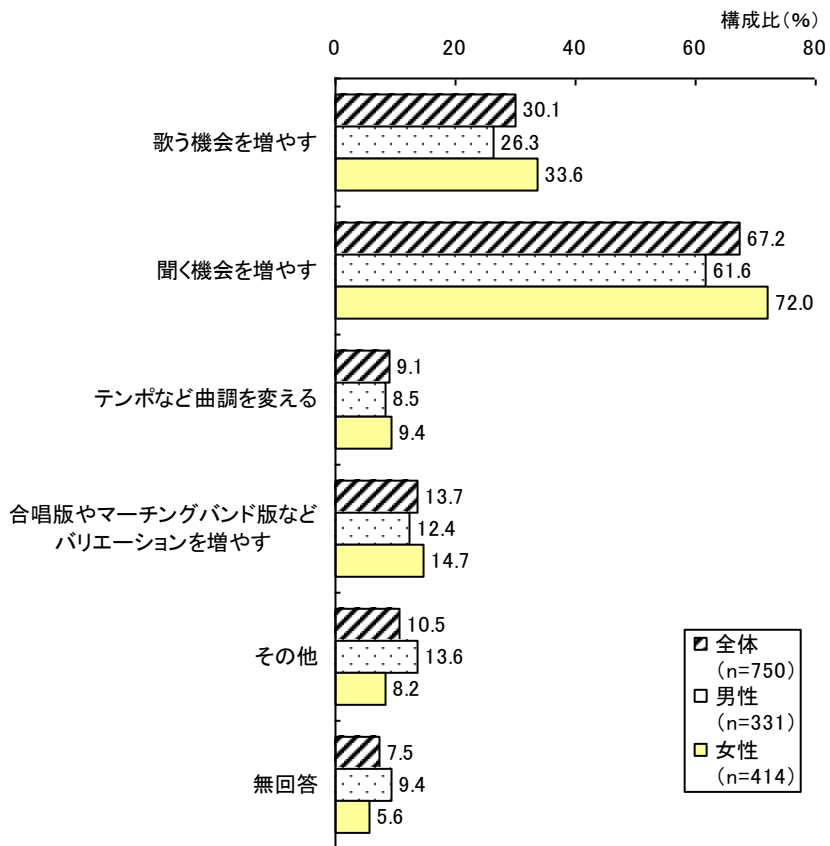
【居住地区別（2区分）】

居住地区別（2区分）でみると、『知っている』の割合は旧鹿沼市が46.1%、旧栗野町が31.7%となっており、旧鹿沼市の方が旧栗野市よりも14.4ポイント高いが、「知っているが歌うことができる」の割合は旧栗野町の方が旧鹿沼市よりも1.1ポイント高くなっている。

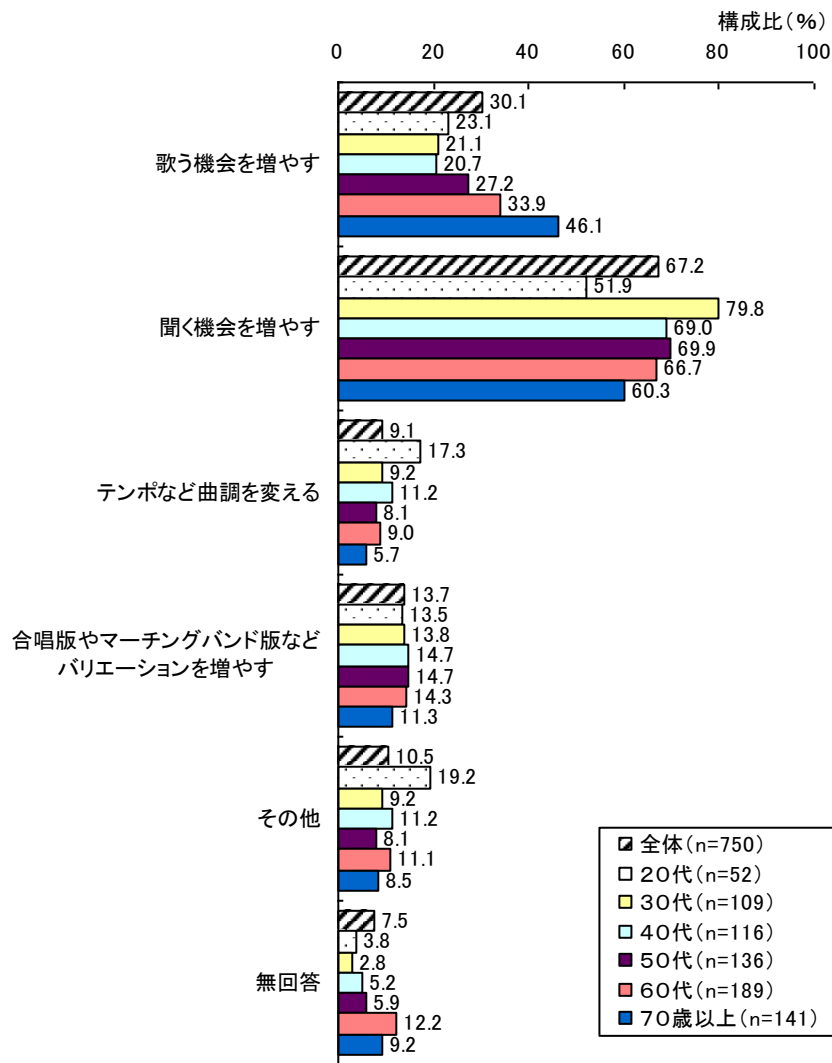
(2) 市歌の周知方法

問7 市歌を市民の皆さんに広く知っていただくためには、どんなことをすべきだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

問7 市歌の周知方法【性別】(MA)



問7 市歌の周知方法【年代別】(MA)



問6 市歌の認知度

◎「聞く機会を増やす」が7割近く、「歌う機会を増やす」が約3割。

【全体】

鹿沼市の市歌の周知方法について全体でみると、「聞く機会を増やす」が67.2%と最も高く、次いで「歌う機会を増やす」が30.1%と続いている。

【性別】

性別でみると、「その他」を除きすべての項目で女性の回答割合の方が男性よりも高くなっている。男性、女性ともに「聞く機会を増やす」が最も高く、次いで「歌う機会を増やす」が続いている。

【年代別】

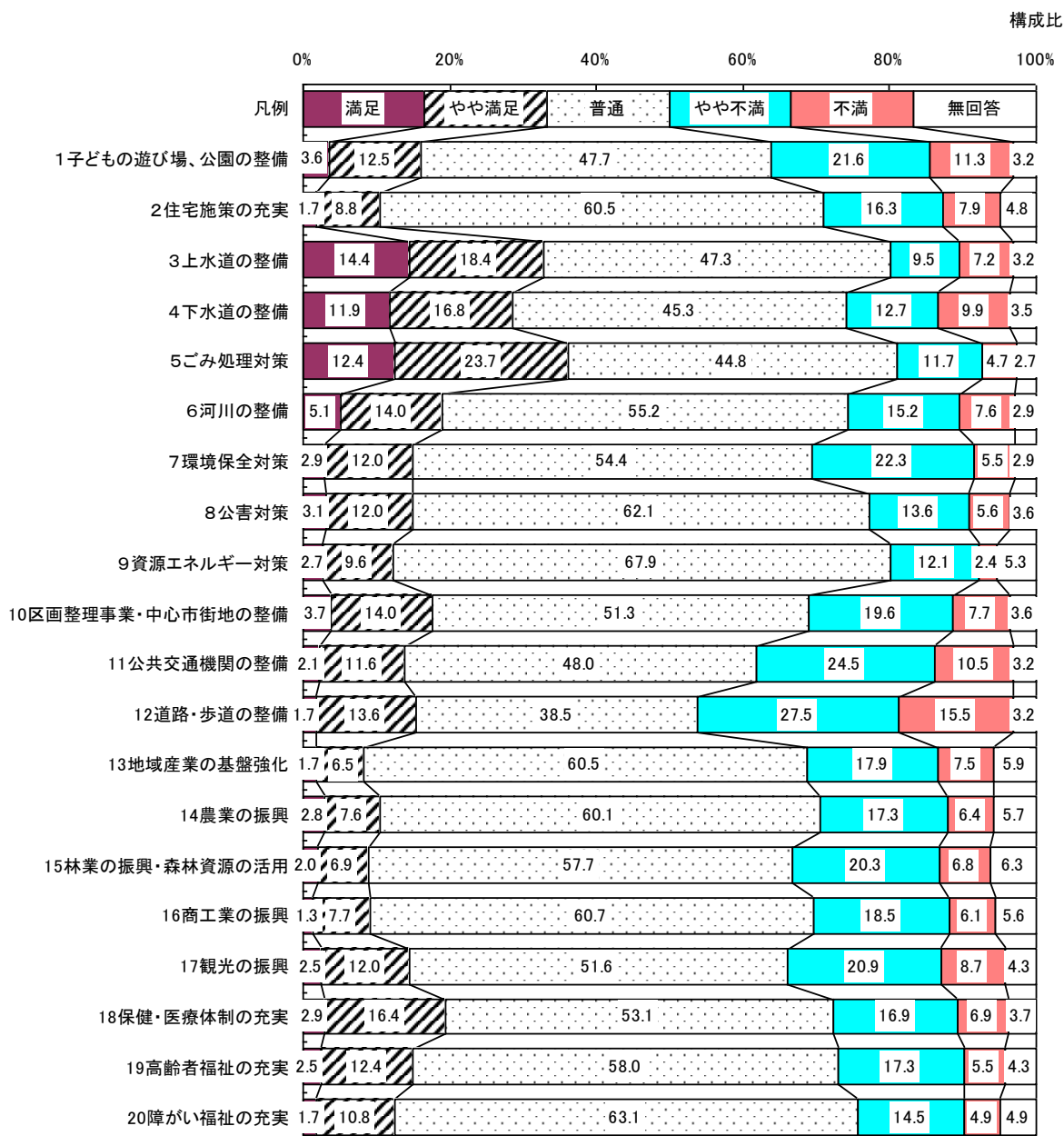
年代別でみると、すべての年代で「聞く機会を増やす」の割合が最も高く、次いで「歌う機会を増やす」が続いている。20代のみ「テンポなどの曲調を変える」の割合が「合唱版やマーチングバンド版などバリエーションを増やす」よりも高くなっている。

4 市政に対する現状評価

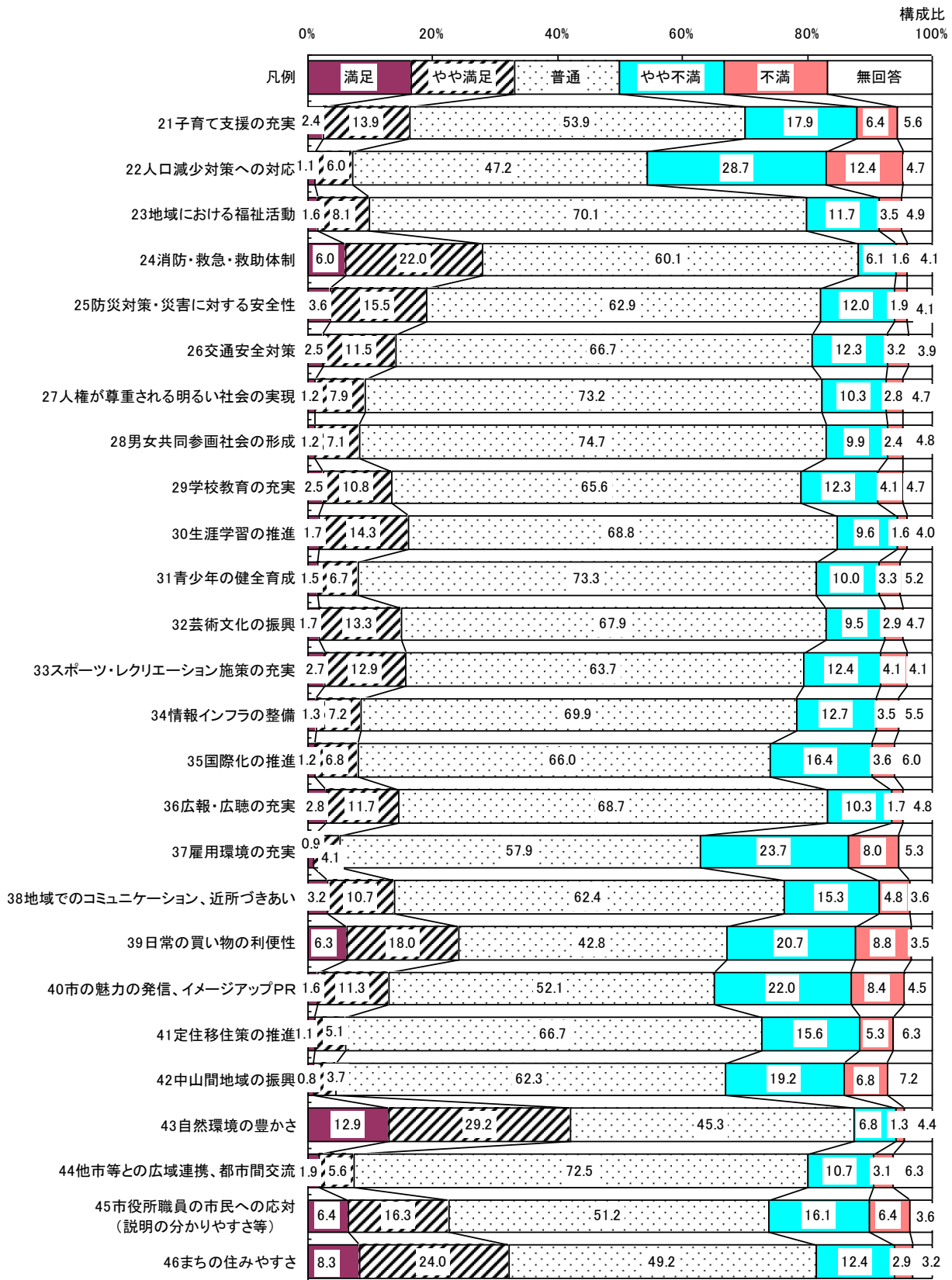
(1) 市政に対する現状評価。

問8 現在の鹿沼市の施策や生活環境について、どのように感じているかお答えください。下記の項目ごとに、評価欄にある番号に○印を付けてください。
 評価基準：1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満 5 不満。

問8 市政に対する現状評価【全体・46項目（項目1～20）】（SA）



問8 市政に対する現状評価【全体・46項目（項目21～46）】（SA）



問8 市政に対する現状評価

◎自然環境、ごみ処理や上下水道の整備などの清潔な環境についての満足度は高い。

◎道路や交通の整備、少子化対策や子どもの遊び場の整備についての満足度は低い。

【全体】

市政に対する現状評価について全体で見ると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「43 自然環境の豊かさ」が42.1%と最も高くなっている。次いで「5 ごみ処理対策」36.1%、「3 上水道の整備」32.8%、「46 まちの住みやすさ」32.3%と3割を超えて続いており、さらに「4 下水道の整備」28.7%、「24 消防・救急・救助体制」28.0%、「39 日常の買い物の利便性」24.3%、「45 市職員の市民への対応（説明のわかりやすさ等）」22.7%が2割を超えている。一方、『満足』は「42 中山間地域の振興」4.5%、「37 雇用環境の充実」5.0%、「41 定住移住策の推進」6.2%の順に低くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、「12 道路・歩道の整備」が43.0%と最も高くなっており、次いで「22 人口減少対策への対応」41.1%、「11 公共交通機関の整備」35.0%、「1 子どもの遊び場、公園の整備」32.9%、「37 雇用環境の充実」31.7%、「40 市の魅力の発信、イメージアップPR」30.4%と続いている。

（2）今後特に重点をおくべき施策

問8-1 問8の46項目の中から、今後のまちづくりで特に重点をおくべきと思う項目を5つまで選んで、番号を記入してください。

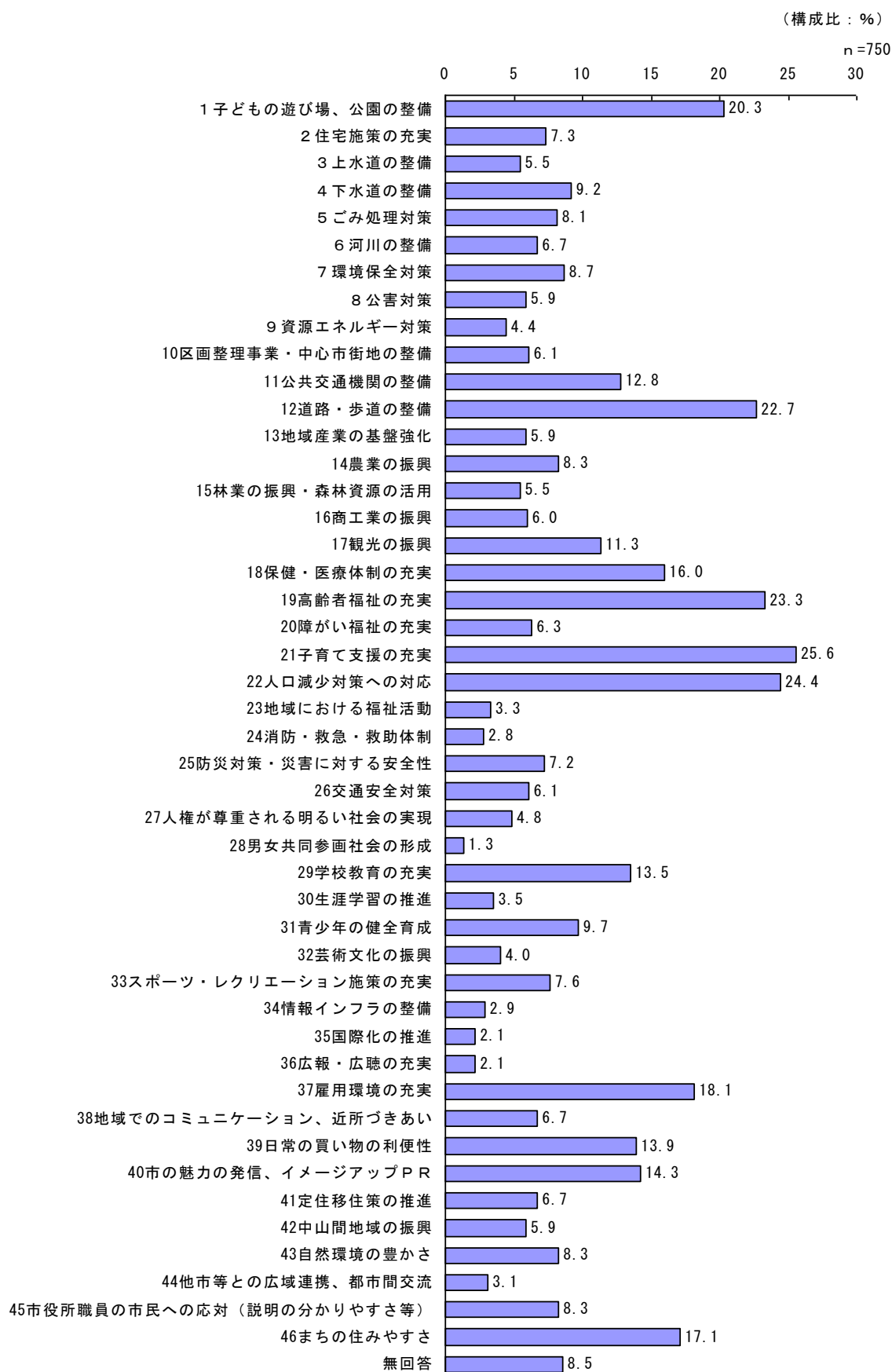
問8-1 今後特に重点をおくべき施策

◎子育て支援や少子化対策など、子どもに関する施策が高い。

【全体】

今後特に重点をおくべき施策について全体で見ると、「21 子育て支援の充実」が25.6%と最も高く、また「22 人口減少対策への対応」24.4%や「1 子どもの遊び場、公園の充実」20.3%など子育てや少子化対策に関する施策が2割を超えて高くなっている。その他に「19 高齢者福祉の充実」23.3%、「12 道路・歩道の整備」22.7%、「37 雇用環境の充実」18.1%、「46 まちの住みやすさ」17.1%などが高くなっており、問8の市政の現状評価における『満足』や『不満』が高い施策に重点をおくべきだと回答される傾向にある。

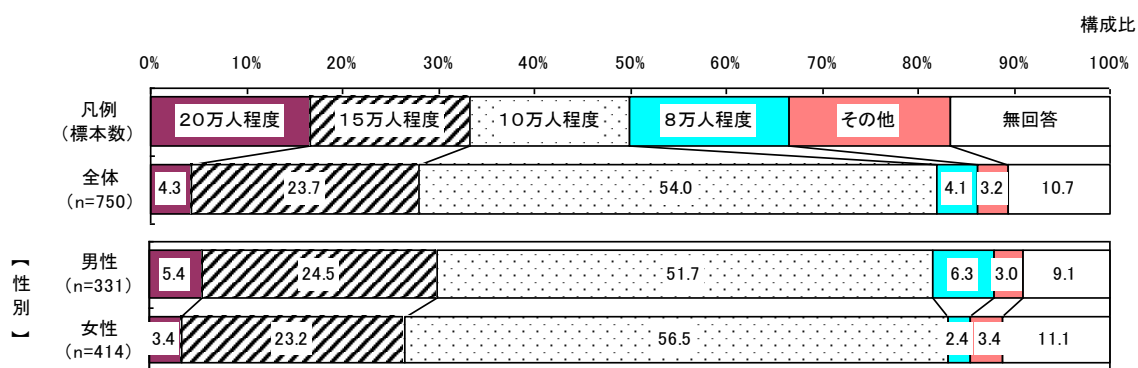
問8-1 今後特に重点をおくべき施策【全体】(MA)



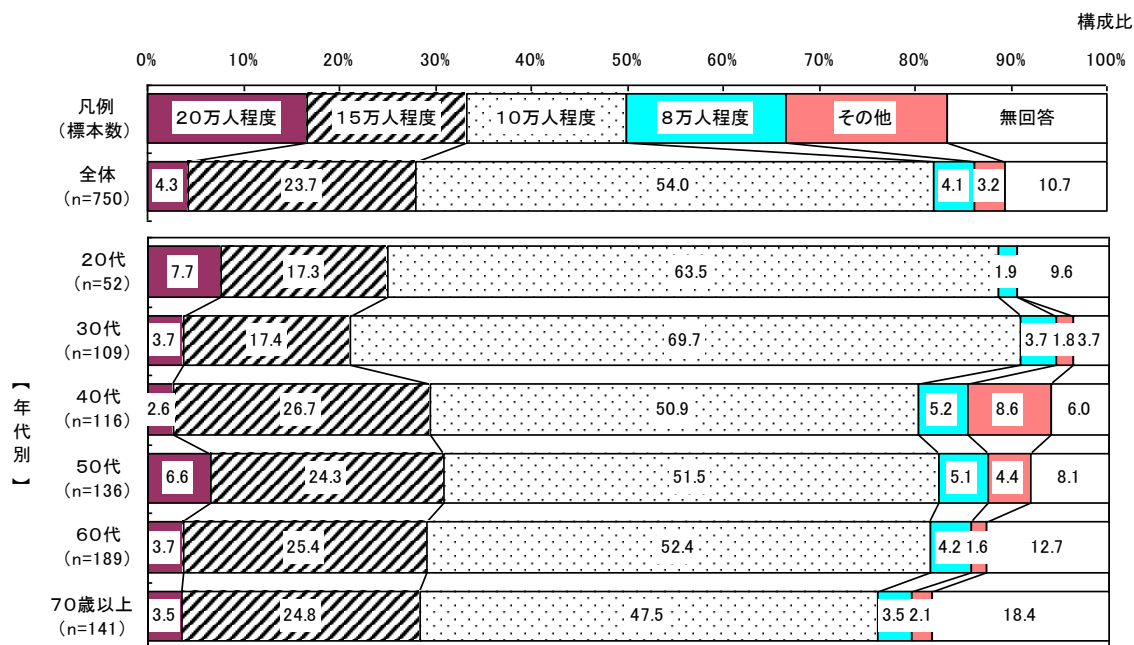
(3) 鹿沼市の適正な人口規模

問 10 鹿沼市の人口減少が加速しています。平成 13 年 3 月の 104,916 人をピークに、昨年 4 月に 10 万人を切り、今年 5 月には 9 万 9 千人を切りました。人口規模が直接、住み良さにつながるものではありませんが、全国的な人口減少傾向が進行する中で、本市の人口規模はどの程度が望ましいと思いますか？ 次の中から 1 つ選び、その理由があればご記入ください。

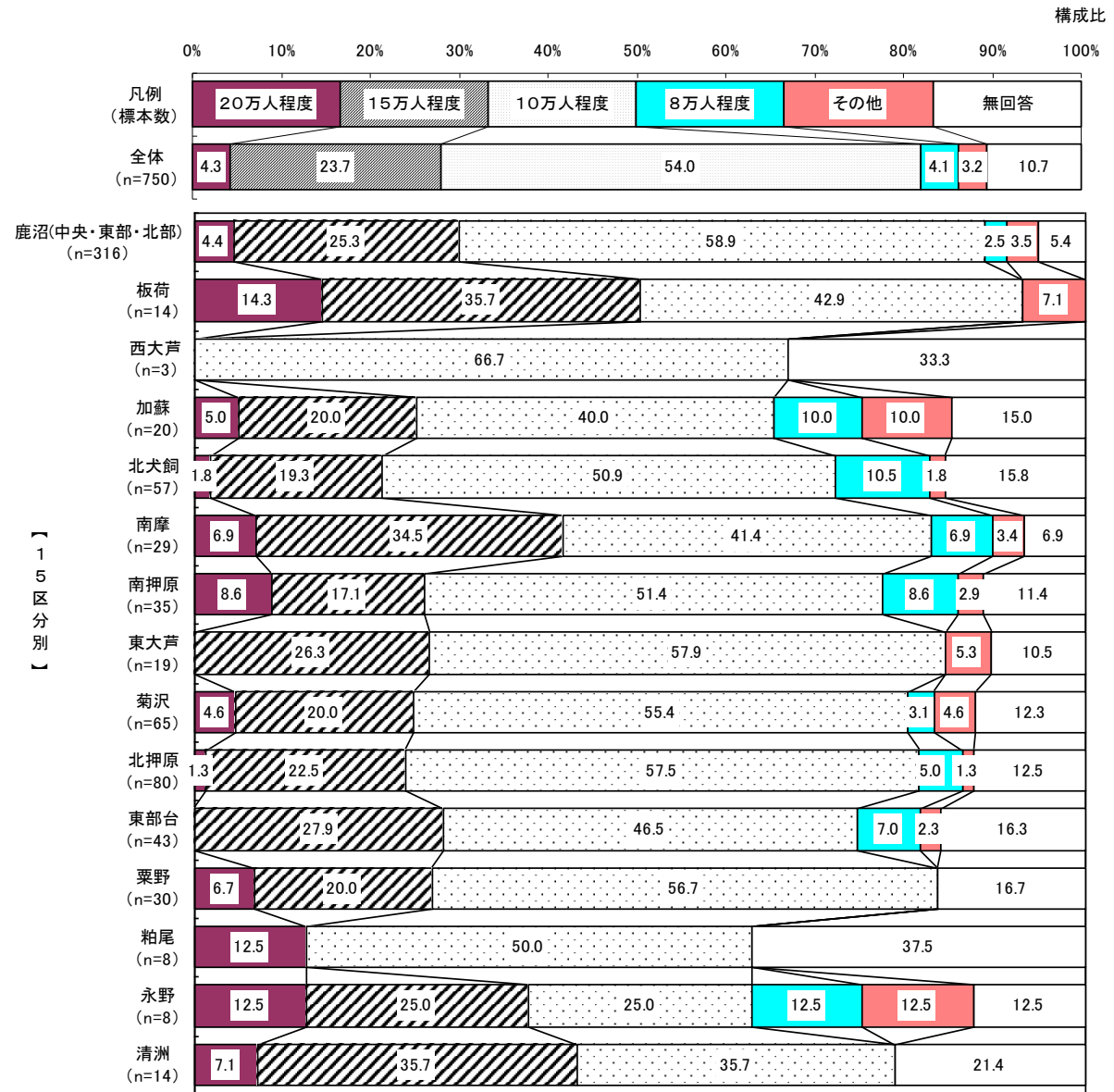
問 10 適正な人口規模【性別】(S A)



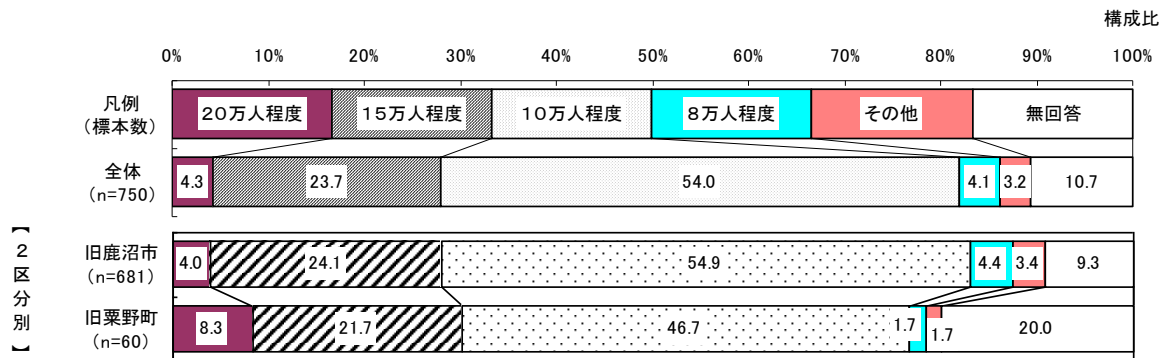
問 10 適正な人口規模【年代別】(S A)



問10 適正な人口規模【居住地区別（15区分）】（SA）



問10 適正な人口規模【居住地区別（2区分）】（SA）



第3章 調査結果の分析

問10 適正な人口規模

◎「10万人程度」が半数を超えており、人口の維持を望む声が多い。

【全体】

鹿沼市に適正な人口規模について全体で見ると、「10万人程度」が54.0%と半数を超えて最も高く、人口の維持を望んでいることが伺える。次いで「15万人程度」が23.7%と高く、「20万人程度」と「8万人程度」はともに約4%となっている。

【性別】

性別で見ると、「10万人程度」は男性が51.7%、女性が56.5%とともに半数を超えており、女性が男性を4.8ポイント上回っている。一方、「20万人程度」「15万人程度」「8万人程度」の回答割合は、いずれも男性が女性を上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、70代を除くどの年代においても「10万人程度」の割合が半数を超えており、特に20代と30代では6割を超えて高くなっている。一方「15万人程度」は40代以上の年代で25%前後となっており、20代、30代は約17%と他の年代よりも低くなっている。また、「20万人程度」は20代が7.7%、50代が6.6%と他の年代に比べ高くなっている。

【居住地区別】

居住地区別（15区分）で見ると、すべての地域で「10万人程度」が最も高くなっている。板荷、南摩、清洲では「15万人程度」が3割を超えており、特に清洲では「10万人程度」と「15万人程度」がともに35.7%と同じ回答割合になっている。

居住地区別（2区分）で見ると、「10万人程度」は旧鹿沼市で54.9%、旧栗野町で46.7%となっており、旧栗野町の地域では5割を下回っている。一方、「20万人程度」は旧鹿沼市が4.0%、旧栗野町で8.3%となっており、旧栗野町の回答割合は旧鹿沼市の約2倍となっている。

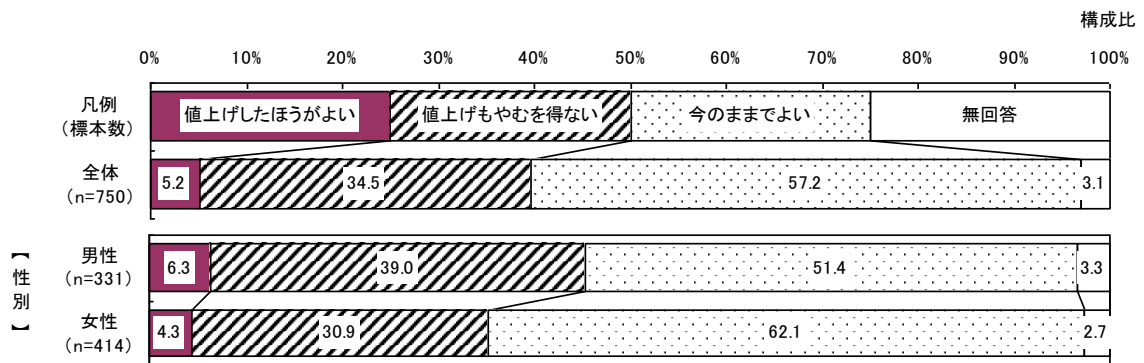
5

ごみ処理手数料について

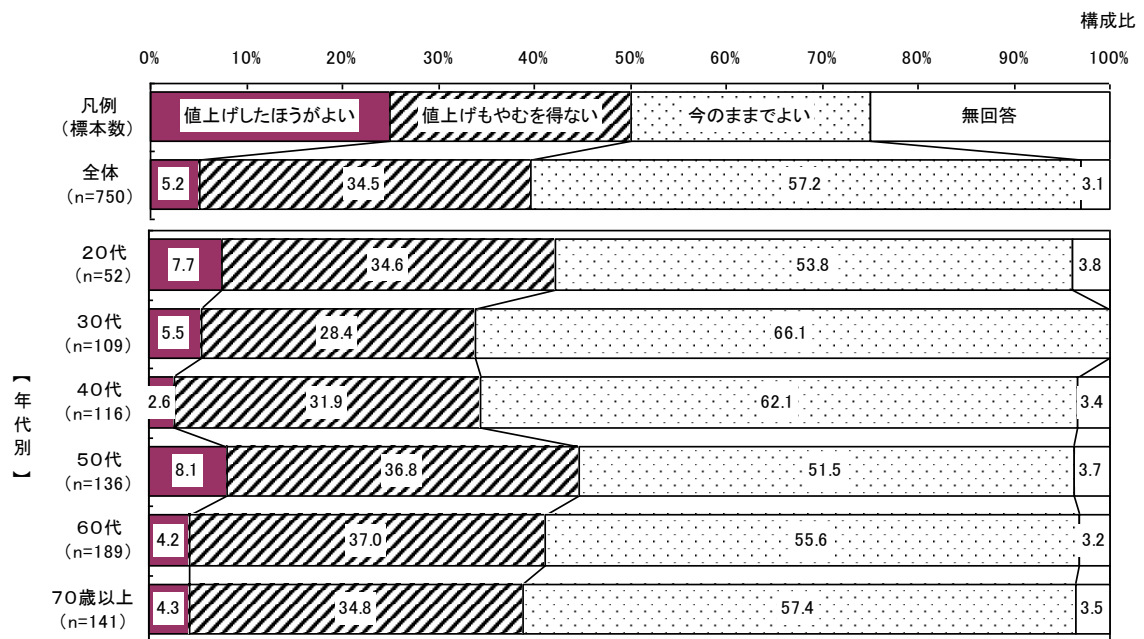
(1) ごみ袋の値上げ

問 11 現在の燃やすごみの処理手数料は 45ℓ 袋 1 袋あたり 30 円ですが、実際の処理費用は 180 円ほどかかり、不足分は税金でまかなわれています。公平な費用負担のために、ごみ処理手数料を値上げしたほうがよいと思いますか。次の中から 1 つ選んでください。

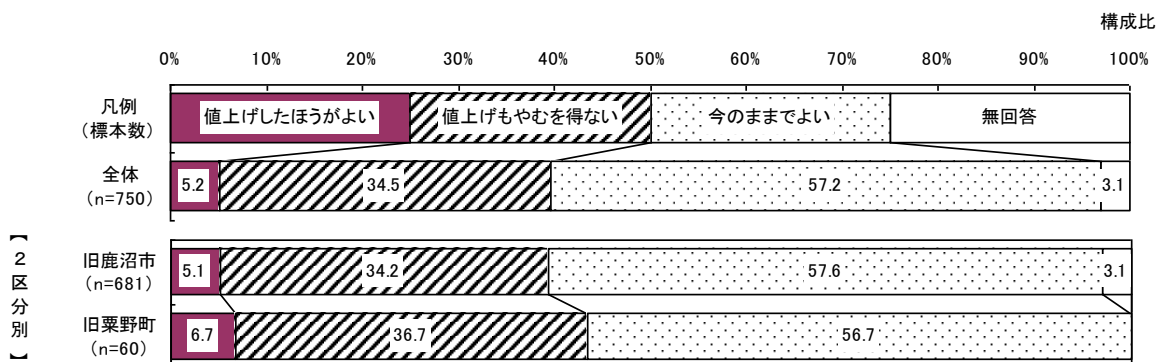
問 11 ごみ袋の値上げについて【性別】(S A)



問 11 ごみ袋の値上げについて【年代別】(S A)



問 11 ごみ袋の値上げについて【居住地区別（2区分）】（SA）



問 11 ごみ袋の値上げについて

◎「今のままでよい」が57.2%。『値上げ容認』は約4割。

【全体】

ごみ処理手数料としてのごみ袋の値上げについて全体で見ると、「今のままでよい」が57.2%と半数を超えて最も多い。一方、「値上げしたほうがよい」と「値上げもやむを得ない」を合わせた『値上げ容認』は39.7%で約4割となっている。

【性別】

性別で見ると、「今のままでよい」は男性が51.4%、女性が62.1%となっており、女性が男性を10.7ポイント上回っている。一方、『値上げ容認』は男性が45.3%、女性が35.2%となっており、男性が女性を10.1ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、全ての年代で「今のままでよい」が半数を超えており、特に30代、40代の子育て世代では6割を超えて高くなっている。一方、『値上げ容認』の回答割合は30代、40代を除く全ての年代で4割前後となっており、特に「値上げしたほうがよい」は20代が7.7%、50代が8.1%と、他の年代よりも高くなっている。

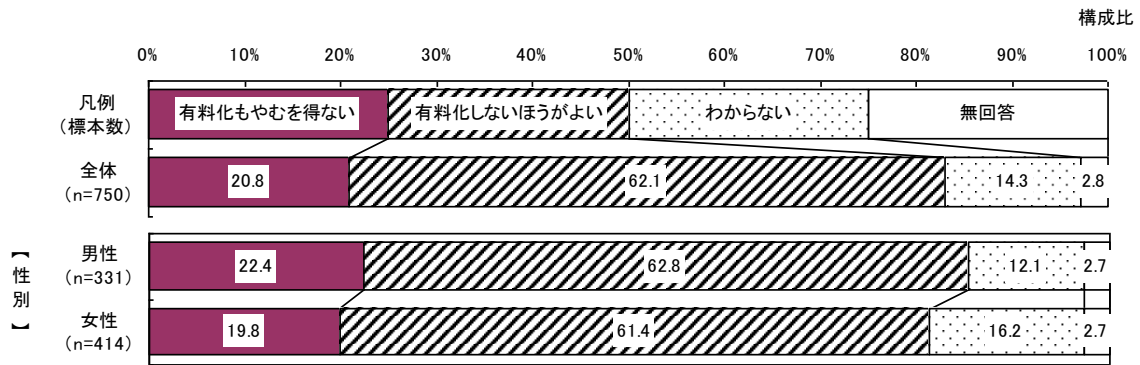
【居住地区別】

居住地区別（2区分）で見ると、「今のままでよい」は旧鹿沼市で57.6%、旧栗野町で56.7%とそれほど差がないが、『値上げ容認』の回答割合は旧鹿沼市が39.3%、旧栗野町が43.4%となっており、旧栗野町が旧鹿沼市を4.1ポイント上回っている。

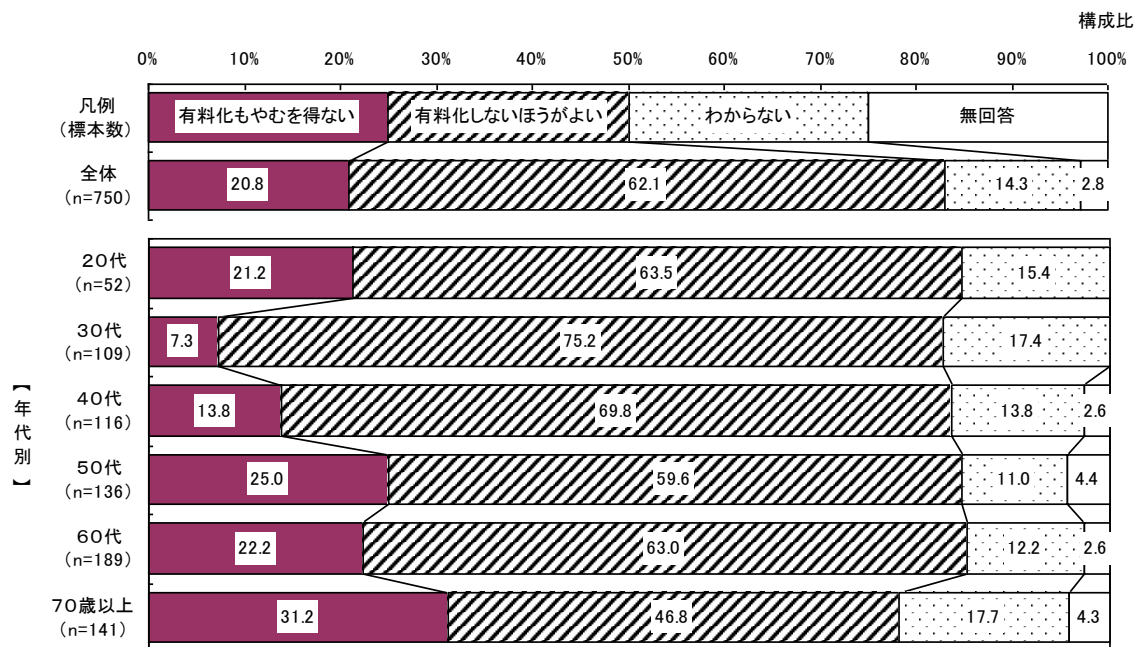
(2) 燃やすごみ以外のごみ処理手数料の有料化

問 12 燃やすごみ以外のごみ処理手数料は無料ですが、有料化すべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

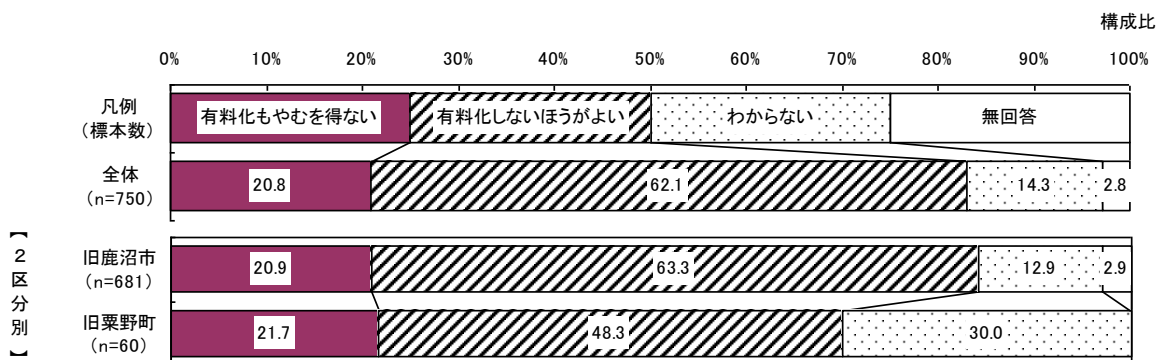
問 12 燃やすごみ以外のごみ処理手数料の有料化【性別】(S A)



問 12 燃やすごみ以外のごみ処理手数料の有料化【年代別】(S A)



問 12 燃やすごみ以外のごみ処理手数料の有料化【居住地区別（2区分）】（S A）



問 12 燃やすごみ以外のごみ処理手数料の有料化

◎「有料化しないほうがよい」が約6割。「有料化もやむを得ない」は約2割。

【全体】

燃やすごみ以外のごみ処理手数料の有料化について全体で見ると、「有料化しないほうがよい」が 62.1%と6割を超えている。一方、「有料化もやむを得ない」は 20.8%と約2割となっている。

【性別】

性別で見ると、男性、女性ともに全体と同じく「有料化しないほうがよい」が約6割、「有料化もやむを得ない」が約2割となっているが、「有料化もやむを得ない」「有料化しないほうがよい」の両方とも、男性の回答割合は女性を上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、「有料化もやむを得ない」は特に子育て世代の30代で7.3%、40代で13.8%と他の年代よりも低くなっており、「有料化しないほうがよい」も30代で75.2%、40代で69.8%と7割前後になっている。70歳以上は他の年代に比べ「有料化もやむを得ない」が最も高く31.2%と3割を超えており、また「有料化しないほうがよい」は46.8%と唯一5割を下回っている。

【居住地区別】

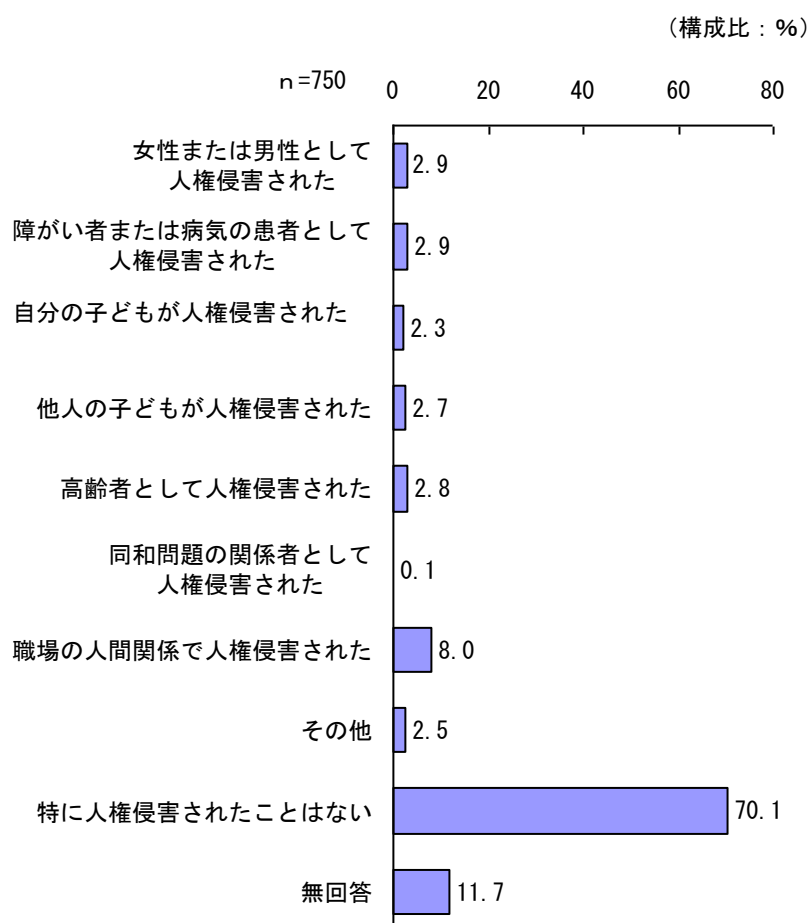
居住地区別（2区分）で見ると、「有料化もやむを得ない」は旧鹿沼市で20.9%、旧栗野町で21.7%とそれほど差がないが、「有料化しないほうがよい」の回答割合は旧鹿沼市が63.3%、旧栗野町が48.3%となっており、旧鹿沼市が旧栗野町を15ポイント大幅に上回っている。

6 人権について

(1) 人権侵害の有無

問 13 あなたはこの一年間に、自分または身近な子どもの人権が侵害されたと感じたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

問 13 人権侵害の有無【全体】(MA)



問 13 人権侵害の有無【性別・年代別】(MA)

(構成比:%)

		女性または男性として 人権侵害された	障がい者または病気の患者 として人権侵害された	自分の子どもが 人権侵害された	他人の子どもが 人権侵害された	高齢者として 人権侵害された	同和問題の関係者として 人権侵害された	職場の人間関係で 人権侵害された	その他	特に人権侵害された ことはない	無回答
	全体 (n=750)	2.9	2.9	2.3	2.7	2.8	0.1	8.0	2.5	70.1	11.7
性別	男性 (n=331)	1.5	3.0	2.1	2.1	3.3	0.3	7.3	2.4	73.7	10.6
	女性 (n=414)	4.1	2.9	2.4	3.1	2.4	0.0	8.7	2.7	67.9	11.8
年代	20代 (n=52)	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	75.0	13.5
	30代 (n=109)	1.8	1.8	2.8	2.8	0.0	0.0	12.8	2.8	75.2	3.7
	40代 (n=116)	4.3	2.6	6.9	3.4	3.4	0.0	14.7	4.3	62.1	7.8
	50代 (n=136)	5.9	4.4	0.7	2.2	2.2	0.0	8.1	0.7	72.8	11.8
	60代 (n=189)	2.1	2.1	1.1	3.2	3.7	0.5	4.8	4.8	69.3	12.7
	70歳以上 (n=141)	2.1	5.0	0.7	2.1	5.0	0.0	2.8	0.7	71.6	17.0

問 13 人権侵害の有無

◎「特に人権侵害されたことはない」が7割。人権侵害では職場での人間関係が多い。

【全体】

人権侵害の有無について全体でみると、「特に侵害されたことはない」が70.1%で7割と高くなっている。一方、侵害があったなかでは、「職場の人間関係で人権侵害された」は8.0%となっており、他の人権侵害と比べ突出して高くなっている。

【性別】

性別でみると、「特に侵害されたことはない」男性が73.7%、女性が67.9%と、男性が女性より5.8ポイント上回っている。また、「女性としてまたは男性として人権侵害された」は女性4.1%が男性1.5%を2.6ポイント、「職場の人間関係で人権侵害された」は女性8.7%が男性7.3%を1.4ポイントそれぞれ上回っており、社会の中で女性が人権侵害を受けたと感じている割合は男性より高くなっている。

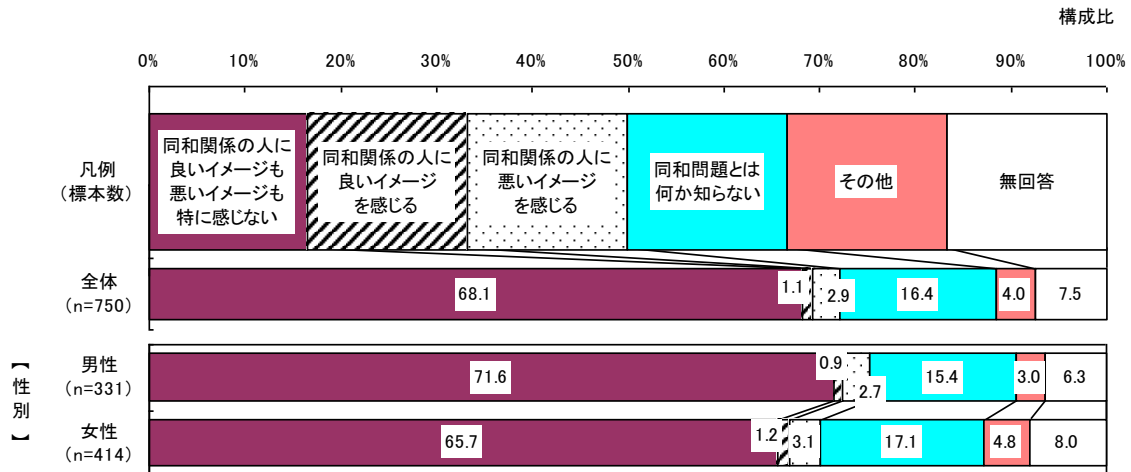
【年代別】

年代別でみると、「女性としてまたは男性として人権侵害された」は40代4.3%、50代5.9%と他の年代に比べ高く、「自分の子どもが人権侵害された」は40代以下の年代で、「高齢者として人権侵害された」は40代以上の年代で高くなっている。また「職場の人間関係で人権侵害された」は30代12.8%、40代14.7%と、10%を超えて高くなっている。

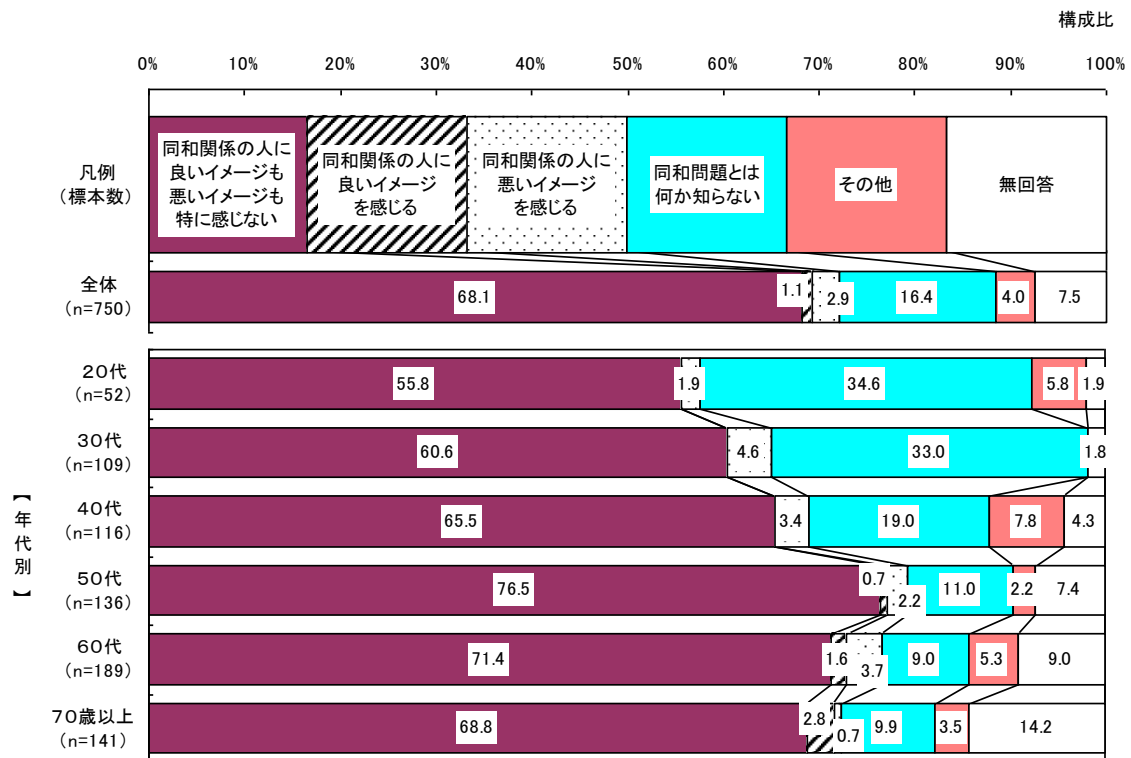
(2) 同和問題について

問 14 市は同和問題の解決に取り組んでいます。あなたは同和問題について、どのような受け止め方をしていますか。次の中から1つ選んでください。

問 14 同和関係の人のイメージ【性別】(SA)



問 14 同和関係の人のイメージ【年代別】(SA)



第3章 調査結果の分析

問 14 同和関係の人のイメージ

◎「良いイメージも悪いイメージも特に感じない」が約7割。

【全体】

同和関係の人のイメージについて全体で見ると、「良いイメージも悪いイメージも特に感じない」68.1%が約7割をしめている。また「同和問題とは何か知らない」は16.4%、「良いイメージを感じる」は1.1%、「悪いイメージを感じる」は2.9%となっている。

【性別】

性別で見ると、「良いイメージも悪いイメージも特に感じない」は男性が71.6%、女性が65.7%と、男性が女性より5.9ポイント上回っている。また、「同和問題とは何か知らない」は男性が15.4%、女性が17.1%と、女性が男性より1.7ポイント上回っている。

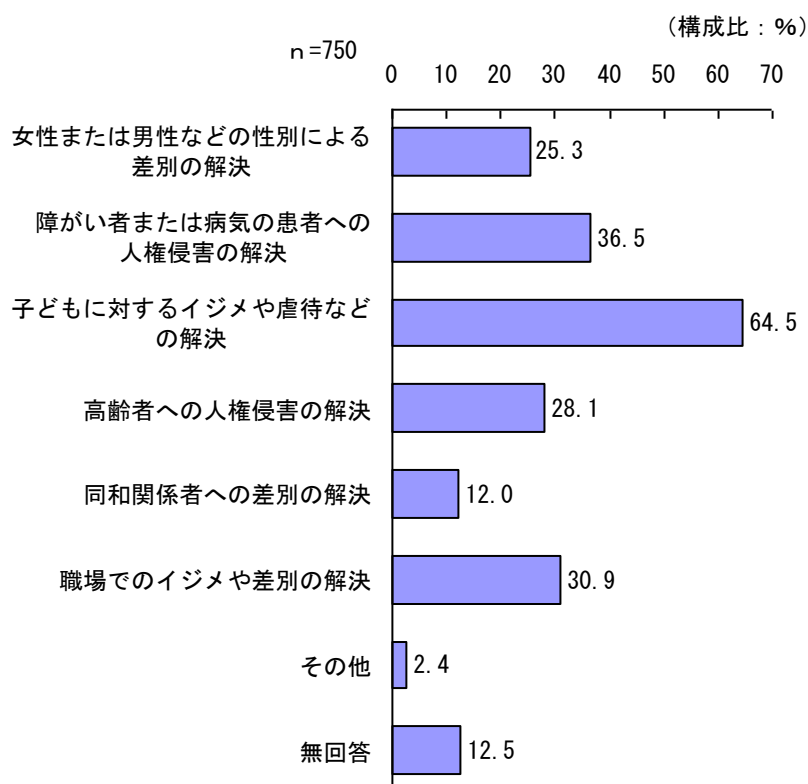
【年代別】

年代別で見ると、「良いイメージも悪いイメージも特に感じない」は50代76.5%、60代71.4%と7割を超えて他の年代に比べ高く、20代が55.8%と最も低い。「同和問題とは何か知らない」は20代34.6%、30代33.0%の若年層が3割を超えて高くなっている。「悪いイメージを感じる」は30代、40代、60代でやや高く、「良いイメージを感じる」は50代から年代が上がるごとに増えており、70歳以上で2.8%と最も高くなっている。

(3) 解決してほしい人権問題

問 15 あなたはどのような人権問題の解決を望みますか。次の中からいくつでも選んでください。

問 15 解決してほしい人権問題【全体】(MA)



第3章 調査結果の分析

問 15 解決してほしい人権問題【性別・年代別・職業別】(MA)

(構成比:%)

		女性または性別による差別の解決	障がい者または病気の患者への人権侵害の解決	子どもに対するイジメや虐待などの解決	高齢者への人権侵害の解決	同和関係者への差別の解決	職場でのイジメや差別の解決	その他	無回答
	全体(n=750)	25.3	36.5	64.5	28.1	12.0	30.9	2.4	12.5
性別	男性(n=331)	16.6	30.2	61.9	25.1	8.8	26.9	3.9	13.9
	女性(n=414)	32.6	41.8	66.9	30.9	14.7	34.5	1.2	10.9
年代	20代(n=52)	32.7	42.3	57.7	17.3	15.4	48.1	1.9	15.4
	30代(n=109)	28.4	48.6	82.6	28.4	12.8	35.8	2.8	2.8
	40代(n=116)	31.9	41.4	70.7	23.3	16.4	37.9	3.4	3.4
	50代(n=136)	28.7	31.6	66.9	22.8	9.6	37.5	1.5	11.8
	60代(n=189)	23.3	31.7	58.2	31.7	9.0	24.3	2.6	17.5
	70歳以上(n=141)	15.6	31.9	56.0	36.9	12.8	19.1	2.1	19.9
職業	専門職(n=9)	33.3	55.6	77.8	33.3	11.1	33.3	11.1	11.1
	管理職(n=26)	19.2	26.9	57.7	23.1	15.4	23.1	0.0	19.2
	事務・技術職(n=116)	26.7	34.5	73.3	28.4	12.1	41.4	2.6	7.8
	販売・生産・労務職(n=92)	21.7	35.9	60.9	21.7	7.6	27.2	3.3	7.6
	農林水産業従事者(n=32)	28.1	21.9	56.3	21.9	3.1	31.3	0.0	15.6
	自営業(n=63)	27.0	33.3	65.1	25.4	12.7	27.0	3.2	11.1
	パート・アルバイト(n=103)	29.1	36.9	74.8	32.0	16.5	35.0	1.0	5.8
	主に家事、育児(n=82)	31.7	47.6	70.7	30.5	12.2	32.9	1.2	9.8
	学生(n=9)	44.4	44.4	55.6	33.3	33.3	55.6	0.0	11.1
	無職(n=185)	20.5	37.8	56.8	31.4	11.9	25.4	3.2	20.0
	その他(n=27)	25.9	33.3	55.6	22.2	11.1	29.6	3.7	18.5

問 15 解決してほしい人権問題

◎「子どもに対するイジメや虐待などの解決」が64.5%。

【全体】

解決してほしい人権問題について全体で見ると、「子どもに対するイジメや虐待などの解決」が64.5%と最も高くなっている。次いで「障がい者または病気の患者への人権侵害の解決」が36.5%、「職場でのイジメや差別の解決」が30.9%と3割を超えて続いている。

【性別】

性別で見ると、その他を除くすべての項目で女性の回答割合が男性を上回っており、特に「女性または男性などの性別による差別の解決」は女性32.6%が男性16.6%を16.0ポイント、「障がい者または病気の患者への人権侵害の解決」は女性41.8%が男性30.2%を11.6ポイントと大幅に上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、「子どもに対するイジメや虐待などの解決」は30代が82.6%、40代が70.7%と他の年代に比べ高い。また、「同和関係者への人権侵害の解決」は50代9.6%、60代9.0%が10%を切っており、他の年代に比べ低くなっている。

【職業別】

職業別で見ると、「女性または男性などの性別による差別の解決」は管理職を除くすべての職種で20%を超えている。また「子どもに対するイジメや虐待などの解決」は事務・技術職、パート・アルバイト、主に家事、育児で7割を超えて高く、「職場でのイジメや差別の解決」は事務・技術職で4割を超えて高い。

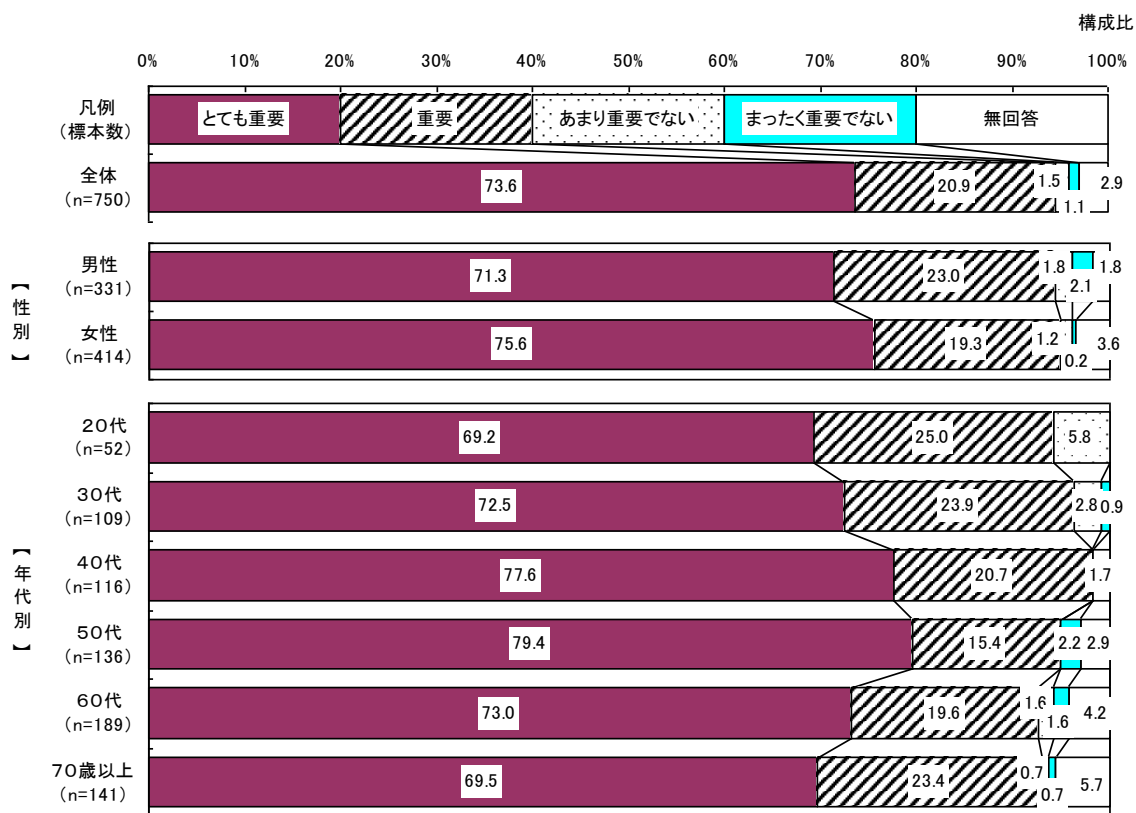
7 青少年の健全育成について

(1) 青少年が家庭で身につけるべき重要なこと

問 16 家庭で身につけるべきことは、どんなことが重要だと思いますか。下記の項目ごとに、評価欄にある番号に○印を付けてください。
 評価基準：1 とても重要 2 重要 3 あまり重要でない 4 まったく重要でない

問 16 1 他人に迷惑をかけない【性別・年代別】(SA)

◎「とても重要」は7割を超える。



【全体】

他人に迷惑をかけないことが重要かについて全体で見ると、「とても重要」が73.6%と7割を超えており、「重要」20.9%と合わせた『重要』は94.5%と9割を超えている。

【性別】

性別で見ると、「とても重要」は男性71.3%、女性75.6%ともに7割を超えて高い。また『重要』は男女ともに9割を超えている。

【年代別】

年代別で見ると、50代で「とても重要」が79.4%と8割近くで他の年代に比べ最も高いが、一方で「あまり重要ではない」は20代が5.8%と、こちらも他の年代に比べ高い。

問16 2 礼儀作法を身につける【性別・年代別】(SA)

◎「とても重要」は約5割。



【全体】

礼儀作法を身につけることが重要かについて全体で見ると、「とても重要」が49.2%と約半数になり、「重要」44.7%と合わせた『重要』は93.9%と9割を超えている。

【性別】

性別で見ると、「とても重要」は男性が47.7%、女性が50.2%と、女性が男性より2.5ポイント上回っており、一方「重要」は男性が46.5%、女性が43.7%と、男性が女性より2.8ポイント上回っている。『重要』は男女ともに9割を超えている。

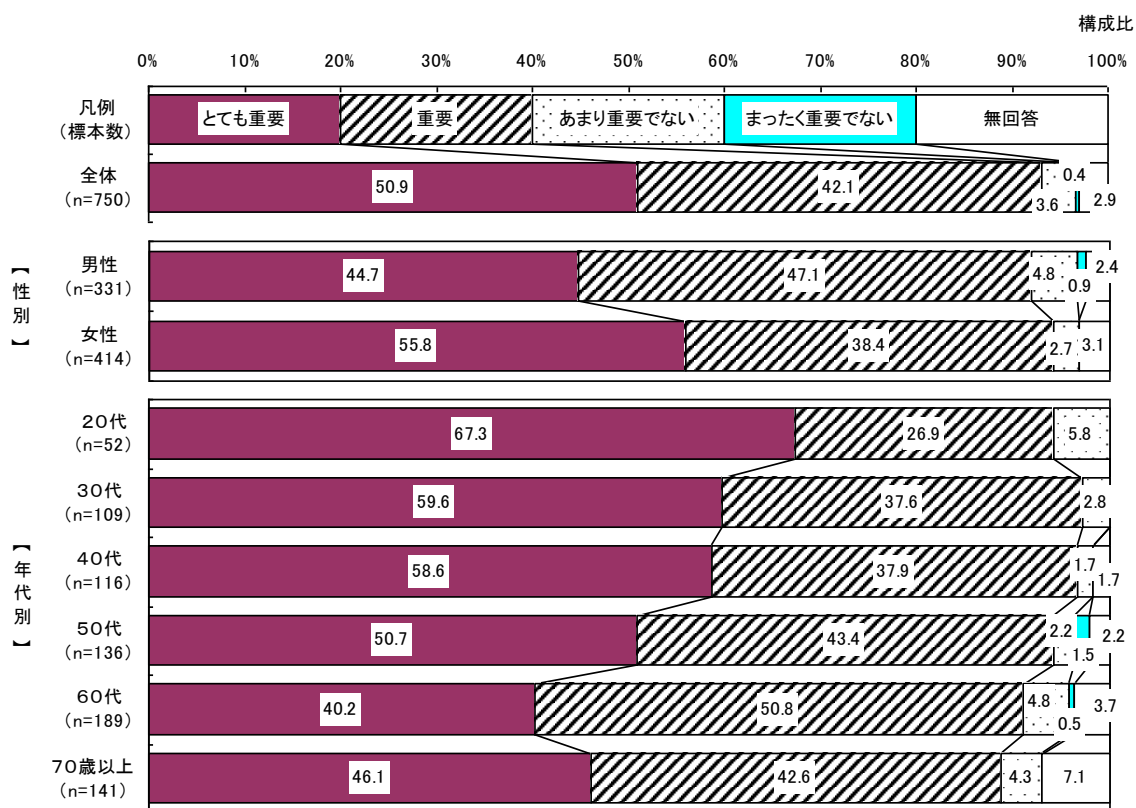
【年代別】

年代別で見ると、すべての年代で『重要』が9割を超えており、特に20代で「とても重要」が63.5%と6割を超えて他の年代に比べ最も高い。「あまり重要ではない」は40代が6.4%と最も高く、次いで20代3.8%、60代3.7%と続いている。「まったく重要でない」は少ない割合ではあるが50代以上からみられる。

第3章 調査結果の分析

問 16 3 お金や物を大切にする【性別・年代別】(SA)

◎「とても重要」は約5割。



【全体】

お金や物を大切にすることが重要かについて全体で見ると、「とても重要」が50.9%と5割を超えており、「重要」と合わせた『重要』は93.0%と9割を超えている。「あまり重要でない」は3.6%となっており、「まったく重要でない」と合わせた『重要でない』は4.0%になる。

【性別】

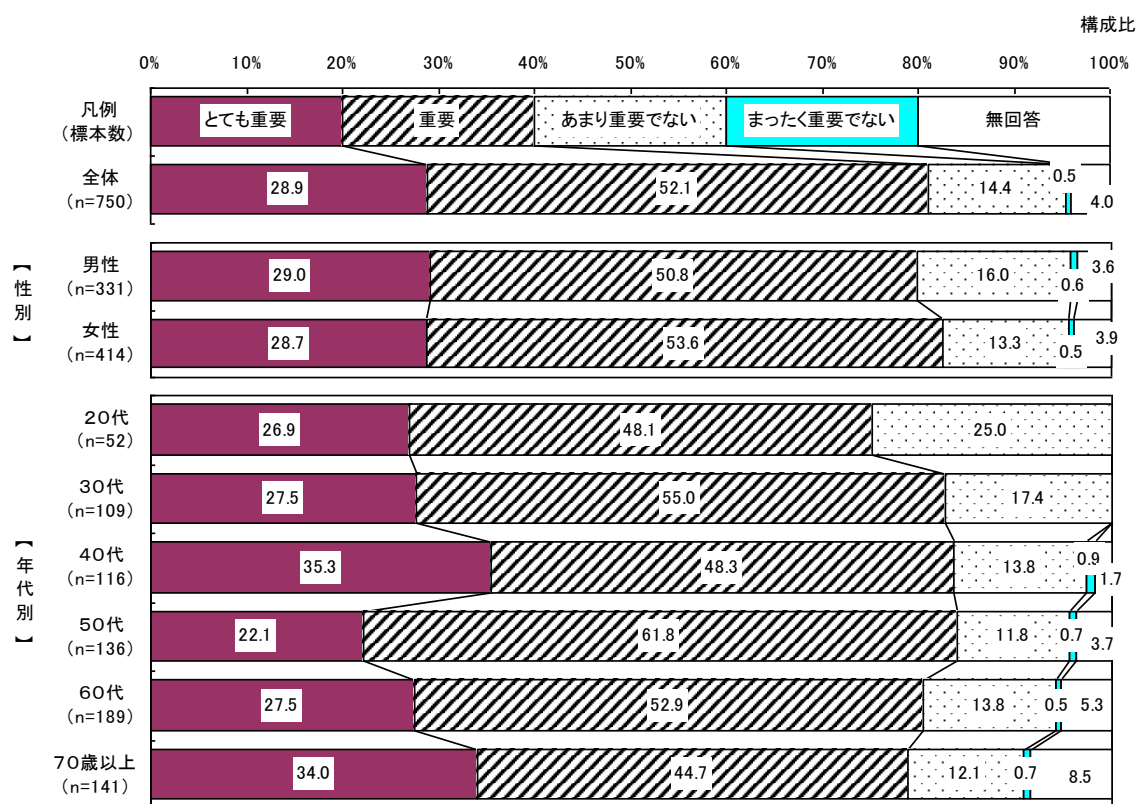
性別で見ると、「とても重要」は男性が44.7%、女性が55.8%と、女性が男性より11.1ポイント上回っている。『重要』は男女ともに9割を超えている。一方『重要でない』は男性が5.7%と、女性2.7%よりも3ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、20代で「とても重要」が67.8%と他の年代に比べ最も高いが、一方で「あまり重要ではない」が5.8%と、こちらも他の年代に比べ高い。

問 16 4 物事を計画し、実行する【性別・年代別】(SA)

◎「とても重要」は約3割。『重要でない』は約15%。



【全体】

物事を計画し、実行することが重要かについて全体で見ると、「とても重要」が28.9%で約3割となっており、「重要」52.1%と合わせた『重要』は8割となっている。一方、『重要でない』は15%近くとなっている。

【性別】

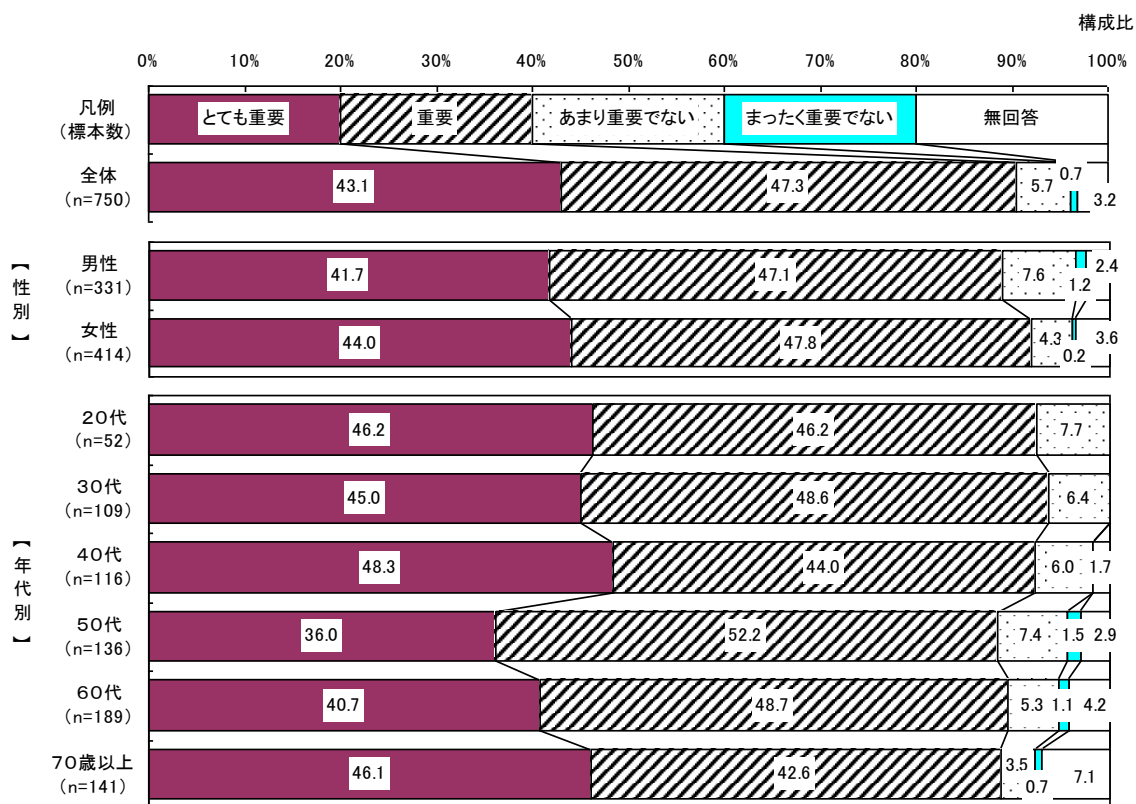
性別で見ると、「とても重要」は男性、女性ともに3割近くとなっており、「重要」は男性、女性ともに5割を超えている。一方、「あまり重要でない」は男性が16.0%、女性が13.3%と、ともに10%を超えている。

【年代別】

年代別で見ると、「とても重要」は40代35.3%、70歳以上34.0で3割を超えて他の年代よりも高くなっている。一方、「あまり重要でない」は20代が4分の1にあたる25.0%と高くなっており、その他の年代も全て10%を超えている。

問 16 5 言ったことは責任をもつ【性別・年代別】(SA)

◎「とても重要」は4割を超える。『重要でない』は約6%。



【全体】

言ったことは責任をもつことが重要かについて全体で見ると、「とても重要」が43.1%と4割を超えており、「重要」47.3%と合わせた『重要』は90.4%で約9割となっている。一方『重要でない』は約6%となっている。

【性別】

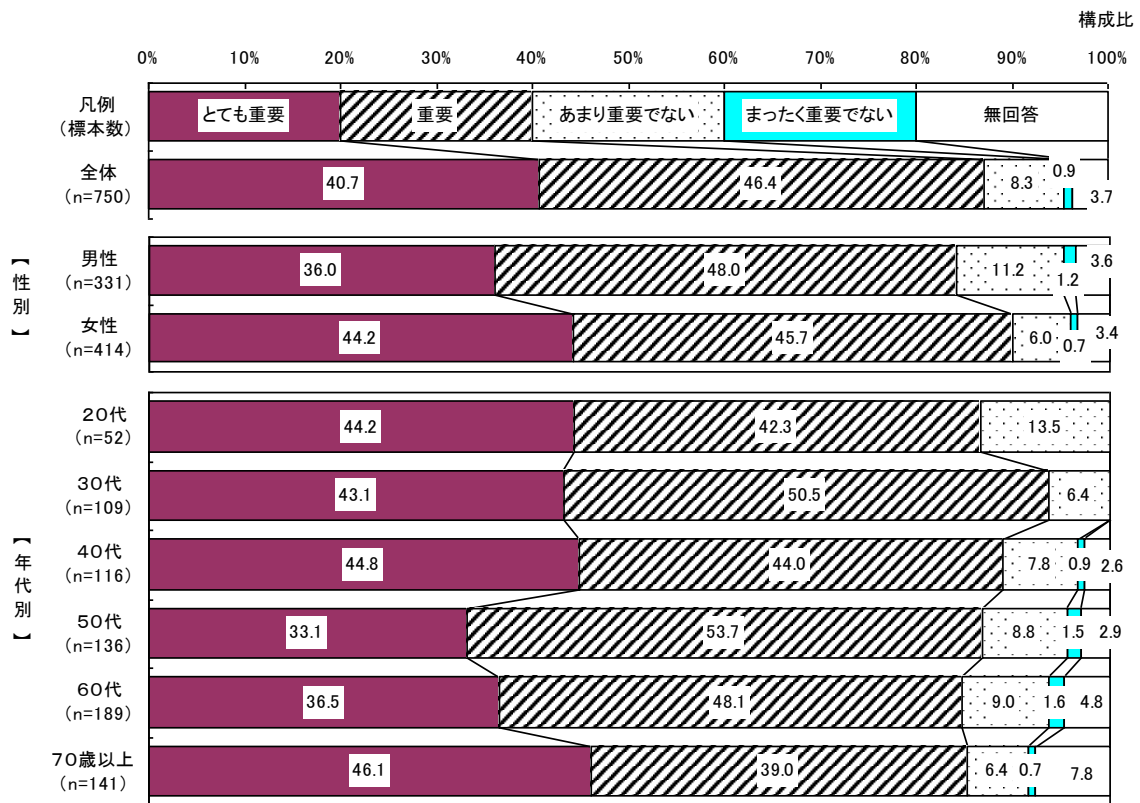
性別で見ると、『重要』は男性が88.8%、女性が91.8%と、女性が男性より3ポイント上回っている。一方、『重要でない』は男性が8.8%、女性が4.5%と、男性が女性よりも4.3ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、「とても重要」は50代が36.0%と他の年代よりも低くなっている。一方、『重要でない』は20代から60代にかけて5%を超えており、特に50代は8.9%と最も高い。

問16 6 やり抜く我慢強さ【性別・年代別】(SA)

◎「とても重要」は約4割。「あまり重要でない」は約8%。



【全体】

やり抜く我慢強さが重要かについて全体で見ると、「とても重要」が40.7%で約4割となっており、「重要」46.4%と合わせた『重要』は88.1%と9割近くになっている。一方、「まったく重要でない」は8.3%となっている。

【性別】

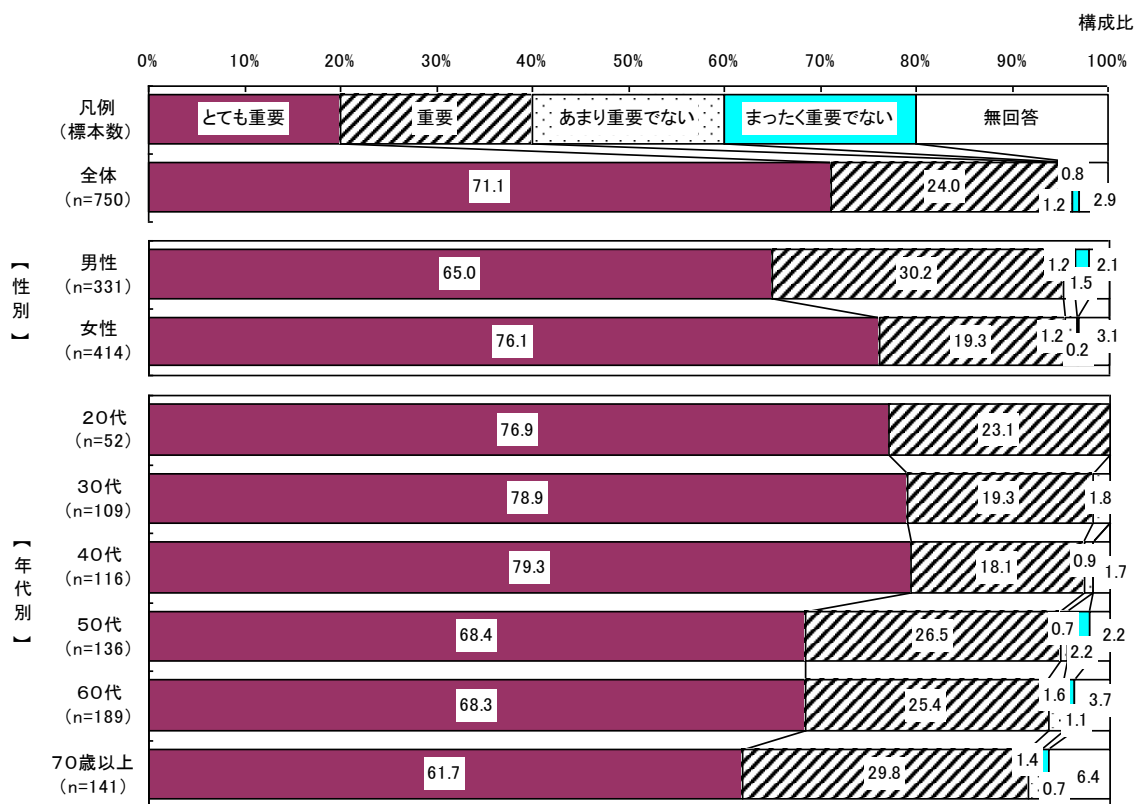
性別で見ると、「とても重要」は男性が36.0%、女性が44.2%と、女性が男性より8.2ポイント上回っている。一方、「あまり重要でない」は男性が11.2%、女性が6.0%と、男性が女性を5.2ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、「とても重要」は50代が33.1%、60代が36.5%と3割台で、他の年代に比べ低くなっている。また、全ての年代で「あまり重要でない」は5%を超えており、特に20代では13.5%と10%を超えている。

問 16 7 思いやりの心【性別・年代別】(SA)

◎「とても重要」は7割を超える。『重要』は約95%。



【全体】

思いやりの心が重要かについて全体で見ると、「とても重要」が71.1%と7割を超えており、「重要」24.0%と合わせた『重要』は95.1%と9割を超えている。

【性別】

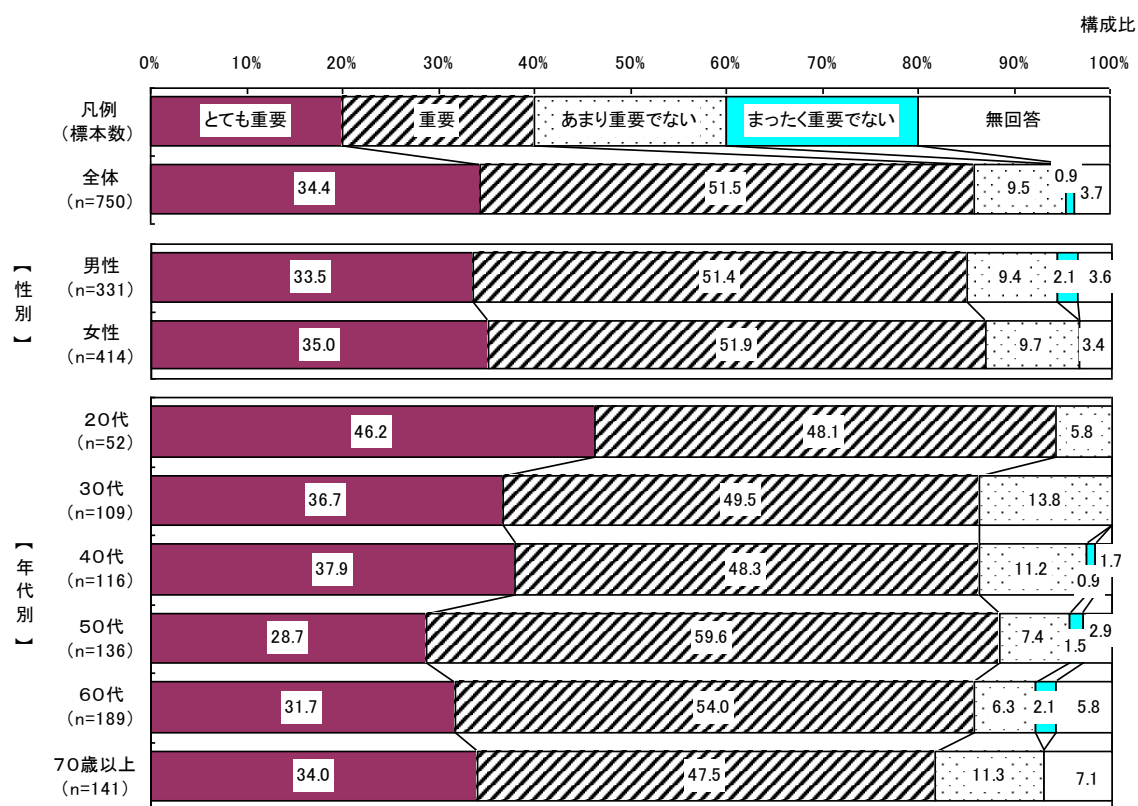
性別で見ると、「とても重要」は男性が65.0%、女性が76.1%と、女性が男性より11.1ポイント上回っている。「重要」は男性が30.2%、女性が19.3%と、男性が女性より10.9ポイント上回っている。『重要』は男女ともに9割を超えている。

【年代別】

年代別で見ると、すべての年代で『重要』が9割を超えて高くなっている。「とても重要」は20代から40代までは7割後半となっているが、50代以上では6割となり、70歳以上では61.7%と最も低い。

問16 異なる意見を尊重する【性別・年代別】(SA)

◎『重要』は85.9%。『重要でない』は約10%。



【全体】

異なる意見を尊重することが重要かについて全体で見ると、『重要』は85.9%と8割を超えている。一方『重要でない』は10.4%となっている。

【性別】

性別で見ると、『重要』は男性、女性ともに8割を超えている。一方、『重要でない』は男性が11.5%、女性が9.7%と10%前後となっている。

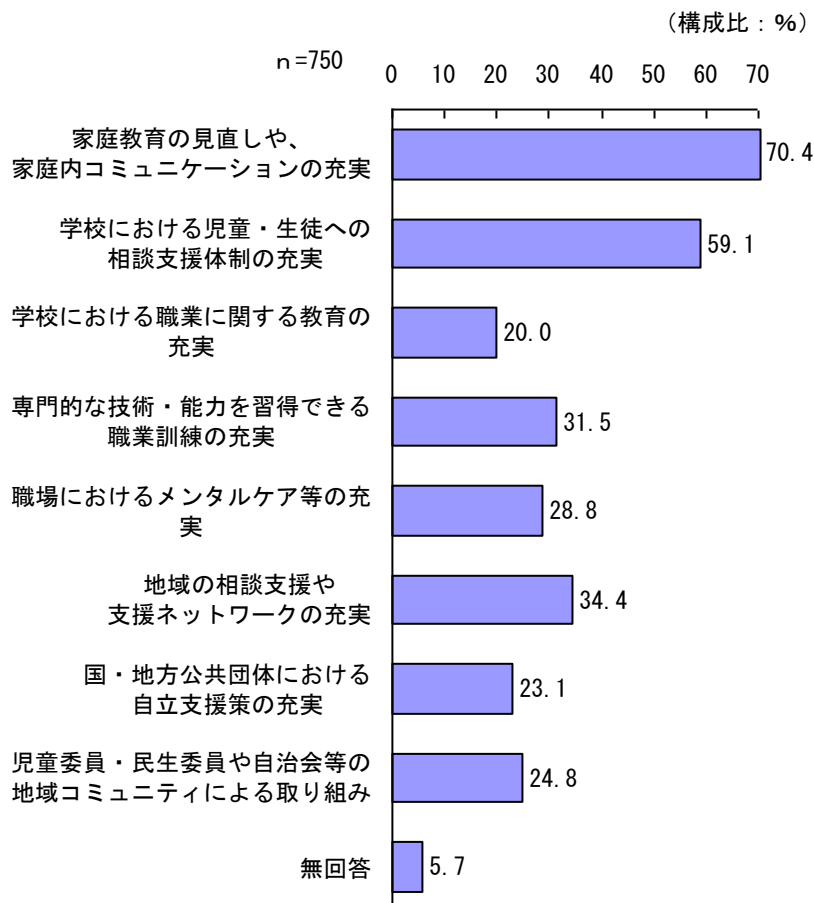
【年代別】

年代別で見ると、『重要』の割合は20代94.3%が9割を超えて最も高くなっている。一方、『重要でない』は30代が13.8%、40代が12.1%、70代以上が11.3%と10%を超えて高くなっている。

(2) ひきこもりの予防や支援に必要な取り組み

問 17 ひきこもり予防や支援のため、どのような取り組みが必要と思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

問 17 ひきこもりの予防や支援に必要な取り組み【全体】(MA)



問 17 ひきこもりの予防や支援に必要な取り組み【性別・年代別】(MA)

(構成比:%)

		家庭内コミュニケーションの充実	学校教育の見直しや、への相談支援体制の充実	学校における職業に関する教育の充実	専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実	職場におけるメンタルケア等の充実	地域の相談支援や支援ネットワークの充実	国・地方公共団体における自立支援策の充実	児童委員・民生委員や自治会等の地域コミュニティによる取り組み	無回答
	全体 (n=750)	70.4	59.1	20.0	31.5	28.8	34.4	23.1	24.8	5.7
性別	男性 (n=331)	66.8	53.8	18.4	26.0	24.5	33.5	24.2	25.1	6.0
	女性 (n=414)	73.7	63.8	21.5	36.0	32.6	35.5	22.5	24.6	4.8
年代	20代 (n=52)	65.4	48.1	19.2	32.7	36.5	30.8	21.2	13.5	0.0
	30代 (n=109)	78.0	70.6	26.6	33.0	45.9	32.1	22.0	23.9	0.9
	40代 (n=116)	72.4	56.9	19.8	30.2	31.9	36.2	27.6	26.7	3.4
	50代 (n=136)	70.6	57.4	19.9	31.6	30.1	36.0	23.5	20.6	5.9
	60代 (n=189)	69.8	58.2	16.4	32.8	20.6	36.5	22.2	22.2	6.3
	70歳以上 (n=141)	67.4	60.3	20.6	29.1	21.3	33.3	22.0	34.8	10.6

問 17 ひきこもりの予防や支援に必要な取り組み

◎家庭や学校での取り組みの必要が高い。

【全体】

ひきこもりの予防や支援に必要な取り組みについて全体でみると、「家庭教育の見直しや、家庭内コミュニケーションの充実」が70.4%で約7割、また、「学校における児童・生徒への相談支援体制の充実」が59.1%と6割近くとなって、他の項目と比べ突出して高くなっている。

【性別】

性別でみると、女性が男性より上回っている項目が多く、特に「学校における児童・生徒への相談支援体制の充実」「専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実」は女性の回答割合が男性を10ポイント上回っている。一方、「国・地方公共団体における自立支援策の充実」「児童委員・民生委員や自治会等の地域コミュニティによる取り組み」の2項目は、男性が女性をやや上回っている。

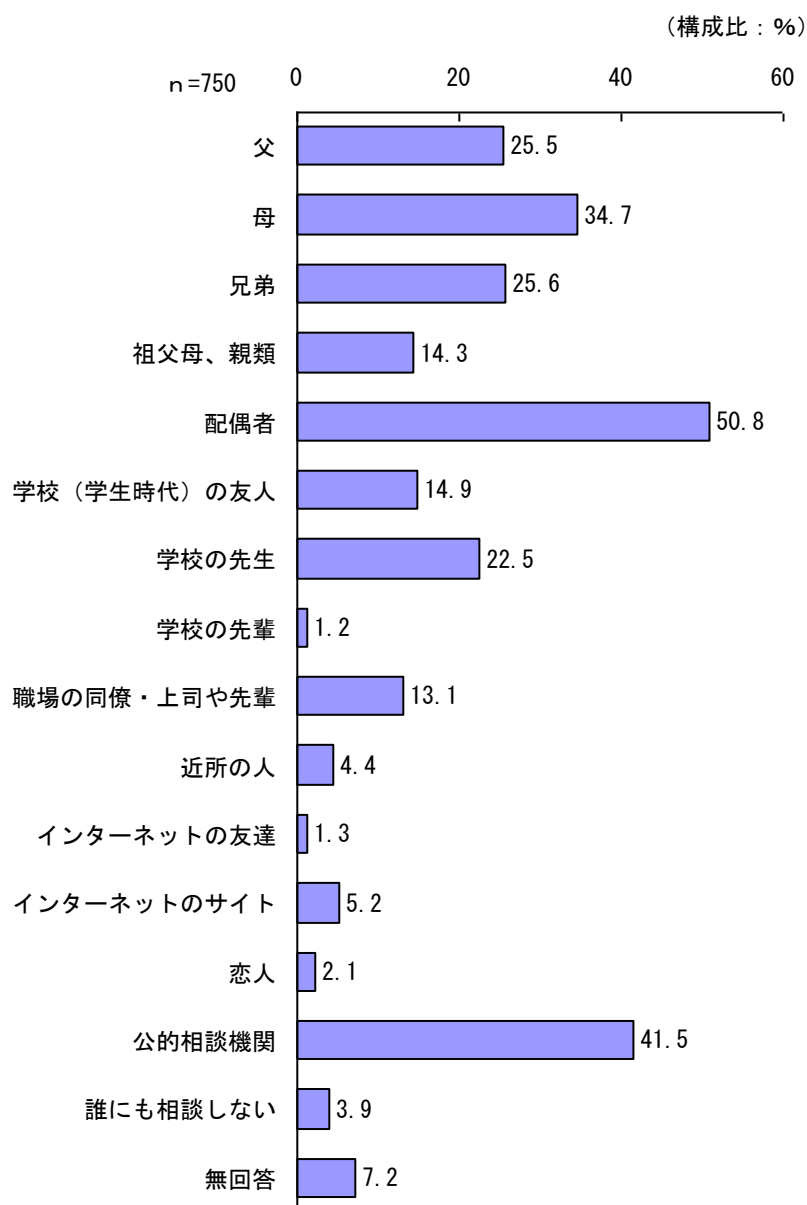
【年代別】

年代別でみると、30代が5つの項目で他の年代よりも高い回答割合となっており、特に「学校における児童・生徒への相談支援体制の充実」「職場におけるメンタルケア等の充実」は他の年代に比べ回答割合が10ポイント以上上回っている。また、「児童委員・民生委員や自治会等の地域コミュニティによる取り組み」は70歳以上は他の年代と比べ約8ポイント上回っている。

(3) 身内のひきこもりについての相談者

問 18 身内のひきこもりで悩んだ場合、だれに相談しますか。次の中からあてはまるものをいくつかでも選んでください。

問 18 ひきこもりについての相談者【全体】(MA)



問 18 ひきこもりについての相談者【性別・年代別】(MA)

(構成比:%)

		父	母	兄弟	祖父母、親類	配偶者	学校(学生時代)の友人	学校の先生	学校の先輩
	全体(n=750)	25.5	34.7	25.6	14.3	50.8	14.9	22.5	1.2
性別	男性(n=331)	26.3	29.6	23.3	12.7	44.1	9.7	19.3	0.6
	女性(n=414)	24.9	38.9	27.5	15.5	56.0	19.3	25.4	1.7
年代	20代(n=52)	34.6	59.6	25.0	15.4	25.0	30.8	11.5	3.8
	30代(n=109)	42.2	60.6	29.4	17.4	63.3	20.2	30.3	1.8
	40代(n=116)	31.9	46.6	30.2	12.9	71.6	21.6	23.3	0.0
	50代(n=136)	16.2	20.6	24.3	11.8	60.3	14.0	21.3	0.7
	60代(n=189)	18.5	21.7	28.6	15.3	47.1	7.9	22.2	0.5
	70歳以上(n=141)	22.7	27.7	16.3	13.5	29.1	10.6	22.7	2.1

(構成比:%)

		職場の同僚・上司や先輩	近所の人	インターネットの友達	インターネットのサイト	恋人	公的相談機関	誰にも相談しない	無回答
	全体(n=750)	13.1	4.4	1.3	5.2	2.1	41.5	3.9	7.2
性別	男性(n=331)	12.1	3.3	1.2	5.1	2.1	37.8	4.8	8.8
	女性(n=414)	14.0	5.3	1.2	5.1	2.2	44.7	3.1	5.8
年代	20代(n=52)	13.5	1.9	7.7	5.8	3.8	25.0	5.8	5.8
	30代(n=109)	22.9	4.6	2.8	12.8	4.6	24.8	0.9	0.0
	40代(n=116)	19.0	3.4	0.9	5.2	2.6	35.3	3.4	0.9
	50代(n=136)	14.0	3.7	0.0	7.4	1.5	50.7	2.9	5.9
	60代(n=189)	6.3	5.3	1.1	2.1	1.1	49.2	5.3	7.4
	70歳以上(n=141)	8.5	5.0	0.0	1.4	1.4	46.8	5.0	19.1

第3章 調査結果の分析

問 18 ひきこもりについての相談者

◎「配偶者」に相談するが5割。次いで約4割が「公的相談機関」と回答。

【全体】

身内のひきこもりを誰に相談するかについて全体で見ると、「配偶者」が 50.8%で回答者の5割をしめている。次いで「公的相談機関」が41.5%と続いている。また「母」34.7%、「兄弟」25.6%、「父」25.5%といった家族や、「学校の先生」22.5%との回答も20%を超えている。

【性別】

性別で見ると、女性が男性より上回っている項目が多く、特に「母」「配偶者」「学校（学生時代）の友人」は女性の回答割合が男性を10ポイント前後上回っており、「学校の先生」「公的相談機関」も女性が男性を6ポイント以上上回っている。一方、「誰にも相談しない」は男性4.8%が女性3.1%を1.7ポイント上回っている。

【年代別】

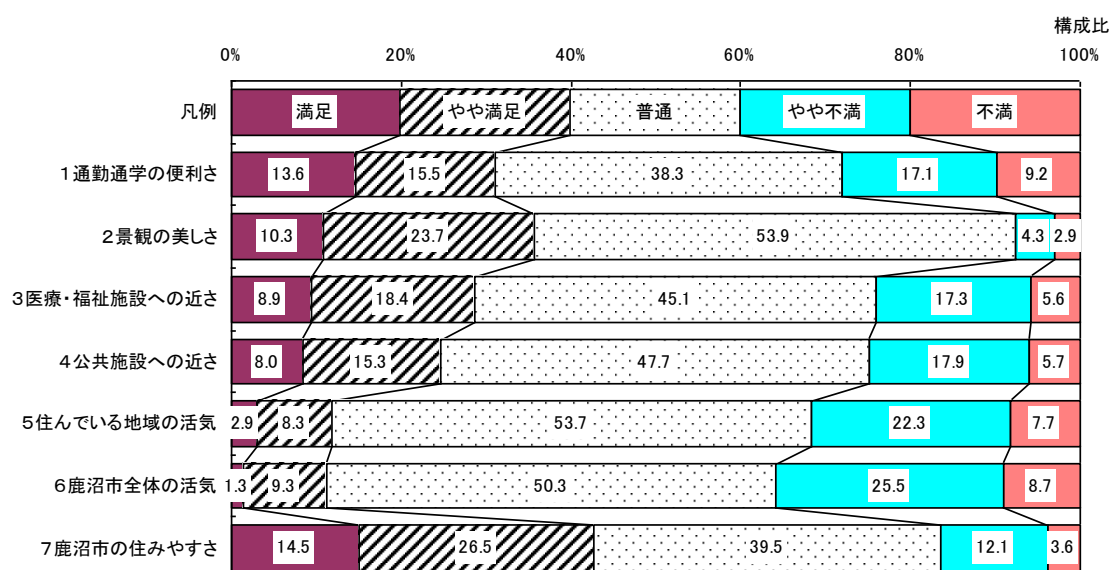
年代別で見ると、「父」「母」「学校（学生時代）の友人」の回答割合は40代以下の年代で高く、「公的相談機関」は50代以上の年代で高くなっている傾向にある。「学校の先生」は30代、「職場の同僚・上司や先輩」は30代と40代の回答割合が高い。また、「インターネットの友人」は20代が7.7%、「インターネットのサイト」は30代が12.8%と、他の年代に比べ高くなっている。

8 住環境について

(1) 住環境の満足度。

問 19 住環境について、下記の項目ごとに、評価欄にある番号に○印を付けてください。
 評価基準：1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満 5 不満。

問 19 住環境の満足度【全体】(S A)



問 19 住環境の満足度

◎住みやすさや景観の美しさへの『満足』が高く、市や地域の活気への『不満』が高い。

【全体】

住環境の満足度について、7つの項目を全体で見ると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』との回答割合が最も高いのは7 鹿沼市の住みやすさで41.0%と4割を超えている。次いで2 景観の美しさが34.0%、1 通勤通学の便利さが29.1%、3 医療・福祉施設への近さが27.3%と、3割前後で続いている。一方、『満足』が低かったのは6 鹿沼市全体の活気10.6%、5 住んでいる地域の活気11.2%で、ともに10%代となっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、6 鹿沼市全体の活気が34.2%、5 住んでいる地域の活気が30.0%とともに3割台で高くなっている。

第3章 調査結果の分析

問 19 1 通勤通学の便利さ【性別・年代別、地区別、居住年数別】(S A)

(構成比:%)

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
	全体(n=750)	13.6	15.5	38.3	17.1	9.2	6.4
性別	男性(n=331)	13.9	15.7	41.4	15.4	6.6	6.9
	女性(n=414)	13.5	15.5	36.2	18.6	11.1	5.1
年代	20代(n=52)	9.6	19.2	36.5	15.4	17.3	1.9
	30代(n=109)	12.8	18.3	34.9	23.9	9.2	0.9
	40代(n=116)	12.1	19.0	30.2	19.8	18.1	0.9
	50代(n=136)	9.6	19.1	43.4	18.4	7.4	2.2
	60代(n=189)	17.5	11.6	40.7	17.5	7.4	5.3
	70歳以上(n=141)	16.3	11.3	39.7	8.5	3.5	20.6
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	20.9	15.2	40.8	14.9	4.7	3.5
	板荷(n=14)	0.0	21.4	42.9	21.4	14.3	0.0
	西大芦(n=3)	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	加蘇(n=20)	15.0	5.0	25.0	35.0	10.0	10.0
	北大飼(n=57)	7.0	7.0	42.1	17.5	19.3	7.0
	南摩(n=29)	6.9	17.2	31.0	17.2	20.7	6.9
	南押原(n=35)	11.4	11.4	28.6	20.0	17.1	11.4
	東大芦(n=19)	0.0	26.3	26.3	15.8	15.8	15.8
	菊沢(n=65)	12.3	23.1	41.5	10.8	6.2	6.2
	北押原(n=80)	11.3	20.0	38.8	21.3	1.3	7.5
	東部台(n=43)	11.6	20.9	46.5	7.0	4.7	9.3
	粟野(n=30)	0.0	16.7	26.7	30.0	23.3	3.3
	粕尾(n=8)	12.5	0.0	25.0	37.5	25.0	0.0
	永野(n=8)	0.0	0.0	12.5	25.0	50.0	12.5
清洲(n=14)	0.0	0.0	57.1	21.4	7.1	14.3	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=681)	14.8	16.2	39.2	16.2	7.8	5.9
	旧粟野町(n=60)	1.7	8.3	31.7	28.3	23.3	6.7
居住年数	5年以下(n=40)	15.0	17.5	25.0	25.0	5.0	12.5
	6～10年(n=40)	15.0	10.0	27.5	30.0	10.0	7.5
	11～20年(n=83)	10.8	16.9	30.1	25.3	15.7	1.2
	21年以上(n=575)	14.1	15.8	40.5	14.6	8.7	6.3

問 19 1 通勤通学の便利さ

◎『満足』が29.1%、『不満』が26.3%。

【全体】

通勤通学の便利さについて全体でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は29.1%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は26.3%となっており、『満足』が『不満』を2.8ポイント上回っている。

【性別】

性別でみると、『満足』の割合は男性、女性ともにあまり変わらないが、『不満』は男性が22.0%、女性が29.7%と、女性が男性を7.7ポイント上回っている。

【年代別】

年代別でみると、20代から40代までの若年層では『不満』が満足を上回っており、逆に50代以上の年代では『満足』が『不満』を上回っている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が6～10年及び11～20年では『不満』が『満足』を10ポイント以上上回っている。

【居住地区別】

居住地区別でみると、鹿沼、菊沢、北押原、東武台では『満足』が『不満』を上回っており、その他の地域では『不満』が『満足』を上回っている。

旧鹿沼市では『満足』が『不満』を上回っているが、旧栗野町では『不満』が『満足』を41.6ポイント大幅に上回っている。

第3章 調査結果の分析

問 19 2 景観の美しさ【性別・年代別、地区別、居住年数別】(S A)

(構成比:%)

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
	全体(n=750)	10.3	23.7	53.9	4.3	2.9	4.9
性別	男性(n=331)	10.6	20.8	53.8	5.4	3.6	5.7
	女性(n=414)	10.1	26.1	54.3	3.4	2.4	3.6
年代	20代(n=52)	7.7	26.9	53.8	1.9	7.7	1.9
	30代(n=109)	10.1	24.8	57.8	3.7	2.8	0.9
	40代(n=116)	14.7	22.4	51.7	5.2	5.2	0.9
	50代(n=136)	8.1	22.1	59.6	5.9	2.2	2.2
	60代(n=189)	11.1	23.8	54.5	4.8	2.1	3.7
	70歳以上(n=141)	9.2	23.4	47.5	2.8	1.4	15.6
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	11.4	23.7	55.1	4.7	1.9	3.2
	板荷(n=14)	7.1	21.4	71.4	0.0	0.0	0.0
	西大芦(n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇(n=20)	10.0	15.0	45.0	5.0	15.0	10.0
	北大飼(n=57)	5.3	12.3	59.6	7.0	8.8	7.0
	南摩(n=29)	13.8	24.1	55.2	3.4	0.0	3.4
	南押原(n=35)	8.6	22.9	51.4	2.9	5.7	8.6
	東大芦(n=19)	26.3	31.6	31.6	0.0	0.0	10.5
	菊沢(n=65)	9.2	29.2	49.2	3.1	4.6	4.6
	北押原(n=80)	8.8	21.3	65.0	1.3	1.3	2.5
	東部台(n=43)	7.0	18.6	51.2	9.3	4.7	9.3
	粟野(n=30)	13.3	40.0	40.0	3.3	0.0	3.3
	粕尾(n=8)	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0
	永野(n=8)	0.0	37.5	37.5	12.5	0.0	12.5
清洲(n=14)	0.0	28.6	57.1	7.1	0.0	7.1	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=681)	10.6	22.6	54.8	4.3	3.2	4.6
	旧粟野町(n=60)	8.3	35.0	46.7	5.0	0.0	5.0
居住年数	5年以下(n=40)	7.5	32.5	47.5	0.0	2.5	10.0
	6～10年(n=40)	5.0	20.0	60.0	2.5	7.5	5.0
	11～20年(n=83)	12.0	25.3	56.6	4.8	0.0	1.2
	21年以上(n=575)	10.6	23.3	53.6	4.5	3.1	4.9

問 19 2 景観の美しさ

◎『満足』が34.0%と『不満』を大幅に上回る。

【全体】

景観の美しさについて全体でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は34.0%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は7.2%となっており、『満足』が『不満』を26.8ポイント大幅に上回っている。

【性別】

性別でみると、『満足』の割合は女性36.2%が男性31.4%を4.8ポイント上回っており、一方『不満』は男性9.0%が女性5.8%を3.2ポイント上回っている。

【年代別】

年代別でみると、すべての年代で『満足』が『不満』を20ポイント以上大幅に上回っている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、すべての居住年数で『満足』が『不満』を上回っており、5年以下と11～20年では30ポイント以上上回っている。

【居住地区別】

居住地区別でみると、すべての地域で『満足』が『不満』を上回っており、特に東大芦、栗野では50ポイント以上大幅に上回っている。

旧鹿沼市、旧栗野町ともに『満足』が『不満』を上回っているが、特に旧栗野町では『満足』が『不満』を38.3ポイント大幅に上回っている。

第3章 調査結果の分析

問 19 3 医療・福祉施設への近さ【性別・年代別、地区別、居住年数別】(S A)

(構成比:%)

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
	全体(n=750)	8.9	18.4	45.1	17.3	5.6	4.7
性別	男性(n=331)	8.5	16.6	48.3	16.9	4.8	4.8
	女性(n=414)	9.4	19.8	42.8	17.6	6.3	4.1
年代	20代(n=52)	7.7	17.3	38.5	26.9	7.7	1.9
	30代(n=109)	8.3	22.9	44.0	16.5	7.3	0.9
	40代(n=116)	9.5	19.8	40.5	20.7	8.6	0.9
	50代(n=136)	8.8	19.1	47.1	16.9	5.1	2.9
	60代(n=189)	7.9	15.3	51.9	15.9	4.8	4.2
	70歳以上(n=141)	11.3	17.7	40.4	14.2	2.8	13.5
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	13.9	21.5	47.2	11.4	3.2	2.8
	板荷(n=14)	7.1	7.1	64.3	14.3	7.1	0.0
	西大芦(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	加蘇(n=20)	5.0	0.0	45.0	30.0	10.0	10.0
	北大飼(n=57)	1.8	3.5	40.4	36.8	10.5	7.0
	南摩(n=29)	6.9	13.8	34.5	27.6	13.8	3.4
	南押原(n=35)	8.6	14.3	28.6	34.3	5.7	8.6
	東大芦(n=19)	5.3	21.1	42.1	10.5	10.5	10.5
	菊沢(n=65)	9.2	29.2	43.1	10.8	3.1	4.6
	北押原(n=80)	3.8	25.0	52.5	15.0	1.3	2.5
	東部台(n=43)	9.3	25.6	48.8	4.7	2.3	9.3
	粟野(n=30)	0.0	10.0	43.3	33.3	10.0	3.3
	粕尾(n=8)	0.0	0.0	37.5	25.0	25.0	12.5
	永野(n=8)	0.0	0.0	25.0	37.5	25.0	12.5
	清洲(n=14)	7.1	0.0	57.1	35.7	0.0	0.0
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=681)	9.7	19.7	45.4	15.9	5.0	4.4
	旧粟野町(n=60)	1.7	5.0	43.3	33.3	11.7	5.0
居住年数	5年以下(n=40)	12.5	22.5	32.5	15.0	10.0	7.5
	6～10年(n=40)	7.5	25.0	35.0	20.0	7.5	5.0
	11～20年(n=83)	10.8	19.3	44.6	20.5	3.6	1.2
	21年以上(n=575)	8.7	17.7	46.3	16.9	5.6	4.9

問 19 3 医療・福祉施設への近さ

◎『満足』が27.3%、『不満』が22.9%。

【全体】

医療・福祉施設への近さについて全体でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は27.3%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は22.9%となっており、『満足』が『不満』を4.4ポイント上回っている。

【性別】

性別でみると、『満足』『不満』ともに女性が男性を上回っている。

【年代別】

年代別でみると、20代では『不満』が『満足』を上回っており、40代では『満足』と『不満』が同割合、その他の年代では『満足』が『不満』を上回っている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、すべての居住年数で『満足』が『不満』を上回っており、特に5年以下は10ポイント上回っている。

【居住地区別】

居住地区別でみると、鹿沼、菊沢、東武台では『満足』が『不満』を20ポイント以上上回っている。

旧鹿沼市では『満足』が『不満』を上回っているが、旧栗野町では『不満』が『満足』を38.3ポイント大幅に上回っている。

第3章 調査結果の分析

問 19 4 公共施設への近さ【性別・年代別、地区別、居住年数別】(S A)

(構成比:%)

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
	全体(n=750)	8.0	15.3	47.7	17.9	5.7	5.3
性別	男性(n=331)	7.9	16.0	48.6	15.1	6.6	5.7
	女性(n=414)	8.2	14.7	47.3	20.3	5.1	4.3
年代	20代(n=52)	3.8	15.4	42.3	23.1	13.5	1.9
	30代(n=109)	9.2	18.3	46.8	21.1	3.7	0.9
	40代(n=116)	6.9	18.1	44.8	20.7	7.8	1.7
	50代(n=136)	8.8	11.8	53.7	16.2	6.6	2.9
	60代(n=189)	6.3	12.2	55.6	16.9	4.8	4.2
	70歳以上(n=141)	11.3	18.4	36.9	14.2	3.5	15.6
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	12.3	19.9	51.3	9.8	3.2	3.5
	板荷(n=14)	0.0	14.3	64.3	14.3	0.0	7.1
	西大芦(n=3)	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	加蘇(n=20)	0.0	15.0	30.0	35.0	10.0	10.0
	北大飼(n=57)	1.8	1.8	47.4	29.8	12.3	7.0
	南摩(n=29)	10.3	17.2	31.0	24.1	13.8	3.4
	南押原(n=35)	5.7	11.4	25.7	37.1	11.4	8.6
	東大芦(n=19)	5.3	21.1	36.8	15.8	15.8	5.3
	菊沢(n=65)	10.8	20.0	50.8	12.3	1.5	4.6
	北押原(n=80)	3.8	16.3	53.8	17.5	5.0	3.8
	東部台(n=43)	9.3	9.3	51.2	20.9	2.3	7.0
	粟野(n=30)	0.0	6.7	46.7	40.0	3.3	3.3
	粕尾(n=8)	0.0	0.0	37.5	25.0	25.0	12.5
	永野(n=8)	0.0	0.0	50.0	12.5	25.0	12.5
	清洲(n=14)	0.0	0.0	42.9	42.9	0.0	14.3
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=681)	8.8	16.4	48.2	16.4	5.4	4.7
	旧粟野町(n=60)	0.0	3.3	45.0	35.0	8.3	8.3
居住年数	5年以下(n=40)	15.0	10.0	35.0	20.0	12.5	7.5
	6～10年(n=40)	7.5	20.0	40.0	20.0	5.0	7.5
	11～20年(n=83)	8.4	19.3	45.8	19.3	6.0	1.2
	21年以上(n=575)	7.7	15.0	49.0	17.6	5.4	5.4

問 19 4 公共施設への近さ

◎『満足』と『不満』がほぼ同じ割合。

【全体】

公共施設への近さについて全体で見ると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は23.3%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は23.6%となっており、『満足』と『不満』がほぼ同じ割合になっている。

【性別】

性別で見ると、男性は『満足』23.9%が『不満』21.7%を上回っているが、女性は『不満』25.4%が『満足』22.9%を上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、20代では『不満』が『満足』を17.4ポイント上回っており、一方で70歳以上では『満足』が『不満』を12ポイント上回っている

【居住年数別】

居住年数別で見ると、5年以下と21年以上では『不満』が『満足』を上回っており、6～10年、11年～20年では『満足』が『不満』を上回っている。

【居住地区別】

居住地区別で見ると、鹿沼、東大芦では『満足』が『不満』を上回っており、板荷では同割合であるが、その他の地域では『不満』が『満足』を上回っている。

旧鹿沼市では『満足』が『不満』を上回っているが、旧栗野町では『不満』が『満足』を40ポイント大幅に上回っている。

第3章 調査結果の分析

問 19 5 住んでいる地域の活気【性別・年代別、地区別、居住年数別】(S A)

(構成比:%)

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
	全体 (n=750)	2.9	8.3	53.7	22.3	7.7	5.1
性別	男性 (n=331)	2.4	8.5	52.6	25.4	6.3	4.8
	女性 (n=414)	3.4	8.0	55.1	20.0	8.7	4.8
年代	20代 (n=52)	1.9	11.5	48.1	28.8	7.7	1.9
	30代 (n=109)	6.4	10.1	52.3	21.1	9.2	0.9
	40代 (n=116)	2.6	8.6	56.9	18.1	12.1	1.7
	50代 (n=136)	2.9	10.3	57.4	19.9	7.4	2.2
	60代 (n=189)	3.2	5.3	55.0	27.0	5.8	3.7
	70歳以上 (n=141)	0.7	7.1	49.6	19.9	6.4	16.3
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部) (n=316)	4.1	10.1	56.3	19.6	6.3	3.5
	板荷 (n=14)	7.1	7.1	50.0	21.4	14.3	0.0
	西大芦 (n=3)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	加蘇 (n=20)	0.0	0.0	45.0	25.0	20.0	10.0
	北大飼 (n=57)	1.8	1.8	52.6	22.8	12.3	8.8
	南摩 (n=29)	10.3	3.4	48.3	24.1	10.3	3.4
	南押原 (n=35)	0.0	8.6	42.9	25.7	14.3	8.6
	東大芦 (n=19)	0.0	21.1	47.4	31.6	0.0	0.0
	菊沢 (n=65)	0.0	10.8	53.8	23.1	6.2	6.2
	北押原 (n=80)	1.3	8.8	55.0	26.3	3.8	5.0
	東部台 (n=43)	4.7	4.7	62.8	18.6	2.3	7.0
	粟野 (n=30)	0.0	10.0	50.0	26.7	10.0	3.3
	粕尾 (n=8)	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	0.0
	永野 (n=8)	12.5	0.0	25.0	25.0	25.0	12.5
	清洲 (n=14)	0.0	0.0	71.4	21.4	0.0	7.1
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (n=681)	3.1	8.5	54.0	22.2	7.3	4.8
	旧粟野町 (n=60)	1.7	5.0	53.3	25.0	10.0	5.0
居住年数	5年以下 (n=40)	5.0	5.0	62.5	10.0	7.5	10.0
	6～10年 (n=40)	5.0	10.0	50.0	10.0	17.5	7.5
	11～20年 (n=83)	3.6	10.8	56.6	18.1	8.4	2.4
	21年以上 (n=575)	2.6	7.8	52.7	24.9	7.1	4.9

問 19 5 住んでいる地域の活気

◎『不満』が『満足』を20ポイント近く上回る。

【全体】

住んでいる地域の活気について全体で見ると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は11.2%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は30.0%となっており、『不満』が『満足』を18.8ポイント上回っている。

【性別】

性別で見ると、男性、女性ともに『不満』が『満足』を上回っており、どちらも『不満』が3割前後となっている。

【年代別】

年代別で見ると、すべての年代で『不満』が『満足』を上回っている。

【居住年数別】

居住年数別で見ると、5年以下と21年以上では『不満』が『満足』を上回っており、6～10年、11年～20年では『満足』が『不満』を上回っている。

【居住地区別】

居住地区別で見ると、すべての地域で『不満』が『満足』を上回っており、特に加蘇では45ポイント大幅に上回っている。

旧鹿沼市、旧栗野町ともに『不満』が『満足』を上回っているが、特に旧栗野町では『不満』が『満足』を28.3ポイント大幅に上回っている。

第3章 調査結果の分析

問 19 6 鹿沼市全体の活気【性別・年代別、地区別、居住年数別】(SA)

(構成比:%)

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
	全体(n=750)	1.3	9.3	50.3	25.5	8.7	4.9
性別	男性(n=331)	1.5	10.9	45.0	27.8	9.7	5.1
	女性(n=414)	1.2	8.0	54.6	23.9	7.7	4.6
年代	20代(n=52)	0.0	19.2	50.0	21.2	7.7	1.9
	30代(n=109)	2.8	12.8	48.6	24.8	10.1	0.9
	40代(n=116)	2.6	12.9	51.7	20.7	11.2	0.9
	50代(n=136)	0.7	7.4	58.1	22.8	8.8	2.2
	60代(n=189)	1.1	7.4	48.1	32.8	6.3	4.2
	70歳以上(n=141)	0.7	5.0	45.4	24.8	8.5	15.6
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	1.6	11.4	50.0	22.8	10.8	3.5
	板荷(n=14)	0.0	7.1	71.4	7.1	7.1	7.1
	西大芦(n=3)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇(n=20)	0.0	0.0	45.0	35.0	10.0	10.0
	北犬飼(n=57)	1.8	0.0	52.6	28.1	10.5	7.0
	南摩(n=29)	3.4	6.9	51.7	31.0	3.4	3.4
	南押原(n=35)	0.0	8.6	48.6	22.9	11.4	8.6
	東大芦(n=19)	0.0	15.8	36.8	36.8	10.5	0.0
	菊沢(n=65)	1.5	10.8	47.7	29.2	4.6	6.2
	北押原(n=80)	1.3	11.3	55.0	22.5	6.3	3.8
	東部台(n=43)	2.3	7.0	34.9	44.2	4.7	7.0
	栗野(n=30)	0.0	10.0	50.0	30.0	6.7	3.3
	粕尾(n=8)	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	永野(n=8)	0.0	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0
	清洲(n=14)	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0	14.3
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=681)	1.5	9.4	49.8	25.8	8.8	4.7
	旧粟野町(n=60)	0.0	10.0	55.0	25.0	5.0	5.0
居住年数	5年以下(n=40)	2.5	10.0	47.5	17.5	12.5	10.0
	6～10年(n=40)	2.5	12.5	50.0	12.5	15.0	7.5
	11～20年(n=83)	0.0	13.3	51.8	24.1	7.2	3.6
	21年以上(n=575)	1.4	8.5	49.9	27.3	8.3	4.5

問 19 6 鹿沼市全体の活気

◎『不満』が『満足』を20ポイント以上上回る。

【全体】

鹿沼市全体の活気について全体でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は10.6%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は34.2%となっており、『不満』が『満足』を23.6ポイント大幅に上回っている。

【性別】

性別でみると、男性、女性ともに『不満』が『満足』を20ポイント以上上回っている。

【年代別】

年代別でみると、すべての年代で『不満』が『満足』を上回っている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、すべての年代で『不満』が『満足』を上回っており、特に21年以上では『不満』が『満足』を25.7ポイント大幅に上回っている。

【居住地区別】

居住地区別でみると、すべての地域で『不満』が『満足』を上回っており、特に加蘇では45ポイント大幅に上回っている。

旧鹿沼市、旧栗野町ともに『不満』が『満足』を上回っており、旧鹿沼市、旧栗野町ともに『不満』が『満足』を20ポイント以上上回っている。

第3章 調査結果の分析

問 19 7 鹿沼市の住みやすさ【性別・年代別、地区別、居住年数別】(S A)

(構成比: %)

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
	全体 (n=750)	14.5	26.5	39.5	12.1	3.6	3.7
性別	男性 (n=331)	15.4	28.4	37.5	12.1	3.0	3.6
	女性 (n=414)	14.0	24.9	41.5	12.3	3.9	3.4
年代	20代 (n=52)	19.2	40.4	23.1	11.5	3.8	1.9
	30代 (n=109)	14.7	33.0	31.2	17.4	2.8	0.9
	40代 (n=116)	12.9	30.2	35.3	15.5	5.2	0.9
	50代 (n=136)	13.2	23.5	44.9	8.8	7.4	2.2
	60代 (n=189)	16.4	23.3	44.4	11.6	1.1	3.2
	70歳以上 (n=141)	13.5	19.1	44.7	9.9	2.1	10.6
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部) (n=316)	19.6	28.8	34.2	11.4	4.1	1.9
	板荷 (n=14)	7.1	21.4	71.4	0.0	0.0	0.0
	西大芦 (n=3)	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	加蘇 (n=20)	10.0	25.0	35.0	15.0	5.0	10.0
	北犬飼 (n=57)	1.8	17.5	56.1	19.3	3.5	1.8
	南摩 (n=29)	13.8	31.0	34.5	17.2	0.0	3.4
	南押原 (n=35)	8.6	17.1	34.3	25.7	5.7	8.6
	東大芦 (n=19)	26.3	31.6	31.6	10.5	0.0	0.0
	菊沢 (n=65)	16.9	33.8	35.4	3.1	6.2	4.6
	北押原 (n=80)	10.0	30.0	41.3	13.8	1.3	3.8
	東部台 (n=43)	18.6	23.3	44.2	4.7	2.3	7.0
	栗野 (n=30)	10.0	16.7	46.7	20.0	3.3	3.3
	粕尾 (n=8)	0.0	0.0	75.0	12.5	0.0	12.5
	永野 (n=8)	0.0	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5
	清洲 (n=14)	0.0	21.4	57.1	14.3	0.0	7.1
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (n=681)	15.6	27.3	38.5	11.9	3.5	3.2
	旧粟野町 (n=60)	5.0	16.7	53.3	16.7	1.7	6.7
居住年数	5年以下 (n=40)	12.5	22.5	40.0	15.0	5.0	5.0
	6～10年 (n=40)	15.0	20.0	47.5	5.0	7.5	5.0
	11～20年 (n=83)	10.8	31.3	39.8	12.0	4.8	1.2
	21年以上 (n=575)	15.3	26.4	38.8	12.5	3.1	3.8

問 19 7 鹿沼市の住みやすさ

◎『満足』が『不満』を25ポイント以上大幅に上回る。

【全体】

鹿沼市の住みやすさについて全体でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は41.0%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は15.7%となっており、『満足』が『不満』を25.3ポイント大幅に上回っている。

【性別】

性別でみると、男性、女性ともに『満足』が『不満』を20ポイント以上上回っている。

【年代別】

年代別でみると、すべての年代で『満足』が『不満』を20ポイント以上上回っており、特に20代では『満足』が『不満』を44.3ポイント大幅に上回っている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、すべての居住年数で『満足』が『不満』を上回っており、5年以下と11～20年では30ポイント以上上回っている。

【居住地区別】

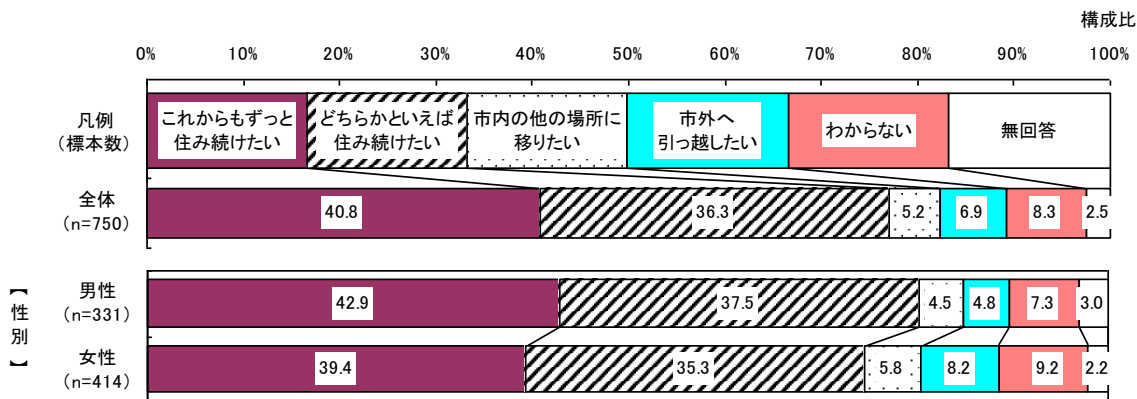
居住地区別でみると、北犬飼と南押原を除くすべての地域で『満足』が『不満』を上回っており、特に東大芦、菊沢野では40ポイント以上大幅に上回っている。

旧鹿沼市、旧栗野町ともに『満足』が『不満』を上回っているが、特に旧鹿沼市では『満足』が『不満』を27.5ポイント大幅に上回っている。

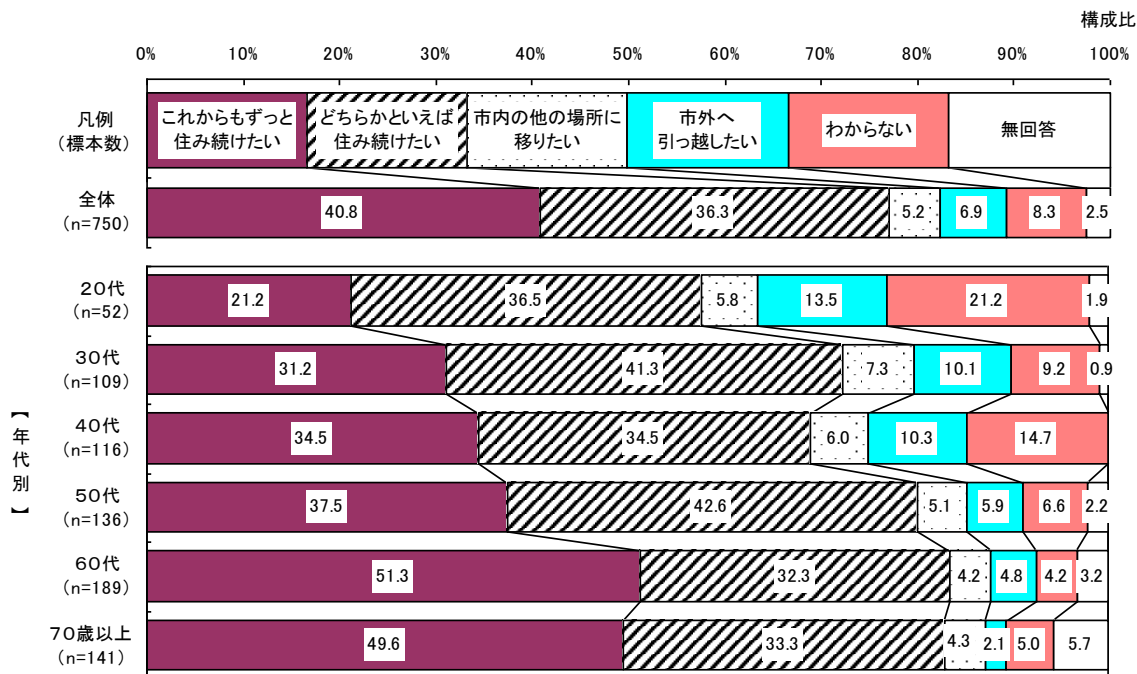
(2) 定住意向

問 20 今後も今の場所に住み続けたいですか。次の中から1つ選んでください。

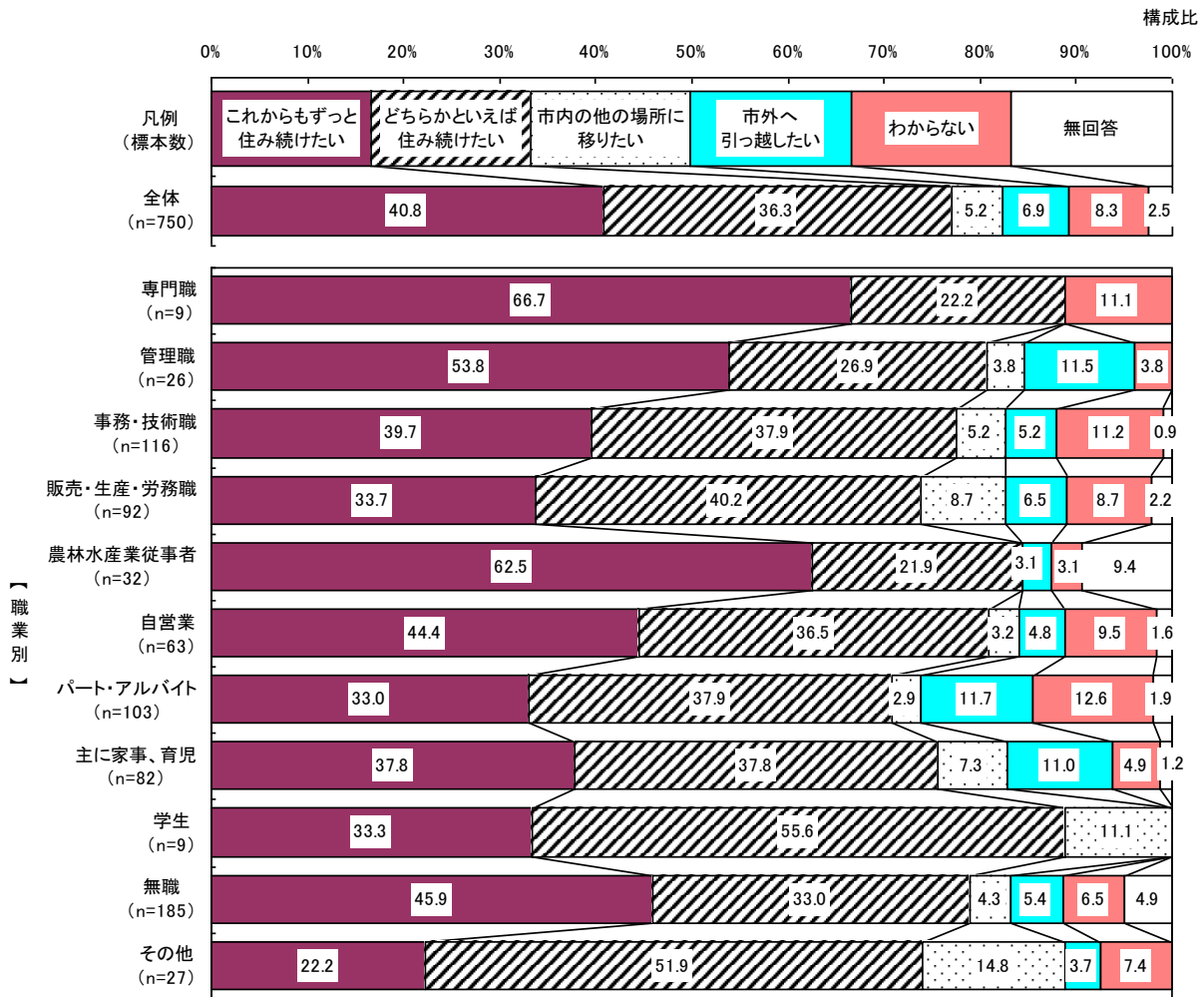
問 20 定住意向【性別】(SA)



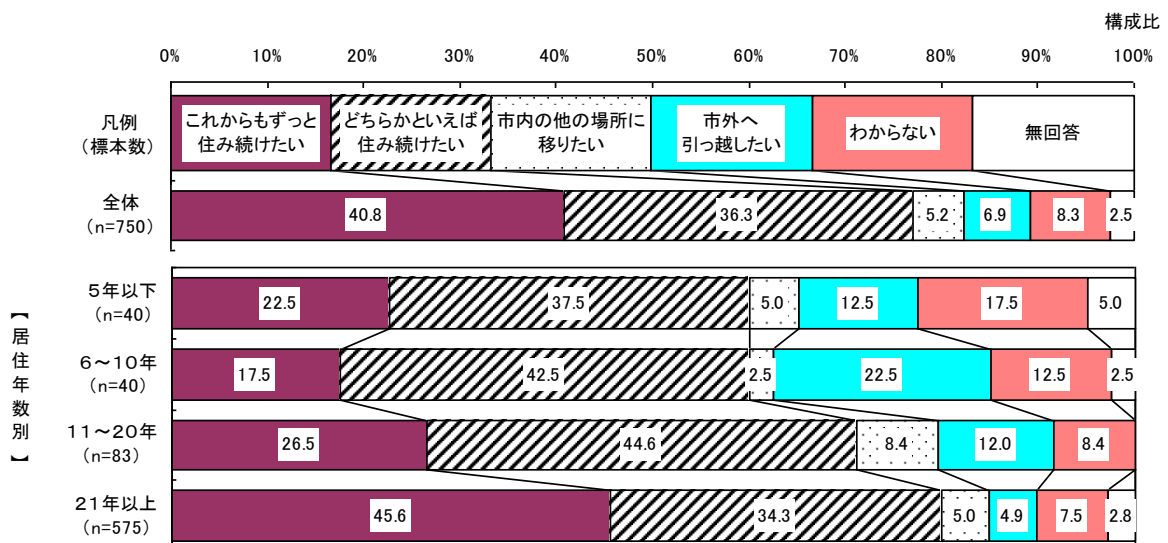
問 20 定住意向【年代別】(SA)



問 20 定住意向【職業別】(S A)

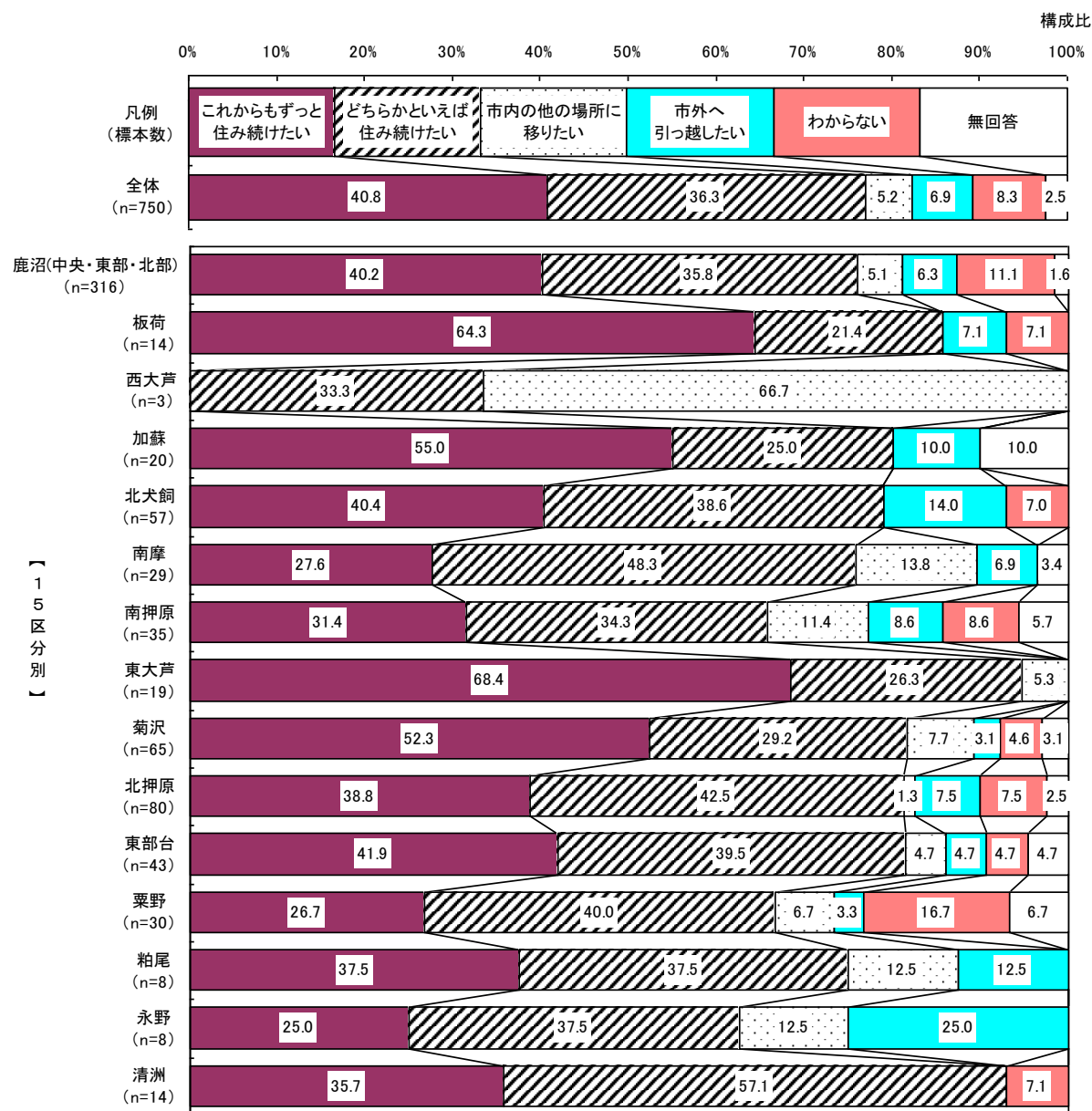


問 20 定住意向【居住年数別】(S A)

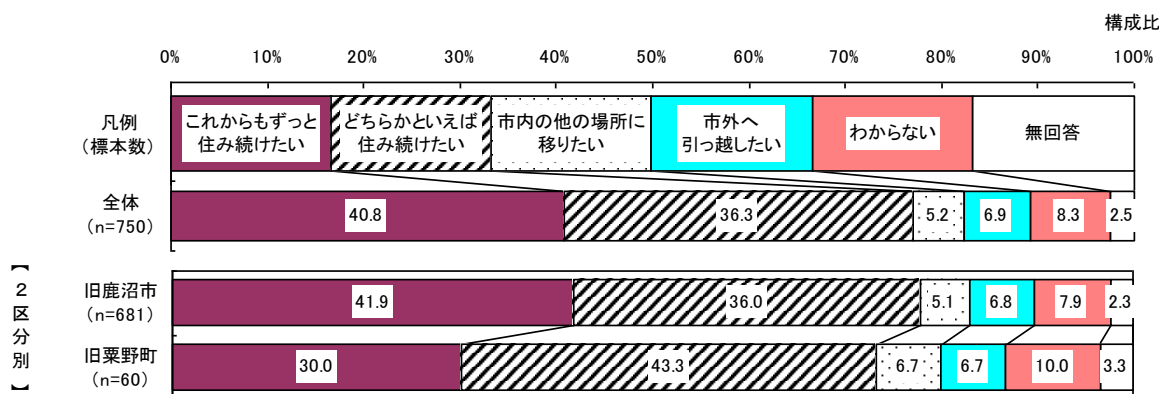


第3章 調査結果の分析

問 20 定住意向【居住地区別（15区分）】（SA）



問 20 定住意向【居住地区別（2区分）】（SA）



問 20 定住意向

◎『住み続けたい』が77.1%と圧倒的に高い。

【全体】

今後も今の場所に住み続けたいかについて全体でみると、「これからもずっと住み続けたい」40.8%と「どちらかというに住み続けたい」36.3%を合わせた『住み続けたい』は77.1%と8割近くをしめて高くなっている。一方、「市内の他の場所に移りたい」5.2%と「市外へ引っ越したい」6.9%を合わせた『引っ越したい』は12.1%となり、『住み続けたい』が『引っ越したい』を65ポイント大幅に上回っている。

【性別】

性別でみると、『住み続けたい』は男性80.4%が女性74.7%を5.7ポイント上回っており、『引っ越したい』は女性14.0%が男性9.3%を4.7ポイント上回っていることから、男性の方が女性よりも定住意向がやや高い傾向にある。

【年代別】

年代別でみると、「これからもずっと住み続けたい」は年代が上がるごとに高くなる傾向にあるが、40代の「どちらかといえば住み続けたい」は34.5%と20代から50代のなかでは一番低い。一方『引っ越したい』は年代があがるごとに低くなっていく傾向にある。

【職業別】

職業別でみると、『住み続けたい』は管理職80.7%、農林水産業従事者84.4%、自営業80.9%で8割を超えて高くなっている。一方、『引っ越したい』は主に家事・育児が18.3%と最も高く、管理職15.3%、販売・生産・労務職15.2%、パート・アルバイト14.6%が15%前後で続いている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、『住み続けたい』は居住年数が長くなるごとに高くなる傾向にある。一方、『引っ越したい』は6～10年が25.0%と他の居住年数と比べて高くなっている。

【居住地区別】

居住地区別（15区分）でみると、『住み続けたい』は東大芦が約95%と最も高くなっており、南押原、栗野が6割台で低い。一方、『引っ越したい』は南摩、南押原が2割をしめ高くなっている。

居住地区別（2区分）でみると、『住み続けたい』は旧鹿沼市で77.9%、旧栗野町で73.3%とともに7割台となっているが、「これからもずっと住み続けたい」は旧鹿沼市が旧栗野町より11.9ポイント、「どちらかというに住み続けたい」は旧栗野町が旧鹿沼市より7.3ポイント上回っており、旧栗野町の定住意向の方が消極的かどうかがある。

第3章 調査結果の分析

問 20-1 住み続けたい理由を次の中から1つ選んでください。

※問 20 で「これからも住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」と回答したひとのみ

問 20-1 住み続けたい理由【性別・年代別・職業別・居住地区別・居住年数別】

(S A)

(構成比:%)

		家や土地がある	地域や人に愛着がある	日常生活が便利	住居環境がよい	仕事があるから	通勤、通学に便利	充実した余暇・趣味が楽しめる	その他	無回答
	全体 (n=578)	68.7	8.8	6.9	5.2	4.2	2.1	2.1	1.2	0.9
性別	男性 (n=266)	71.8	7.9	6.8	4.9	4.1	1.1	1.5	1.1	0.8
	女性 (n=309)	66.0	9.7	6.8	5.5	4.2	2.9	2.6	1.3	1.0
年代	20代 (n=30)	43.3	13.3	10.0	10.0	10.0	6.7	0.0	3.3	3.3
	30代 (n=79)	69.6	8.9	2.5	2.5	5.1	6.3	1.3	3.8	0.0
	40代 (n=80)	63.8	12.5	8.8	8.8	5.0	0.0	0.0	1.3	0.0
	50代 (n=109)	71.6	5.5	6.4	4.6	7.3	1.8	1.8	0.0	0.9
	60代 (n=158)	70.9	8.9	8.2	3.8	3.2	0.6	2.5	1.3	0.6
	70歳以上 (n=117)	73.5	7.7	6.0	5.1	0.0	1.7	4.3	0.0	1.7
職業	専門職 (n=8)	37.5	0.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	管理職 (n=21)	66.7	4.8	19.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務・技術職 (n=90)	71.1	8.9	3.3	5.6	10.0	1.1	0.0	0.0	0.0
	販売・生産・労務職 (n=68)	66.2	10.3	4.4	4.4	7.4	4.4	1.5	1.5	0.0
	農林水産業従事者 (n=27)	96.3	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業 (n=51)	76.5	5.9	3.9	0.0	7.8	0.0	3.9	2.0	0.0
	パート・アルバイト (n=73)	65.8	9.6	6.8	5.5	4.1	4.1	2.7	0.0	1.4
	主に家事、育児 (n=62)	61.3	16.1	9.7	3.2	0.0	4.8	1.6	3.2	0.0
	学生 (n=8)	25.0	12.5	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	無職 (n=146)	67.1	8.9	8.9	6.2	0.0	0.7	4.1	2.1	2.1
	その他 (n=20)	85.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区 (15区分)	鹿沼 (中央・東部・北部) (n=240)	61.3	7.5	10.8	7.9	4.6	3.3	1.7	1.7	1.3
	板荷 (n=12)	83.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	西大芦 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇 (n=20)	43.8	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0
	北犬飼 (n=45)	80.0	8.9	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	2.2	2.2
	南摩 (n=22)	81.8	13.6	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	南押原 (n=23)	82.6	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東大芦 (n=18)	83.3	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0
	菊沢 (n=53)	67.9	7.5	11.3	3.8	3.8	3.8	1.9	0.0	0.0
	北押原 (n=65)	76.9	9.2	0.0	4.6	3.1	1.5	3.1	0.0	1.5
	東部台 (n=35)	60.0	11.4	11.4	5.7	5.7	2.9	0.0	2.9	0.0
	粟野 (n=20)	70.0	10.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0
	粕尾 (n=6)	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	永野 (n=5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
清洲 (n=13)	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (n=530)	67.9	8.7	7.4	5.5	4.3	2.3	1.9	1.1	0.9
	旧栗野町 (n=44)	79.5	9.1	0.0	2.3	2.3	0.0	4.5	2.3	0.0
居住年数	5年以下 (n=24)	54.2	4.2	20.8	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0
	6～10年 (n=24)	37.5	12.5	0.0	16.7	8.3	16.7	4.2	4.2	0.0
	11～20年 (n=59)	59.3	5.1	13.6	6.8	8.5	1.7	0.0	1.7	3.4
	21年以上 (n=459)	72.8	9.4	5.2	4.6	3.5	1.3	2.0	0.9	0.4

問 20-1 住み続けたい理由

◎「家や土地がある」が7割近く。

【全体】

今後も今の場所に住み続けたい理由について全体でみると、「家や土地がある」が68.7%と7割近くで最も高くなっている。その他の項目はすべて10%を切っており、そのなかでは「地域や人に愛着がある」が8.8%と高い。

【性別】

性別でみると、「家や土地がある」は男性が71.8%、女性が66.0%で、男性が女性を5.8ポイント上回っている。その他の項目では同じ割合の「日常生活が便利」を除くと、すべての項目で女性の回答割合が男性をわずかに上回っている。

【年代別】

年代別でみると、「家や土地がある」はすべての年代で最も高いが、20代は43.3%と他の年代に比べ突出して低い。一方、その他の項目では「充実した余暇・趣味が楽しめる」を除くと、すべての項目で20代の回答割合が他の年代を比べ高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「家や土地がある」はすべての職業で最も高いが、特に農林水産業従事者では96.3%と他の職業に比べ突出して高い。「地域や人に愛着がある」では主に家事・育児16.1%、「日常生活が便利」では管理職19.0%、「仕事があるから」では事務・技術職10.0%が他の職業に比べ高くなっている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、「家や土地がある」は21年以上が72.8%と7割を超えて高くなっており、5年以下及び11～20年でも5割を超えるが、6～10年は37.5%と低くなっている。

【居住地区別】

居住地区別（15区分）でみると、「家や土地がある」はすべての地域で最も高いが、加蘇では43.8%と5割を切っており、他の地域と比べ突出して低い。

居住地区別（2区分）でみると、「家や土地がある」は旧鹿沼市で67.9%、旧栗野町で79.5%となっており、旧栗野町が旧鹿沼市を11.6ポイント上回っている。

第3章 調査結果の分析

問 20-2 引っ越したい理由を次の中から1つ選んでください。

※問 20 で「市内の他の場所に移りたい」「市外へ引っ越したい」と回答したひとのみ

問 20-2 引っ越したい理由【性別・年代別・職業別・居住地区別・居住年数別】
(SA)

(構成比:%)

		家や土地が取得しにくい	地域や人になじめない	日常生活が不便	住居環境が悪い	仕事がない	通勤、通学に不便	充実した余暇・趣味が楽しめない	その他	無回答
	全体 (n=91)	3.3	9.9	28.6	15.4	6.6	11.0	8.8	14.3	2.2
性別	男性 (n=31)	0.0	16.1	29.0	19.4	6.5	9.7	0.0	12.9	6.5
	女性 (n=58)	5.2	6.9	29.3	13.8	6.9	12.1	13.8	12.1	0.0
年代	20代 (n=10)	10.0	0.0	0.0	50.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	30代 (n=19)	10.5	10.5	21.1	0.0	0.0	26.3	5.3	26.3	0.0
	40代 (n=19)	0.0	10.5	36.8	21.1	5.3	15.8	10.5	0.0	0.0
	50代 (n=15)	0.0	13.3	40.0	13.3	0.0	6.7	13.3	13.3	0.0
	60代 (n=17)	0.0	11.8	35.3	5.9	17.6	5.9	11.8	11.8	0.0
	70歳以上 (n=9)	0.0	11.1	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
職業	専門職 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	管理職 (n=4)	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務・技術職 (n=12)	0.0	0.0	50.0	8.3	0.0	25.0	8.3	8.3	0.0
	販売・生産・労務職 (n=14)	7.1	7.1	21.4	21.4	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0
	農林水産業従事者 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	自営業 (n=5)	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	パート・アルバイト (n=15)	6.7	13.3	33.3	13.3	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0
	主に家事、育児 (n=15)	6.7	6.7	13.3	26.7	6.7	13.3	13.3	13.3	0.0
	学生 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無職 (n=18)	0.0	11.1	33.3	11.1	16.7	0.0	5.6	11.1	11.1
	その他 (n=5)	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
居住地区 (15区分)	鹿沼 (中央・東部・北部) (n=36)	5.6	13.9	19.4	11.1	5.6	8.3	13.9	19.4	2.8
	板荷 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	西大芦 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	北犬飼 (n=8)	0.0	12.5	37.5	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	南摩 (n=6)	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	南押原 (n=7)	0.0	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	東大芦 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊沢 (n=7)	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	北押原 (n=7)	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	東部台 (n=4)	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	粟野 (n=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	粕尾 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	永野 (n=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	清洲 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (n=81)	3.7	11.1	25.9	17.3	4.9	11.1	9.9	13.6	2.5
	旧栗野町 (n=8)	0.0	0.0	62.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年以下 (n=7)	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	6～10年 (n=10)	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	11～20年 (n=17)	5.9	17.6	35.3	5.9	5.9	17.6	5.9	0.0	5.9
	21年以上 (n=57)	1.8	3.5	31.6	15.8	7.0	8.8	10.5	19.3	1.8

問 20-2 引っ越したい理由

◎「日常生活が不便」が3割近く。

【全体】

今後は今の場所から引っ越したい理由について全体でみると、「日常生活が不便」が28.6%と3割近くで最も高くなっている。次いで「住居環境が悪い」が15.4%、「通勤、通学に不便」が11.0%と続いている。

【性別】

性別でみると、男性、女性ともに「日常生活が不便」が約3割で最も多く、「地域や人になじめない」「住居環境が悪い」は男性が女性を上回っているが、その他の項目ではすべて女性が男性を上回っている。

【年代別】

年代別でみると、20代は「住居環境が悪い」50.0%、30代は「通勤、通学に不便」26.3%が最も高く、40代以上のすべての年代で「日常生活が不便」が最も高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、主に家事・育児を除くと「日常生活が不便」がどの職業でも最も高く、主に家事・育児では「住居環境が悪い」26.7%が高くなっている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、11年以上で「日常生活が不便」が3割を超え高くなっている。

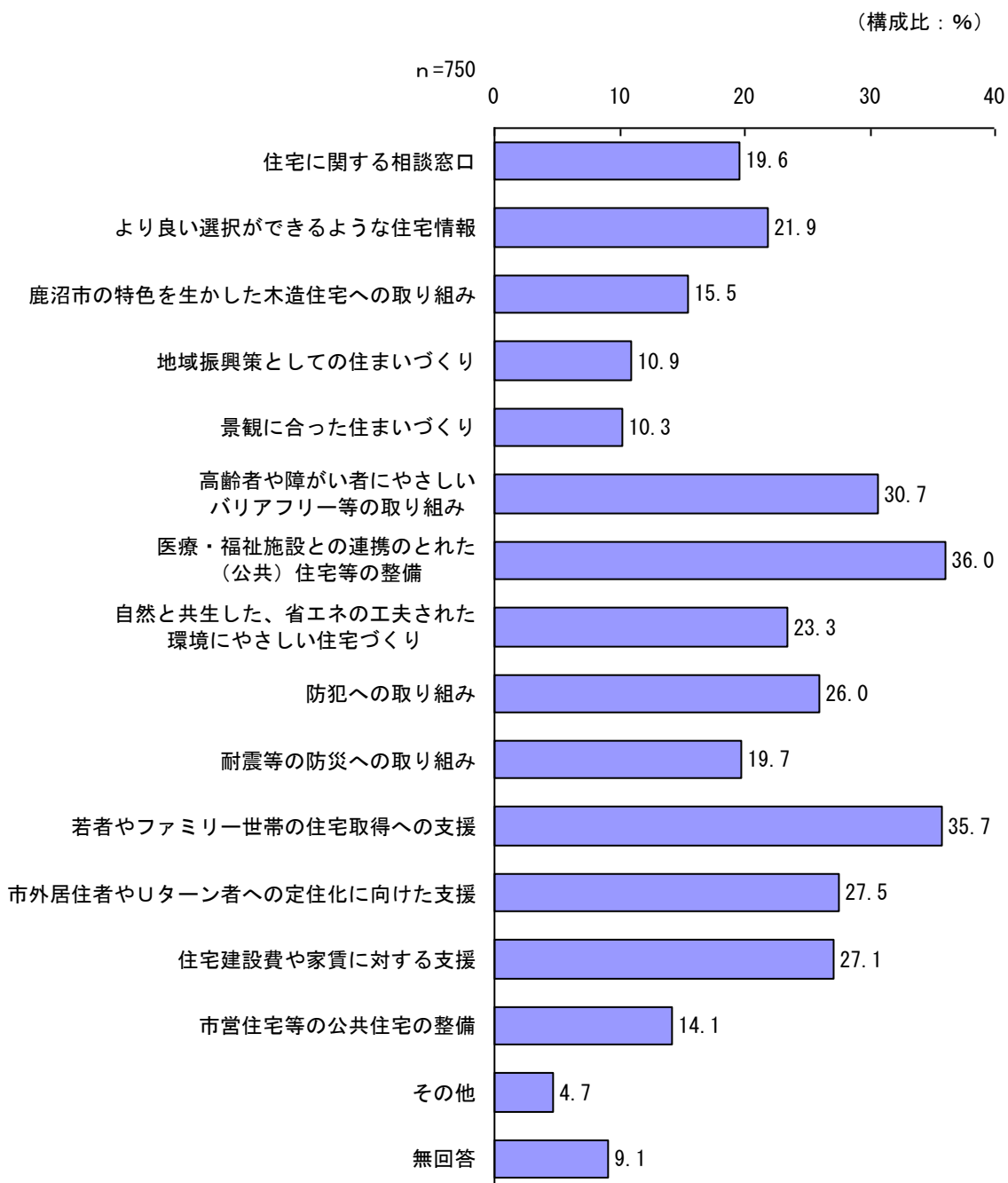
【居住地区別】

居住地区別（2区分）でみると、旧鹿沼市、旧栗野町ともに「日常生活が不便」が高いが、特に旧栗野町は62.5%と旧鹿沼市25.9%を36.6ポイント上回っている。

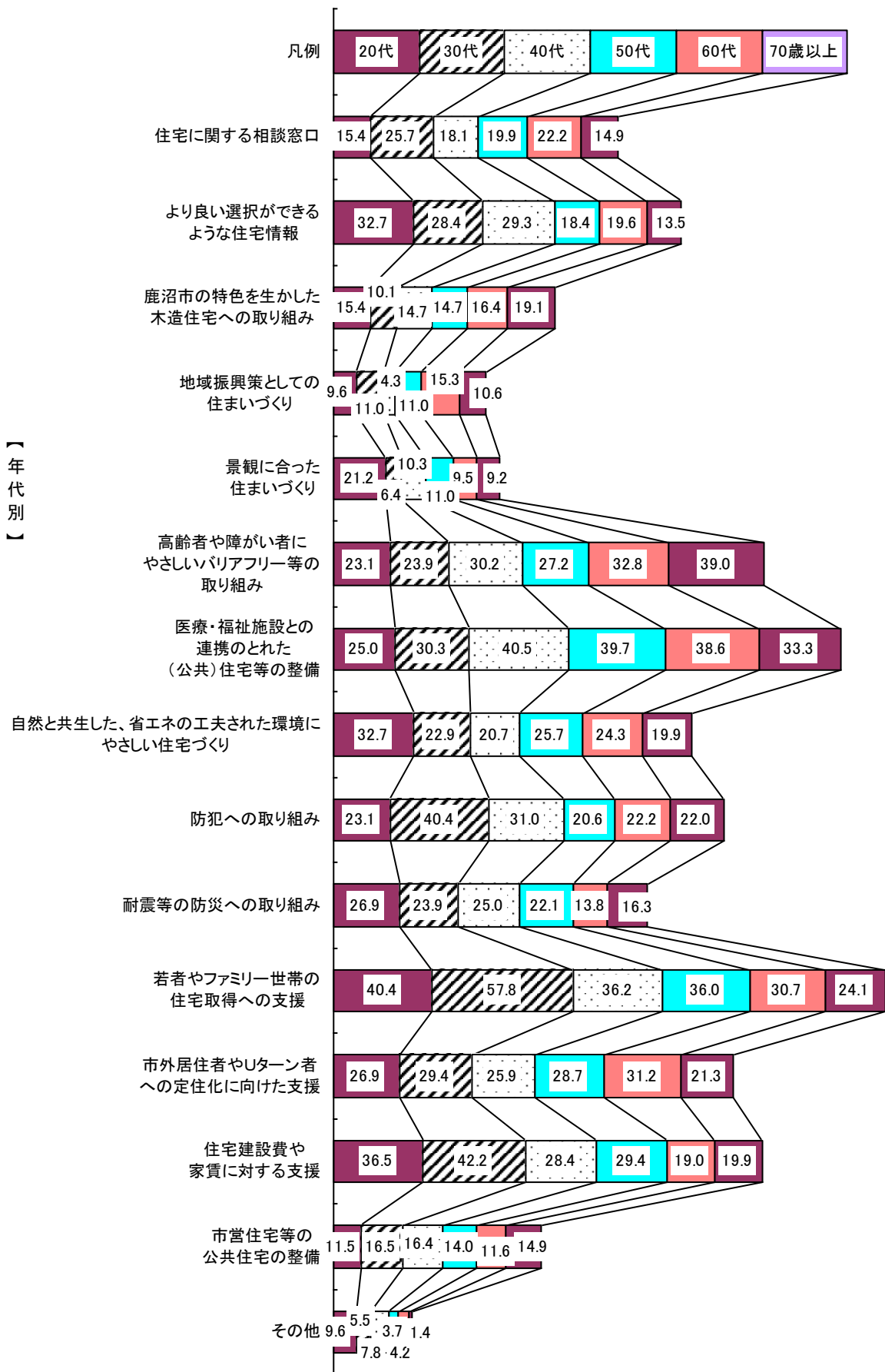
(3) 住まいづくりや定住化についての取り組み

問 21 市は、住まいづくりや定住化について、どのような取り組みをすべきと思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

問 21 住まいづくりや定住化についての取り組み【全体】(MA)



問 21 住まいづくりや定住化についての取り組み【年代別】(MA)



第3章 調査結果の分析

問 21 住まいづくりや定住化についての取り組み

【性別・職業別・居住地区別・居住年数別】(MA)

(構成比:%)

		住宅に関する相談窓口	より良い選択ができるような住宅情報	鹿沼市の特色を生かした木造住宅への取り組み	地域振興策としての住まいづくり	景観に合った住まいづくり	高齢者や障がい者にやさしいバリアフリー等の取り組み	医療・福祉施設との連携のとれた(公共)住宅等の整備	自然と共生した、省エネの工夫された環境にやさしい住宅づくり
	全体(n=750)	19.6	21.9	15.5	10.9	10.3	30.7	36.0	23.3
性別	男性(n=331)	20.2	19.3	18.7	13.0	10.6	28.4	31.4	22.4
	女性(n=414)	19.3	24.2	13.0	9.4	9.9	32.9	39.9	24.4
職業	専門職(n=9)	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	33.3	22.2
	管理職(n=26)	19.2	15.4	26.9	19.2	19.2	7.7	19.2	23.1
	事務・技術職(n=116)	22.4	26.7	15.5	10.3	9.5	31.0	36.2	24.1
	販売・生産・労務職(n=92)	28.3	22.8	18.5	10.9	10.9	35.9	40.2	18.5
	農林水産業従事者(n=32)	21.9	18.8	18.8	18.8	6.3	21.9	25.0	21.9
	自営業(n=63)	17.5	23.8	19.0	11.1	15.9	30.2	33.3	28.6
	パート・アルバイト(n=103)	14.6	19.4	9.7	2.9	8.7	30.1	43.7	32.0
	主に家事・育児(n=82)	17.1	31.7	12.2	12.2	8.5	30.5	46.3	20.7
	学生(n=9)	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	22.2	11.1	22.2
	無職(n=185)	19.5	18.4	15.1	11.9	9.2	34.1	33.0	20.5
その他(n=27)	18.5	14.8	18.5	18.5	7.4	33.3	29.6	25.9	
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	16.5	26.6	13.9	11.4	13.0	33.9	37.3	25.9
	板荷(n=14)	7.1	14.3	28.6	7.1	0.0	21.4	35.7	7.1
	西大芦(n=3)	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0
	加蘇(n=20)	20.0	25.0	15.0	10.0	10.0	30.0	30.0	25.0
	北犬飼(n=57)	24.6	19.3	15.8	12.3	12.3	24.6	33.3	15.8
	南摩(n=29)	17.2	24.1	24.1	13.8	3.4	27.6	41.4	17.2
	南押原(n=35)	14.3	20.0	17.1	2.9	8.6	25.7	31.4	22.9
	東大芦(n=19)	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	26.3	31.6	21.1
	菊沢(n=65)	24.6	13.8	18.5	7.7	3.1	29.2	33.8	27.7
	北押原(n=80)	26.3	18.8	12.5	10.0	10.0	31.3	41.3	23.8
	東部台(n=43)	23.3	18.6	14.0	11.6	18.6	23.3	32.6	11.6
	粟野(n=30)	20.0	20.0	16.7	16.7	0.0	33.3	36.7	26.7
	粕尾(n=8)	12.5	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5	25.0	25.0
	永野(n=8)	37.5	25.0	37.5	37.5	0.0	37.5	12.5	25.0
清洲(n=14)	28.6	14.3	7.1	7.1	0.0	50.0	28.6	35.7	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=681)	19.4	22.3	15.4	10.7	11.0	30.5	36.4	22.9
	旧粟野町(n=60)	23.3	18.3	18.3	15.0	1.7	35.0	30.0	28.3
居住年数	5年以下(n=40)	17.5	37.5	7.5	20.0	17.5	27.5	32.5	32.5
	6~10年(n=40)	15.0	22.5	7.5	2.5	12.5	15.0	35.0	30.0
	11~20年(n=83)	13.3	25.3	12.0	7.2	9.6	28.9	34.9	19.3
	21年以上(n=575)	21.2	20.0	17.2	11.3	9.6	32.2	36.9	22.8

(構成比:%)

		防犯への取り組み	耐震等の防災への取り組み	若者やファミリー世帯の住宅取得への支援	市外居住者やUターン者への定住化に向けた支援	家賃・住宅建設費や家賃に対する支援	市営住宅等の公共住宅の整備	その他	無回答
	全体(n=750)	26.0	19.7	35.7	27.5	27.1	14.1	4.7	9.1
性別	男性(n=331)	22.1	16.3	36.6	27.5	28.1	12.4	6.0	8.8
	女性(n=414)	29.5	22.7	35.3	27.5	26.6	15.7	3.4	8.7
職業	専門職(n=9)	55.6	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1
	管理職(n=26)	19.2	19.2	53.8	42.3	46.2	15.4	3.8	3.8
	事務・技術職(n=116)	22.4	17.2	44.0	34.5	26.7	11.2	10.3	2.6
	販売・生産・労務職(n=92)	23.9	23.9	38.0	22.8	38.0	18.5	3.3	4.3
	農林水産業従事者(n=32)	12.5	15.6	34.4	28.1	15.6	0.0	0.0	21.9
	自営業(n=63)	31.7	27.0	39.7	23.8	20.6	7.9	6.3	9.5
	パート・アルバイト(n=103)	31.1	23.3	33.0	23.3	34.0	13.6	4.9	5.8
	主に家事、育児(n=82)	35.4	24.4	35.4	28.0	31.7	11.0	2.4	7.3
	学生(n=9)	11.1	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0
	無職(n=185)	23.2	12.4	28.1	26.5	17.8	19.5	2.7	15.7
その他(n=27)	29.6	33.3	40.7	25.9	33.3	18.5	0.0	11.1	
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	31.3	23.1	38.6	26.3	32.6	16.5	5.4	3.2
	板荷(n=14)	28.6	7.1	42.9	28.6	50.0	7.1	7.1	0.0
	西大芦(n=3)	66.7	66.7	66.7	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	加蘇(n=20)	5.0	30.0	40.0	35.0	20.0	15.0	5.0	15.0
	北犬飼(n=57)	19.3	17.5	29.8	24.6	10.5	10.5	5.3	12.3
	南摩(n=29)	27.6	10.3	41.4	31.0	31.0	10.3	3.4	13.8
	南押原(n=35)	17.1	14.3	34.3	25.7	20.0	20.0	5.7	17.1
	東大芦(n=19)	15.8	5.3	36.8	15.8	15.8	5.3	0.0	15.8
	菊沢(n=65)	21.5	12.3	32.3	32.3	24.6	7.7	6.2	10.8
	北押原(n=80)	25.0	21.3	35.0	25.0	25.0	15.0	2.5	16.3
	東部台(n=43)	25.6	20.9	27.9	34.9	23.3	16.3	7.0	9.3
	粟野(n=30)	36.7	26.7	36.7	26.7	36.7	20.0	0.0	13.3
	粕尾(n=8)	12.5	0.0	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	37.5
	永野(n=8)	0.0	12.5	25.0	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5
	清洲(n=14)	21.4	14.3	28.6	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市(n=681)	26.3	19.8	36.3	27.6	27.3	14.2	5.0	8.4
	旧粟野町(n=60)	25.0	18.3	31.7	28.3	26.7	13.3	0.0	13.3
居住年数	5年以下(n=40)	40.0	27.5	47.5	30.0	40.0	27.5	2.5	7.5
	6～10年(n=40)	27.5	20.0	45.0	25.0	40.0	10.0	17.5	5.0
	11～20年(n=83)	24.1	21.7	37.3	22.9	27.7	14.5	9.6	8.4
	21年以上(n=575)	25.6	19.0	34.3	28.3	25.2	13.6	3.3	9.2

第3章 調査結果の分析

問21 住まいづくりや定住化についての取り組み

◎幅広い年齢層や医療・福祉に配慮した取り組みが高い。

【全体】

市が今後どのように住まいづくりや定住化についての取り組みをすればいいのかについて全体でみると、「医療・福祉施設との連携のとれた（公共）住宅等の整備」が36.0%、次いで「若者やファミリー世帯の住宅取得への支援」が35.7%、「高齢者や障がい者にやさしいバリアフリー等の取り組み」が30.7%と3割を超えて高い。

【性別】

性別でみると、男性は「若者やファミリー世帯の住宅取得への支援」が36.6%と最も高く、女性は「医療・福祉施設との連携のとれた（公共）住宅等の整備」が39.9%と最も高い。

【年代別】

年代別でみると、20代、30代は「若者やファミリー世帯の住宅取得への支援」、40代、50代、60代は「医療・福祉施設との連携のとれた（公共）住宅等の整備」、70歳以上は「高齢者や障がい者にやさしいバリアフリー等の取り組み」が最も高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、管理職、事務・技術職、農林水産業従事者、自営業では「若者やファミリー世帯の住宅取得への支援」、販売・生産・労務職、パート・アルバイト、主に家事・育児では「医療・福祉施設との連携のとれた（公共）住宅等の整備」、無職では「高齢者や障がい者にやさしいバリアフリー等の取り組み」が最も高くなっている。

【居住年数別】

居住年数別でみると、20年以下の居住年数では「若者やファミリー世帯の住宅取得への支援」が最も高く、21年以上では「医療・福祉施設との連携のとれた（公共）住宅等の整備」が高い。

【居住地区別】

居住地区別でみると、多くの地域で「若者やファミリー世帯の住宅取得への支援」が高くなっている。

旧鹿沼市では「医療・福祉施設との連携のとれた（公共）住宅等の整備」が36.4%、旧栗野町では「高齢者や障がい者にやさしいバリアフリー等の取り組み」が35.0%と最も高くなっている。

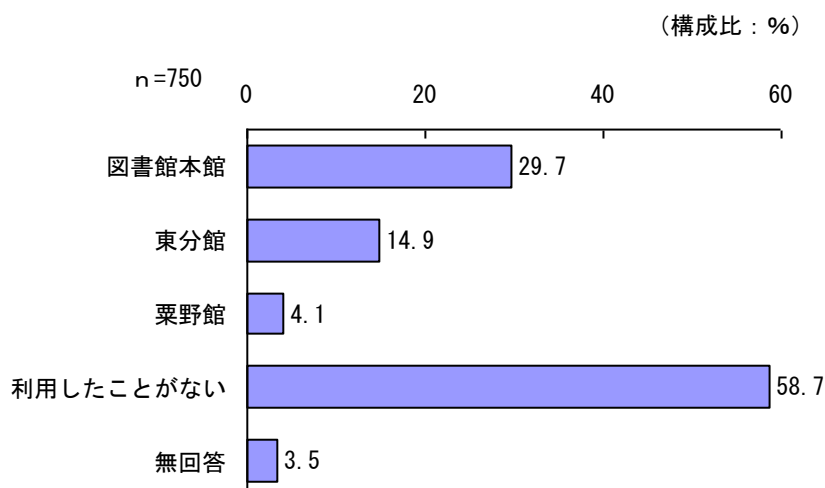
9

公共施設の利用について

(1) この1年間の図書館の利用の有無

問 22 図書館のうち1年以内に利用したものを、次の中からいくつでも選んでください。

問 22 この1年間の図書館の利用の有無【全体】(MA)



問 22 この1年間の図書館の利用の有無【性別・年代別・居住地区別 (15区分)】(MA)

		(構成比: %)				
		図書館本館	東分館	栗野館	利用したことがない	無回答
	全体 (n=750)	29.7	14.9	4.1	58.7	3.5
性別	男性 (n=331)	28.7	10.9	3.0	61.3	3.9
	女性 (n=414)	30.7	18.1	5.1	56.5	3.1
年代	20代 (n=52)	28.8	11.5	1.9	57.7	3.8
	30代 (n=109)	34.9	25.7	6.4	49.5	0.9
	40代 (n=116)	39.7	20.7	6.9	55.2	0.0
	50代 (n=136)	28.7	15.4	3.7	63.2	1.5
	60代 (n=189)	23.3	10.6	2.1	67.2	3.7
	70歳以上 (n=141)	28.4	8.5	3.5	53.2	9.9
	居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部) (n=316)	37.0	13.0	0.9	56.0
板荷 (n=14)		28.6	7.1	7.1	71.4	0.0
西大芦 (n=3)		33.3	0.0	33.3	66.7	0.0
加蘇 (n=20)		35.0	5.0	0.0	55.0	10.0
北犬飼 (n=57)		28.1	31.6	1.8	50.9	3.5
南摩 (n=29)		27.6	10.3	6.9	62.1	6.9
南押原 (n=35)		17.1	11.4	2.9	68.6	5.7
東大芦 (n=19)		10.5	0.0	0.0	89.5	0.0
菊沢 (n=65)		26.2	9.2	0.0	66.2	4.6
北押原 (n=80)		26.3	23.8	2.5	55.0	5.0
東部台 (n=43)		27.9	37.2	4.7	53.5	4.7
栗野 (n=30)		13.3	3.3	30.0	66.7	3.3
粕尾 (n=8)		25.0	0.0	12.5	62.5	0.0
永野 (n=8)		12.5	0.0	12.5	75.0	0.0
清洲 (n=14)		21.4	0.0	50.0	42.9	0.0

第3章 調査結果の分析

問 22 この1年間の図書館の利用の有無

◎「利用したことがない」が約6割をしめる。利用者のなかでは「図書館本館」が多い。

【全体】

この1年間の図書館の利用の有無について全体でみると、「利用したことがない」が58.7%で6割近くと高くなっている。一方、利用者のなかでは、「図書館本館」が29.7%で約3割。次いで「東分館」14.9%、「栗野館」が4.1%と続いている。

【性別】

性別でみると、「利用したことがない」は男性が61.3%、女性が56.5%と、男性が女性より4.8ポイント上回っており、女性の方が男性よりも図書館を利用している割合が高い。「図書館本館」「栗野館」を利用しているとの回答割合は女性が男性を2ポイント程度上回っており、「東分館」では7.2ポイント上回っている。

【年代別】

年代別でみると、「利用したことがない」は50代63.2%、60代67.2%と6割を超えて他の年代に比べ高くなっている。一方利用者では「図書館本館」「東分館」「栗野館」のいずれも30代、40代の利用したとの回答割合が他の年代に比べ高くなっている。

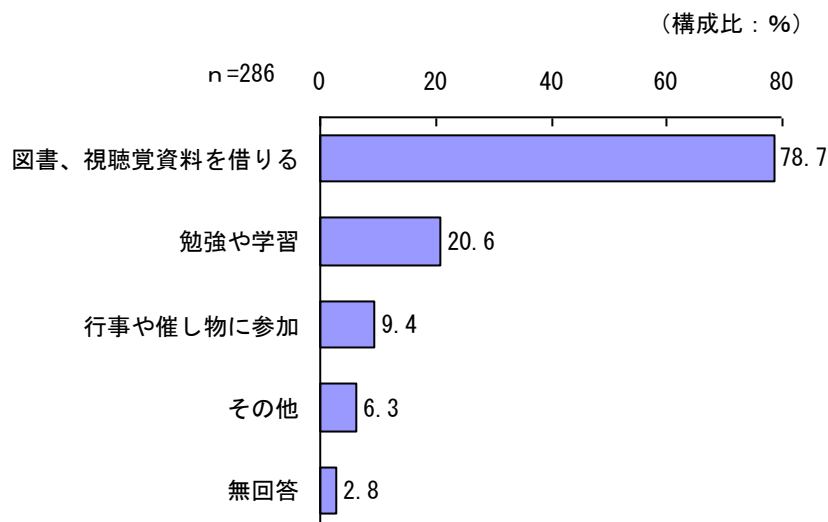
【居住区分別（15区分）】

居住区分別（15区分）でみると、図書館を利用したとの回答割合は「図書館本館」では鹿沼37.0%、加蘇35.0%が、「東分館」では東部台37.2%、北犬飼31.6%、北押原23.8%が、「栗野館」では清洲50.0%、栗野30.0%が、その他の居住地域と比べ高くなっている。

問 22-1 図書館を利用した目的について、次の中からいくつでも選んでください。

※問 22 で「図書館本館」「東分館」「栗野館」と回答したひとのみ

問 22-1 図書館の利用目的【全体】(MA)



問 22-1 図書館の利用目的【性別・年代別・居住地区別 (15 区分)】(MA)

(構成比: %)

		図書、視聴覚資料を借りる	勉強や学習	行事や催し物に参加	その他	無回答
	全体 (n=286)	78.7	20.6	9.4	6.3	2.8
性別	男性 (n=115)	77.4	20.9	5.2	11.3	2.6
	女性 (n=169)	80.5	19.5	12.4	3.0	3.0
年代	20代 (n=20)	65.0	45.0	5.0	5.0	10.0
	30代 (n=55)	74.5	29.1	12.7	1.8	1.8
	40代 (n=52)	88.5	17.3	13.5	7.7	0.0
	50代 (n=49)	81.6	16.3	4.1	6.1	4.1
	60代 (n=55)	85.5	20.0	10.9	5.5	0.0
	70歳以上 (n=52)	71.2	7.7	7.7	11.5	5.8
居住地区 (15区分)	鹿沼 (中央・東部・北部) (n=132)	80.3	18.9	7.6	5.3	3.0
	板荷 (n=4)	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	西大芦 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇 (n=7)	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3
	北犬飼 (n=26)	61.5	46.2	11.5	7.7	3.8
	南摩 (n=9)	77.8	22.2	22.2	11.1	0.0
	南押原 (n=9)	100.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	東大芦 (n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	菊沢 (n=20)	80.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	北押原 (n=33)	87.9	9.1	15.2	0.0	3.0
	東部台 (n=18)	94.4	16.7	16.7	5.6	0.0
	栗野 (n=9)	66.7	44.4	0.0	11.1	0.0
	粕尾 (n=3)	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	永野 (n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	清洲 (n=8)	75.0	12.5	12.5	0.0	0.0

第3章 調査結果の分析

問 22-1 図書館を利用した目的

◎「図書、視聴覚資料を借りる」が8割近く。

【全体】

図書館を利用した目的について全体でみると、「図書、視聴覚資料を借りる」が78.7%で8割近くと高くなっている。次いで「勉強や学習」が20.6%、「行事や催し物に参加」が9.4%と続いている。

【性別】

性別でみると、「図書、視聴覚資料を借りる」「行事や催し物に参加」は女性の回答割合が男性を上回っており、特に「行事や催し物に参加」は7.2ポイント差となっている。一方、「勉強や学習」は男性が女性をわずかに上回っている。

【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「図書、視聴覚資料を借りる」の回答割合が最も高くなっている。「勉強や学習」は20代が45.0%と4割を超えており、他の年代と比べ高くなっている。

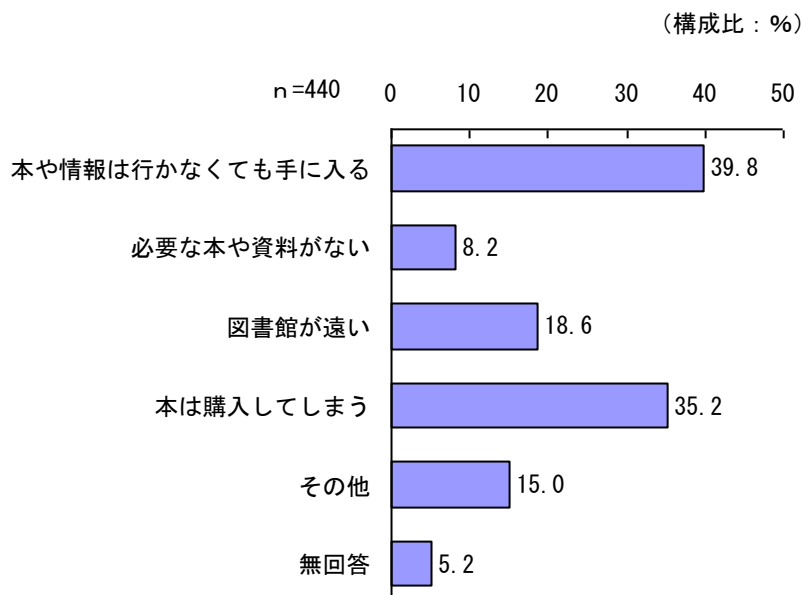
【居住区分別（15区分）】

居住区分別（15区分）でみると、すべての地域で「図書、視聴覚資料を借りる」の回答割合が最も高くなっている。「勉強や学習」は北犬飼が46.2%と他の年代と比べ高くなっている。

問 22-2 図書館を利用しない理由について、次の中からいくつでも選んでください。

※問 22 で「利用したことがない」と回答したひとのみ

問 22-2 図書館を利用しない理由【全体】(MA)



問 22-2 図書館を利用しない理由【性別・年代別・居住地区別 (15 区分)】(MA)

(構成比：%)

		本や情報は行かなくても手に入る	必要な本や資料がない	図書館が遠い	本は購入してしまう	その他	無回答
全体 (n=440)		39.8	8.2	18.6	35.2	15.0	5.2
性別	男性 (n=203)	43.8	9.9	12.3	35.5	11.3	6.4
	女性 (n=234)	36.8	6.0	23.9	35.0	18.4	3.8
年代	20代 (n=30)	53.3	20.0	20.0	30.0	16.7	3.3
	30代 (n=54)	42.6	13.0	13.0	33.3	20.4	3.7
	40代 (n=64)	43.8	10.9	15.6	31.3	15.6	3.1
	50代 (n=86)	45.3	5.8	16.3	39.5	9.3	3.5
	60代 (n=127)	37.0	5.5	17.3	36.2	15.7	7.1
	70歳以上 (n=75)	29.3	2.7	29.3	34.7	14.7	8.0
居住地区 (15区分)	鹿沼 (中央・東部・北部) (n=177)	40.7	9.6	9.0	40.1	15.8	3.4
	板荷 (n=10)	20.0	10.0	0.0	40.0	20.0	10.0
	西大芦 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	加蘇 (n=11)	27.3	0.0	27.3	63.6	9.1	0.0
	北犬飼 (n=29)	27.6	3.4	37.9	24.1	10.3	10.3
	南摩 (n=18)	38.9	0.0	33.3	33.3	22.2	0.0
	南押原 (n=24)	41.7	4.2	50.0	41.7	8.3	4.2
	東大芦 (n=17)	47.1	5.9	17.6	17.6	11.8	11.8
	菊沢 (n=43)	37.2	9.3	18.6	44.2	27.9	2.3
	北押原 (n=44)	54.5	9.1	15.9	29.5	6.8	0.0
	東部台 (n=23)	30.4	17.4	13.0	21.7	17.4	17.4
	粟野 (n=20)	65.0	5.0	25.0	15.0	5.0	15.0
	粕尾 (n=5)	40.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	永野 (n=6)	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7
	清洲 (n=6)	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7

第3章 調査結果の分析

問 22-2 図書館を利用しない理由

◎「本や情報は行かなくても手に入る」「本は購入してしまう」が3割を超える。

【全体】

図書館を利用しない理由について全体でみると、「本や情報は行かなくても手に入る」が 39.8%で約4割と最も高く、次いで「本は購入してしまう」が 35.2%で続いている。「図書館が遠い」は 18.6%、「必要な本や資料がない」は 8.2%となっている。

【性別】

性別でみると、「本や情報は行かなくても手に入る」「本は購入してしまう」は男性の回答割合が女性を上回っており、特に「本や情報は行かなくても手に入る」は7ポイント差となっている。一方、「図書館が遠い」は女性 23.9%が男性 12.3%を 11.6ポイント上回っている。

【年代別】

年代別でみると、20代から50代までの年代では「本や情報は行かなくても手に入る」が他の項目よりも5ポイント以上上回って最も高くなっており、70歳以上では「本は購入してしまう」が他の項目よりも5ポイント以上上回って最も高い。「必要な本や資料がない」は20代が、「図書館が遠い」は70歳以上が他の年代と比べて高くなっている。

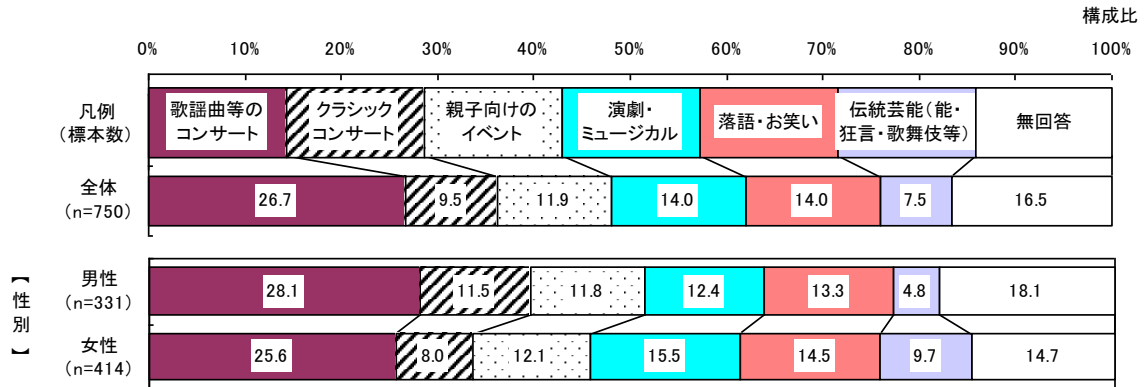
【居住区分別（15区分）】

居住区分別（15区分）でみると、ほぼすべての地域で「本や情報は行かなくても手に入る」「本は購入してしまう」の回答割合が高くなっているが、南押原では半数の50.0%が「図書館が遠い」と回答している。

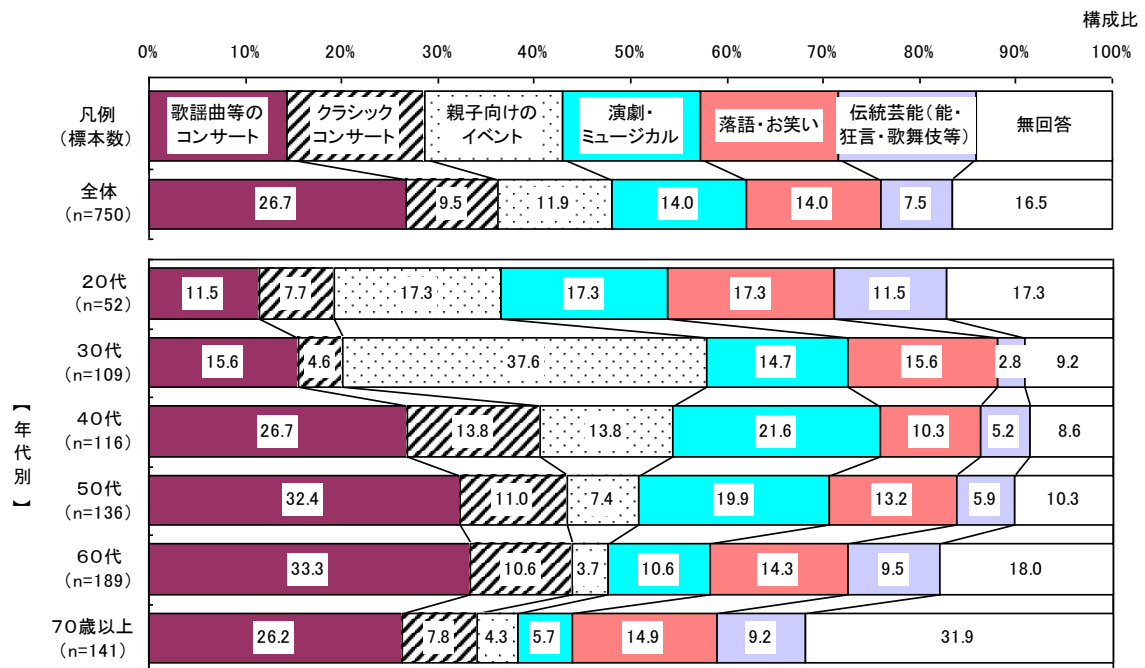
(2) 市民文化センターで観たい催し

問 23 市民文化センターでどのような催しを観たいですか。次の中から1つ選んでください。

問 23 市民文化センターで観たい催し【性別】(S A)

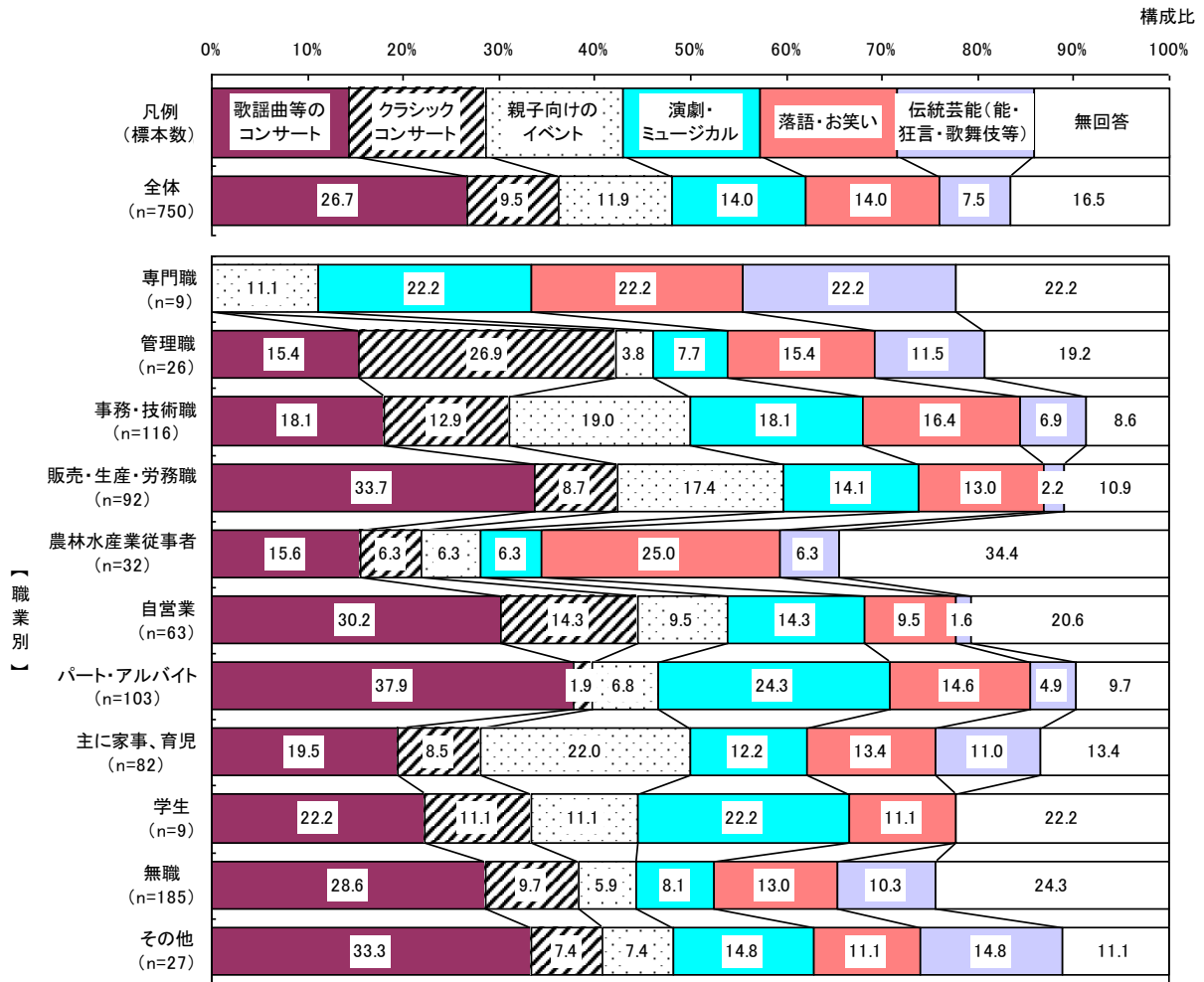


問 23 市民文化センターで観たい催し【年代別】(S A)



第3章 調査結果の分析

問 23 市民文化センターで観たい催し【職業別】(SA)



問 23 市民文化センターで観たい催し

◎「歌謡曲等のコンサート」が26.7%で最も高い。

【全体】

市民文化センターで観たい催しについて全体で見ると、「歌謡曲等のコンサート」が26.7%で最も高く、次いで「演劇・ミュージカル」「落語・お笑い」がともに14.0%で続いている。

【性別】

性別で見ると、「歌謡曲等のコンサート」「クラシックコンサート」では男性が女性を上回っているが、その他の項目では女性が男性を上回っており、特に「伝統芸能（能・狂言・歌舞伎等）」では女性が男性を4.9ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、「歌謡曲等のコンサート」は年代があがるごとに高くなる傾向にあり、60代が33.3%で最も高くなっている。「親子向けのイベント」は20代から40代にかけて高く、特に30代が37.6%と突出して高くなっている。「落語・お笑い」はすべての年代で10%台と安定している。「伝統芸能（能・狂言・歌舞伎等）」は20代が11.5%と10%を超えて最も高くなっている。

【職業別】

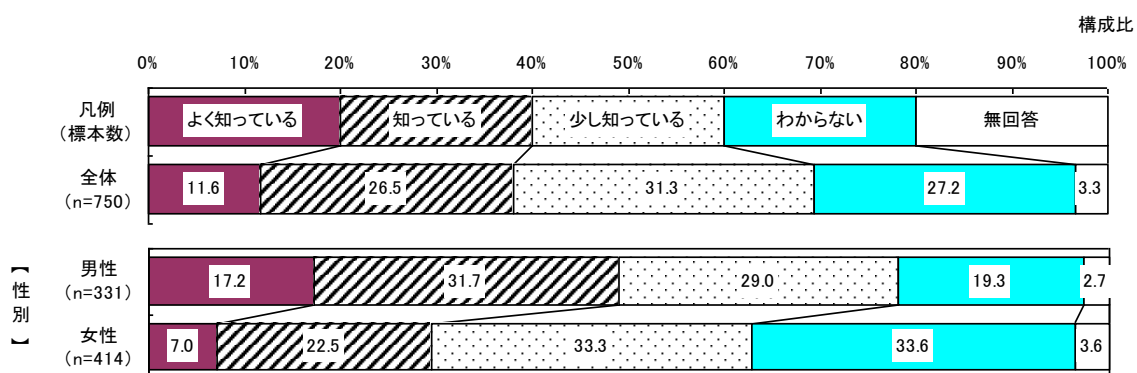
職業別で見ると、「歌謡曲等のコンサート」は販売・生産・労務職、パート・アルバイト、自営業で3割を超えて高く、「クラシックコンサート」は管理職が26.9%と突出して高い。「親子向けイベント」は主に家事・育児、販売・生産・労務職、事務・技術職が2割前後で高くなっている。

10 消防団について

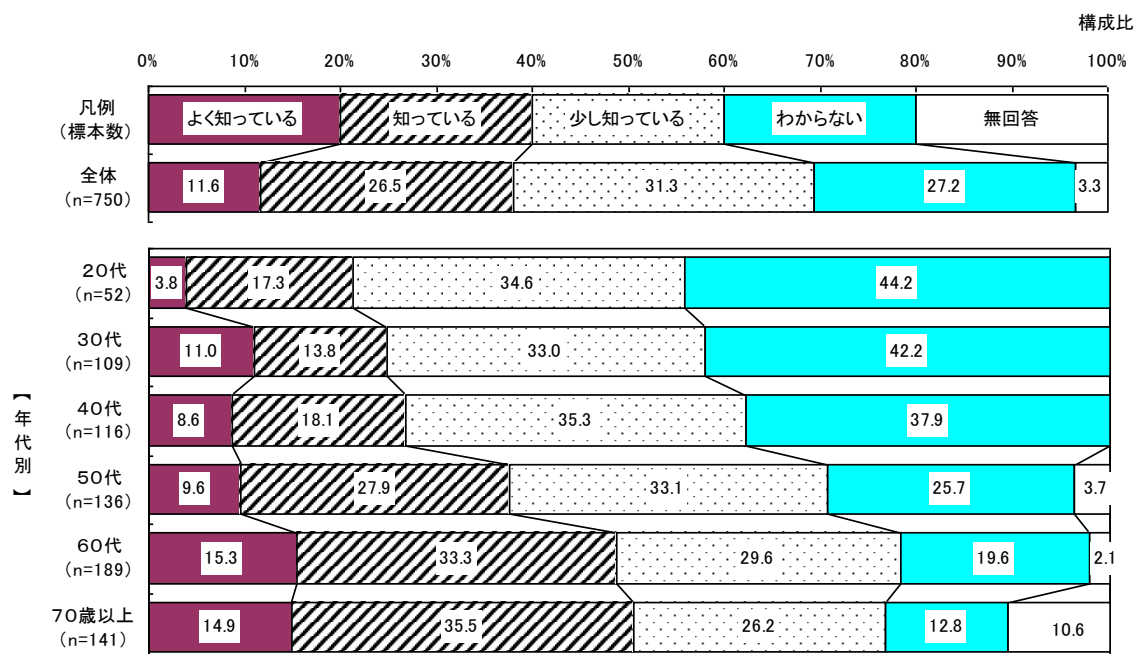
(1) 消防団の認知度

問 24 鹿沼市消防団は、団員定数 835 人の団本部と地域単位の 14 分団によって構成され、本市の消防防災活動に取り組んでいます。消防団活動について、知っていますか。次の中から1つ選んでください。

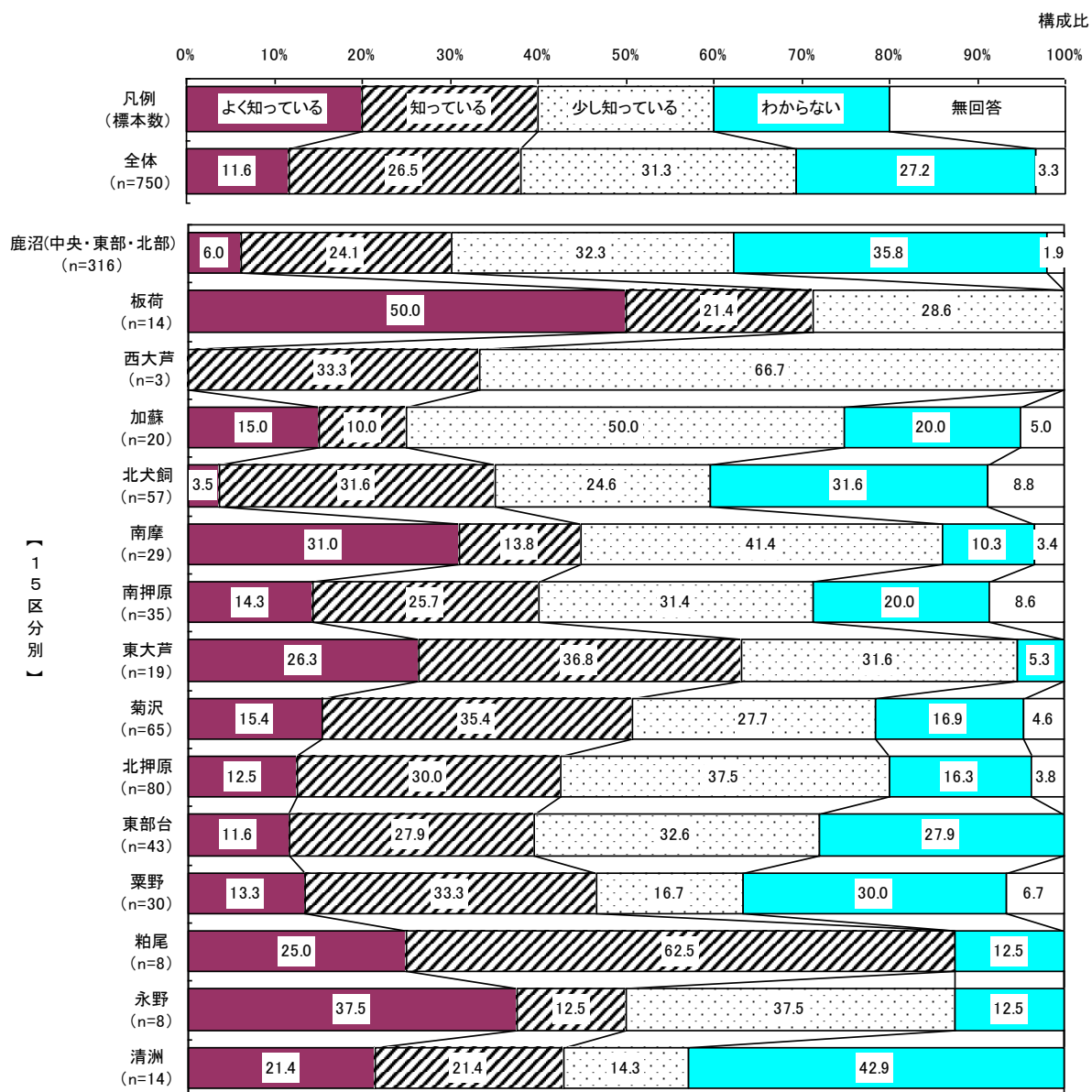
問 24 消防団の認知度【性別】(SA)



問 24 消防団の認知度【年代別】(SA)



問 24 消防団の認知度【居住地区別（15区分）】（SA）



第3章 調査結果の分析

問 24 消防団の認知度

◎『知っている』が約7割。

【全体】

鹿沼市の消防団の認知度について全体で見ると、「よく知っている」は11.6%、「知っている」は26.5%、「少し知っている」は31.3%となっており、3つを合わせた『知っている』は69.4%で約7割となっている。一方、「わからない」との回答割合は27.2%となっている。

【性別】

性別で見ると、「よく知っている」「知っている」の割合はともに男性の方が女性よりも10ポイント前後上回っており、「少し知っている」は女性が男性より4.3ポイント上回っている。『知っている』は男性が77.9%、女性が62.8%で、男性が女性より15.1ポイント上回っている。一方、「わからない」は男性が19.3%、女性は33.6%となっており、女性が男性より14.3ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、『知っている』の割合は年代が上がるごとに増えていく傾向にあり、20代が55.7%で最も低く、60代が78.2%で最も高い。一方、「わからない」は年代が上がるごとに低くなる傾向にあり、20代、30代では4割を超えているが、70歳以上では12.8%となっている。

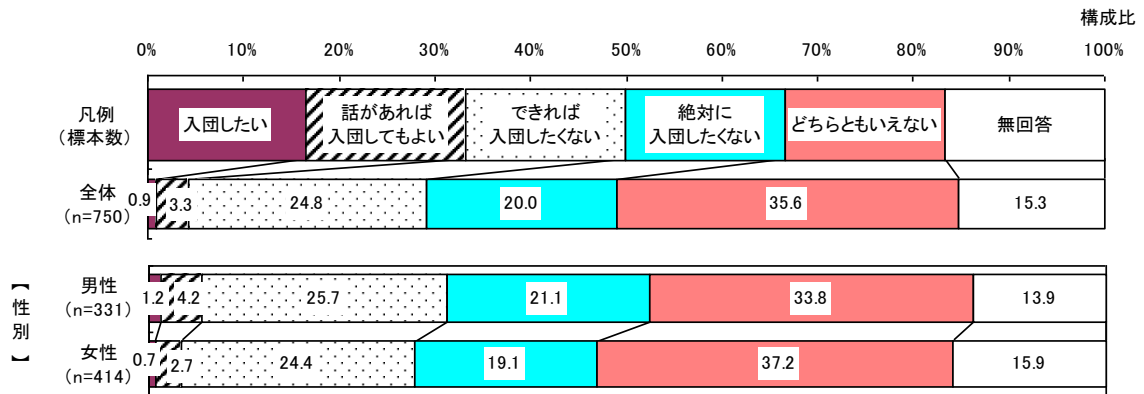
【居住地区別（15区分）】

居住地区別（15区分）で見ると、『知っている』の割合は板荷や東大芦では9割を超えて高くなっている。一方、鹿沼、北犬飼、栗野、清洲では『知っている』6割前後に留まっており、「わからない」は3割を超えて高くなっている。

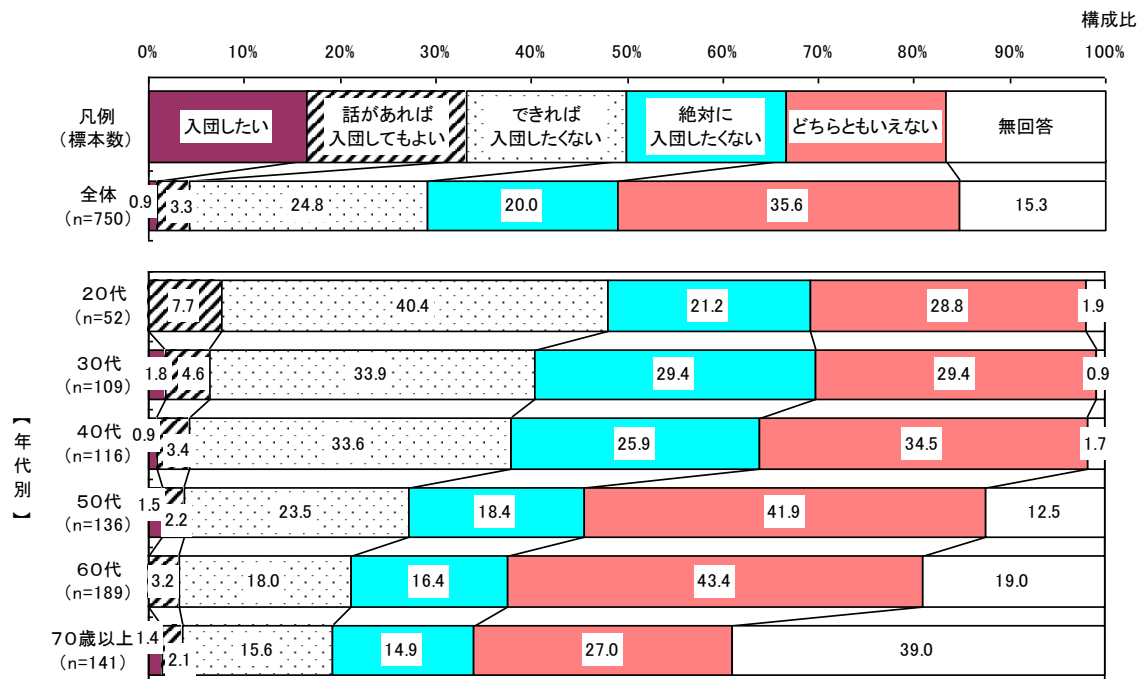
(2) 消防団への入団希望

問 25 全国的に消防団員が減っており、地域の消防防災力の低下が心配されています。あなたは、消防団への入団について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

問 25 消防団への入団希望【性別】(S A)

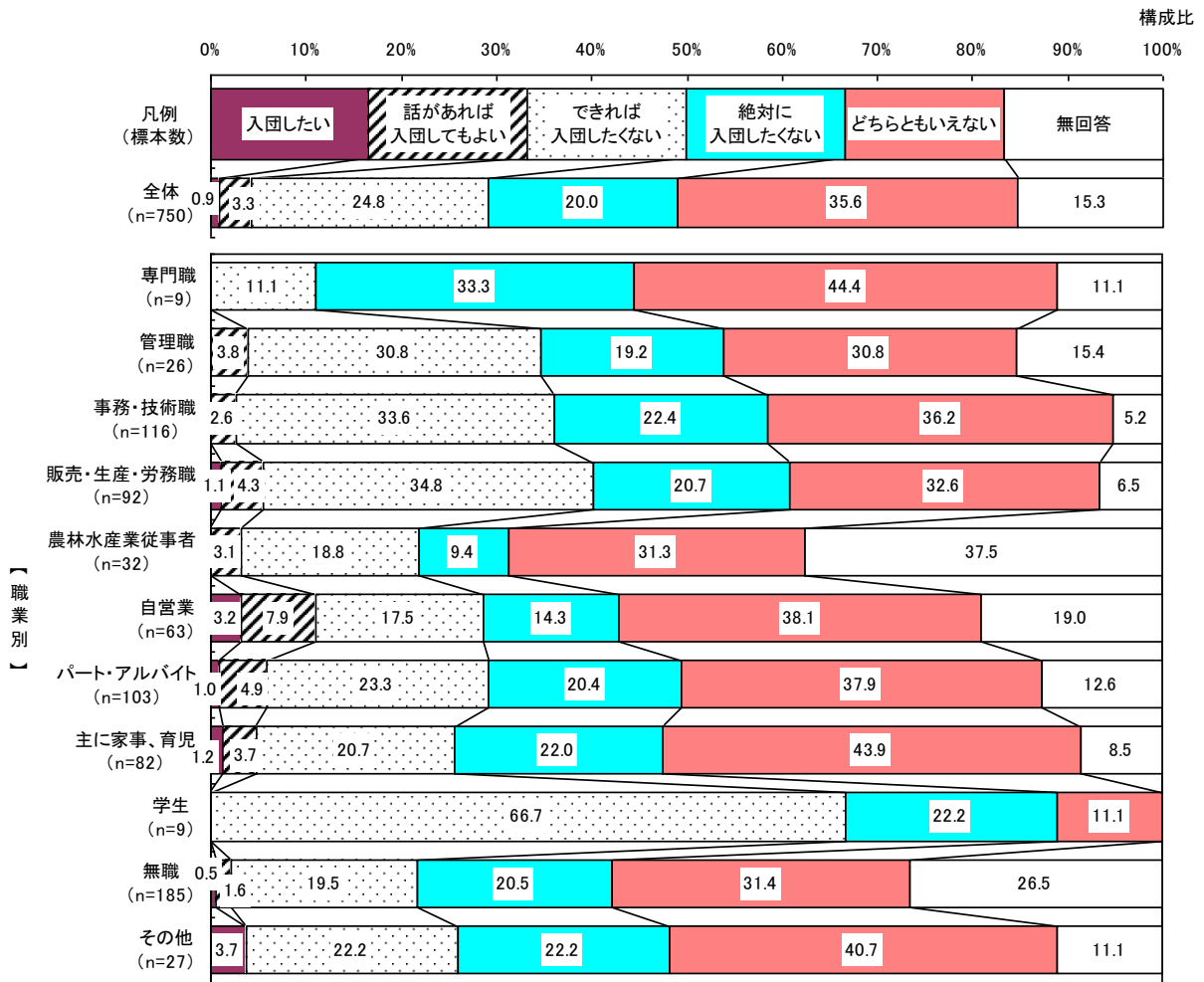


問 25 消防団への入団希望【年代別】(S A)

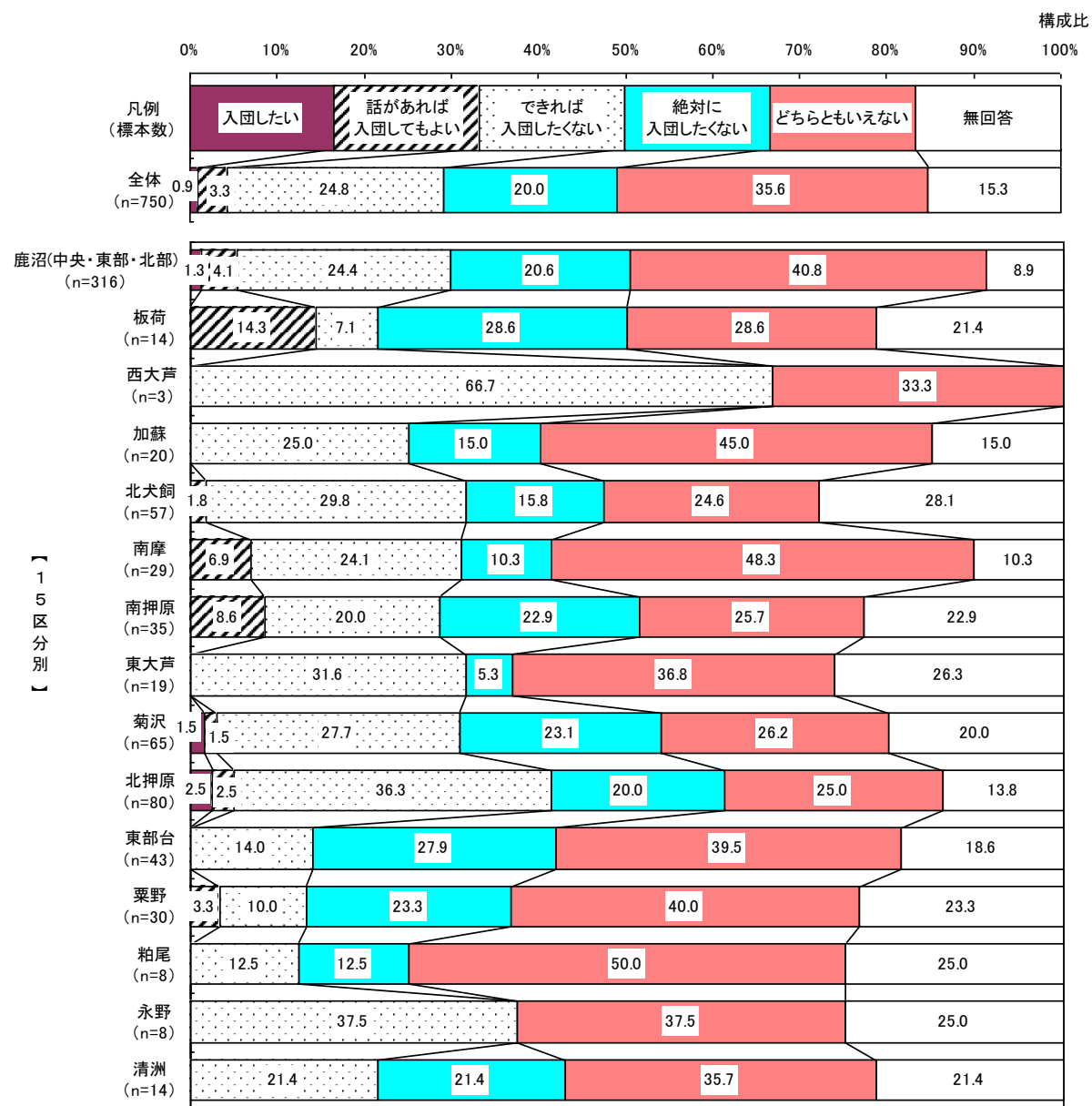


第3章 調査結果の分析

問 25 消防団への入団希望【職業別】(S A)



問 25 消防団への入団希望【居住地区別（15 区分）】（S A）



第3章 調査結果の分析

問 25 消防団への入団希望

◎『入団したくない』は4割を超える。『入団してもよい』は約4%。

【全体】

消防団への入団希望について全体でみると、「入団したい」と「話があれば入団してもよい」を合わせた『入団してもよい』は4.2%、一方「できれば入団したくない」と「絶対に入団したくない」を合わせた『入団したくない』は44.8%となっており、『入団してもよい』の回答割合は『入団したくない』の約10分の1程度に留まっている。

【性別】

性別でみると、『入団してもよい』と『入団したくない』の回答割合はともに男性の方が女性を上回っており、一方「どちらともいえない」や「無回答」といった消防団に関心がない割合は女性が男性を上回っている。

【年代別】

年代別でみると、20代の「話があれば入団してもよい」が7.7%と他の年代の『入団してもよい』よりも高くなっている。『入団してもよい』及び『入団したくない』の回答割合は年代があがるほど低くなっていく傾向にあり、「どちらともいえない」や「無回答」といった消防団に関心がない割合は年代があがるほど高くなっていく傾向にある。

【職業別】

職業別でみると、『入団してもよい』の回答割合は自営業で11.1%、パート・アルバイトで5.9%、販売・生産・労務職で5.4%と5%を超えている。一方、『入団したくない』は事務・技術職56.0%、販売・生産・労務職55.5%、管理職50.0%で5割に達している。

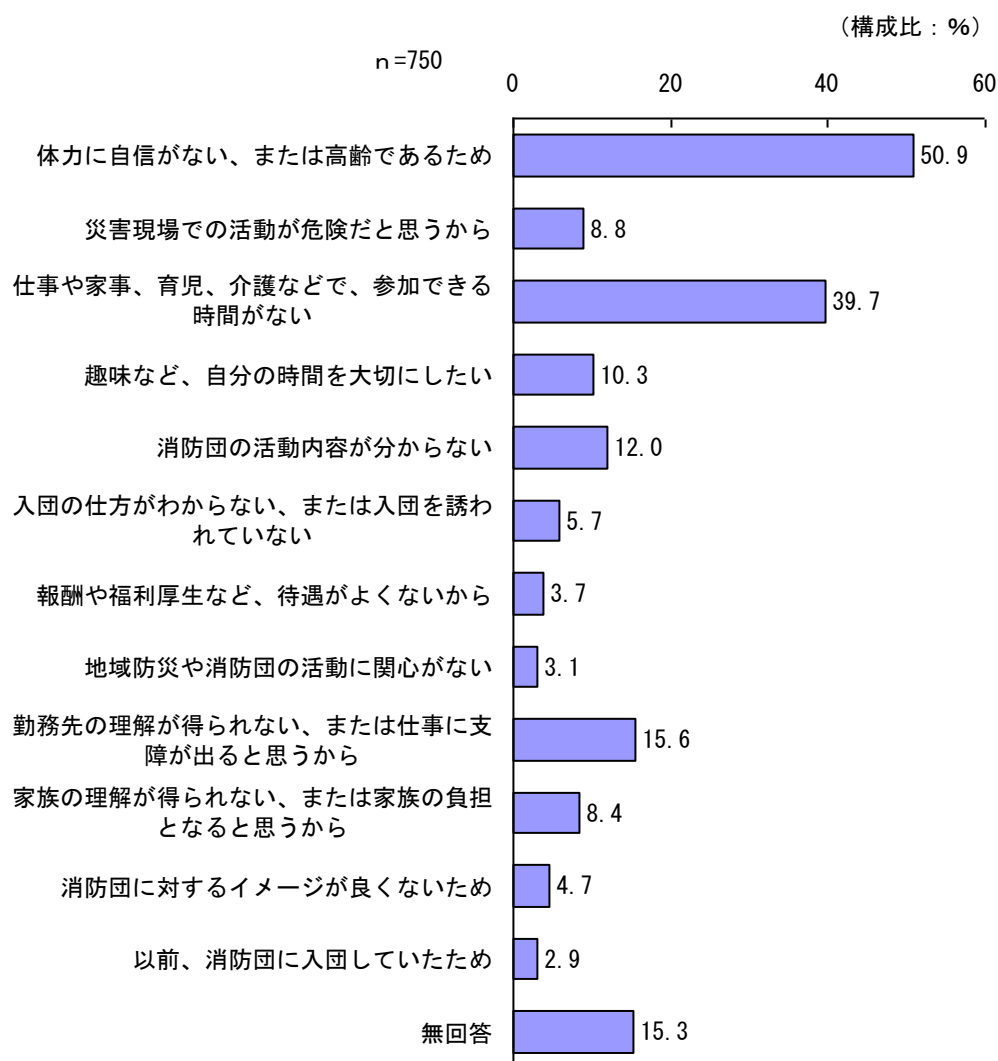
【居住地区別（15区分）】

居住地区別（15区分）でみると、『入団してもよい』は板荷で14.3%と最も高く、南押原で8.6%、南摩で6.9%と5%を超えている。一方、『入団したくない』は北押原で56.3%、菊沢で50.8%と5割を超えており、北犬飼45.6%、鹿沼45.0%、清洲42.8%、加蘇40.0%でも4割に達している。

(3) 入団の支障となる理由

問 26 入団に際して支障になると思うこと、または入団したくないと思う理由は、どのようなことですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

問 26 入団の支障となる理由【全体】(MA)



第3章 調査結果の分析

問 26 入団の支障となる理由【性別・年代別・職業別・居住地区別】(MA)

(構成比:%)

		体力に自信がない、 または高齢であるため	災害現場での活動が 危険だと思っから	参加できる時間がない 仕事や家事、育児、 介護などで、	趣味など、自分の時間を 大切にしたい	消防団の活動内容が 分らない	入団の仕方がわからない、 または入団を誘われて いない	報酬や福利厚生など、 待遇がよくないから
	全体(n=750)	50.9	8.8	39.7	10.3	12.0	5.7	3.7
性別	男性(n=331)	55.9	7.6	32.6	13.9	6.0	5.1	5.1
	女性(n=414)	47.1	9.9	45.4	7.2	16.9	6.3	2.7
年代	20代(n=52)	32.7	23.1	53.8	32.7	25.0	25.0	9.6
	30代(n=109)	22.9	11.0	81.7	18.3	24.8	11.9	8.3
	40代(n=116)	34.5	10.3	65.5	7.8	13.8	3.4	2.6
	50代(n=136)	55.9	10.3	50.7	8.8	11.8	4.4	2.9
	60代(n=189)	73.0	4.8	16.4	8.5	4.8	2.6	1.6
	70歳以上(n=141)	58.2	5.0	2.1	2.1	5.7	1.4	2.8
職業	専門職(n=9)	44.4	0.0	22.2	0.0	33.3	11.1	0.0
	管理職(n=26)	53.8	0.0	38.5	11.5	0.0	0.0	0.0
	事務・技術職(n=116)	38.8	8.6	69.8	12.9	15.5	9.5	3.4
	販売・生産・労務職(n=92)	39.1	8.7	59.8	30.4	7.6	5.4	8.7
	農林水産業従事者(n=32)	50.0	9.4	12.5	3.1	6.3	0.0	3.1
	自営業(n=63)	60.3	12.7	41.3	6.3	7.9	3.2	3.2
	パート・アルバイト(n=103)	45.6	9.7	50.5	1.0	15.5	4.9	1.9
	主に家事、育児(n=82)	42.7	8.5	51.2	13.4	23.2	11.0	2.4
	学生(n=9)	66.7	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1
	無職(n=185)	65.9	8.1	7.6	4.9	8.1	3.8	3.8
その他(n=27)	59.3	7.4	29.6	11.1	11.1	3.7	3.7	
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)(n=316)	51.3	8.2	47.2	12.7	16.1	9.8	4.1
	板荷(n=14)	42.9	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0
	西大芦(n=3)	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	加蘇(n=20)	50.0	10.0	45.0	15.0	5.0	5.0	0.0
	北犬飼(n=57)	49.1	3.5	31.6	1.8	7.0	0.0	0.0
	南摩(n=29)	48.3	3.4	34.5	0.0	10.3	3.4	3.4
	南押原(n=35)	48.6	14.3	37.1	2.9	11.4	2.9	2.9
	東大芦(n=19)	68.4	21.1	21.1	15.8	0.0	0.0	0.0
	菊沢(n=65)	52.3	9.2	40.0	4.6	10.8	1.5	3.1
	北押原(n=80)	50.0	11.3	35.0	12.5	10.0	5.0	8.8
	東部台(n=43)	53.5	11.6	37.2	16.3	9.3	2.3	2.3
	栗野(n=30)	53.3	13.3	33.3	10.0	23.3	10.0	6.7
	粕尾(n=8)	37.5	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	永野(n=8)	62.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
清洲(n=14)	50.0	7.1	28.6	7.1	7.1	0.0	7.1	

(構成比: %)

		地域防災や消防団の活動に関心がない	勤務先の理解が得られない、または仕事に支障が出ると思うから	家族の理解が得られない、または家族の負担となると思うから	消防団に対するイメージが良くないため	以前、消防団に入団していたため	無回答
	全体 (n=750)	3.1	15.6	8.4	4.7	2.9	15.3
性別	男性 (n=331)	3.3	21.1	7.3	4.8	6.0	11.2
	女性 (n=414)	2.9	11.1	9.4	4.6	0.5	18.6
年代	20代 (n=52)	7.7	25.0	5.8	7.7	0.0	1.9
	30代 (n=109)	7.3	24.8	22.9	12.8	0.9	2.8
	40代 (n=116)	4.3	31.0	11.2	5.2	3.4	5.2
	50代 (n=136)	1.5	18.4	9.6	3.7	5.9	13.2
	60代 (n=189)	2.1	4.8	3.2	2.1	3.2	18.0
	70歳以上 (n=141)	0.0	3.5	2.1	0.7	2.1	36.9
職業	専門職 (n=9)	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1
	管理職 (n=26)	0.0	38.5	3.8	7.7	7.7	15.4
	事務・技術職 (n=116)	2.6	29.3	16.4	7.8	2.6	5.2
	販売・生産・労務職 (n=92)	7.6	32.6	9.8	6.5	9.8	5.4
	農林水産業従事者 (n=32)	0.0	9.4	3.1	3.1	12.5	34.4
	自営業 (n=63)	3.2	19.0	4.8	3.2	3.2	12.7
	パート・アルバイト (n=103)	5.8	11.7	6.8	3.9	0.0	17.5
	主に家事、育児 (n=82)	1.2	7.3	17.1	6.1	2.4	12.2
	学生 (n=9)	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職 (n=185)	1.6	2.7	3.8	2.7	0.0	25.9
その他 (n=27)	0.0	7.4	7.4	0.0	0.0	7.4	
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部) (n=316)	3.2	16.1	10.1	4.1	0.9	9.2
	板荷 (n=14)	0.0	7.1	0.0	7.1	28.6	21.4
	西大芦 (n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	加蘇 (n=20)	15.0	15.0	0.0	5.0	10.0	20.0
	北犬飼 (n=57)	5.3	14.0	5.3	5.3	1.8	22.8
	南摩 (n=29)	0.0	17.2	3.4	3.4	3.4	24.1
	南押原 (n=35)	0.0	17.1	8.6	5.7	5.7	20.0
	東大芦 (n=19)	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	26.3
	菊沢 (n=65)	1.5	18.5	6.2	9.2	3.1	15.4
	北押原 (n=80)	2.5	16.3	15.0	5.0	5.0	17.5
	東部台 (n=43)	4.7	11.6	2.3	0.0	0.0	23.3
	粟野 (n=30)	0.0	16.7	16.7	6.7	6.7	13.3
	粕尾 (n=8)	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0
	永野 (n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
	清洲 (n=14)	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	14.3

第3章 調査結果の分析

問 26 入団の支障となる理由

◎体力や高齢のためが約5割。仕事や家事・育児・介護のためが約4割。

【全体】

消防団への入団の支障となる理由について全体で見ると、「体力に自信がない、または高齢であるため」との回答割合が50.9%と5割を超えている。次いで「仕事や家事、育児、介護などで、参加できる時間がない」が39.7%と4割近くになっている。また、「消防団の活動内容がわからない」という回答も12.0%となっている。

【性別】

性別で見ると、男性、女性ともに「体力に自信がない、または高齢であるため」が最も高く、男性55.9%が女性47.1%を8.8ポイント上回っている。また「勤務先の理解が得られない、または仕事に支障がでると思うから」は男性が21.1%、女性が11.1%と、男性が女性より10ポイント上回っている。一方、「仕事や家事、育児、介護などで、参加できる時間がない」は男性が32.6%、女性が45.4%で、女性が男性より12.8ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、30代は「仕事や家事、育児、介護などで、参加できる時間がない」が81.7%、「家族の理解が得られない、または家族の負担になると思うから」が22.9%と、他の年代と比較して高くなっている。「勤務先の理解が得られない、または仕事に支障がでると思うから」の回答割合は40代以下の年代で高くなっており、「趣味など、自分の時間を大切にしたい」は20代、30代で高くなっている。「消防団の活動内容がわからない」は年代があがるにつれて低くなっていく傾向がある。

【職業別】

職業別で見ると、仕事や家事、育児、介護などで、参加できる時間がない」は事務・技術職、販売・生産・労務職、主に家事・育児、パート・アルバイトで回答割合が5割を超えている。また、「勤務先の理解が得られない、または仕事に支障がでると思うから」は管理職、事務・技術職、販売・生産・労務職で3割前後と、他の職業に比べ高くなっている。

【居住地区別（15区分）】

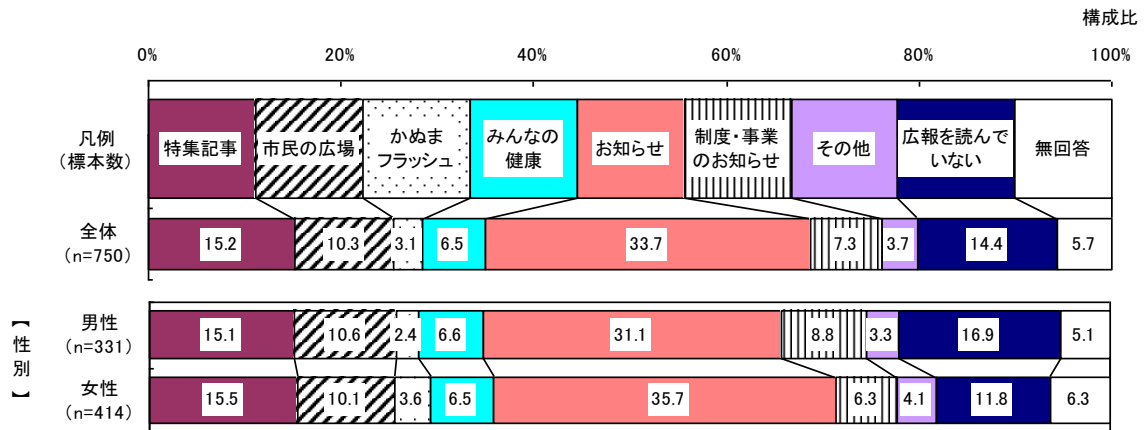
居住地区別（15区分）で見ると、ほとんどの地域で「体力に自信がない、または高齢であるため」が最も高く、次いで「仕事や家事、育児、介護などで、参加できる時間がない」が続いている。東大芦では「災害現場での活動が危険だと思うから」が21.1%、加蘇では「地域防災や消防団の活動に関心がない」が15.0%と、他の地域と比べ高くなっている。

11 広報活動について

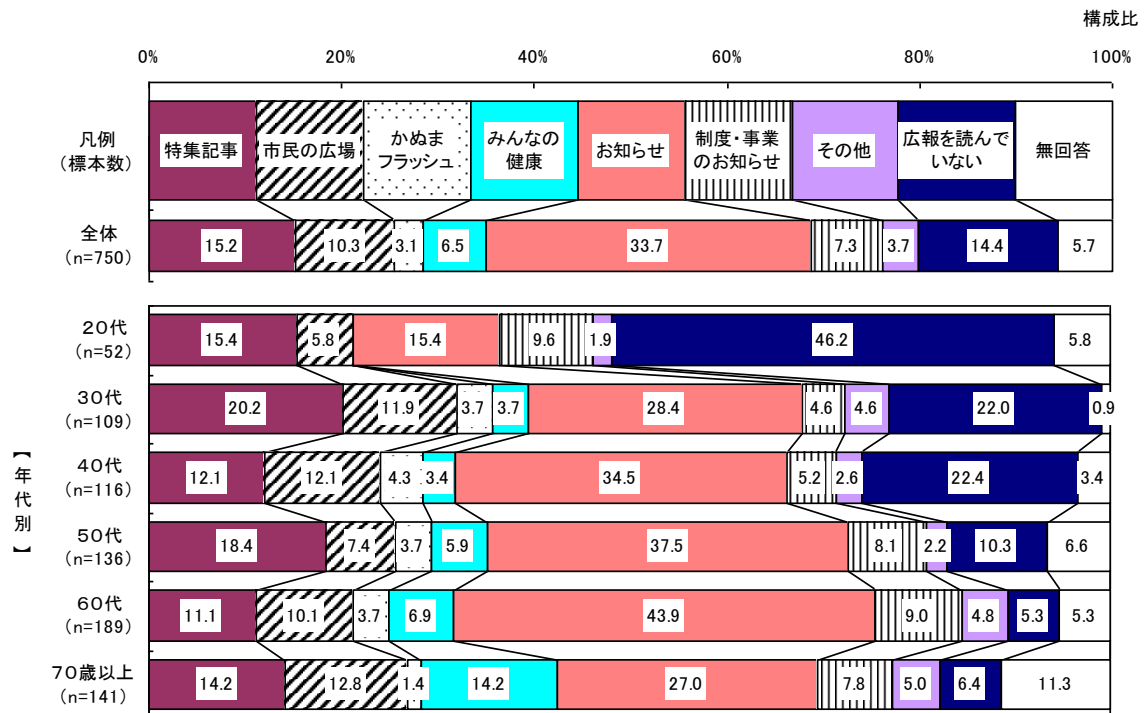
(1) 広報かめまでよく読む記事

問 27 広報かめまのどんな記事をよく読みますか。次の中から1つ選んでください。

問 27 広報かめまでよく読む記事【性別】(SA)



問 27 広報かめまでよく読む記事【年代別】(SA)



第3章 調査結果の分析

問 27 広報かぬまでよく読む記事

◎「お知らせ」が3割を超える。「広報を読んでいない」は14.4%。

【全体】

広報かぬまでよく読む記事について全体で見ると、「お知らせ」が33.7%と3割を超えて最も多い。次いで「特集記事」が15.2%、「市民の広場」が10.3%と続いている。「広報を読んでいない」は14.4%となっている。

【性別】

性別で見ると、「お知らせ」は男性が31.1%、女性が35.7%となっており、女性が男性を4.6ポイント上回っている。一方、「制度・事業のお知らせ」は男性が8.8%、女性が6.3%となっており、男性が女性を2.5ポイント上回っている。また、「広報を読んでいない」は男性が16.9%、女性が11.8%となっており、男性が女性を5.1ポイント上回っている。

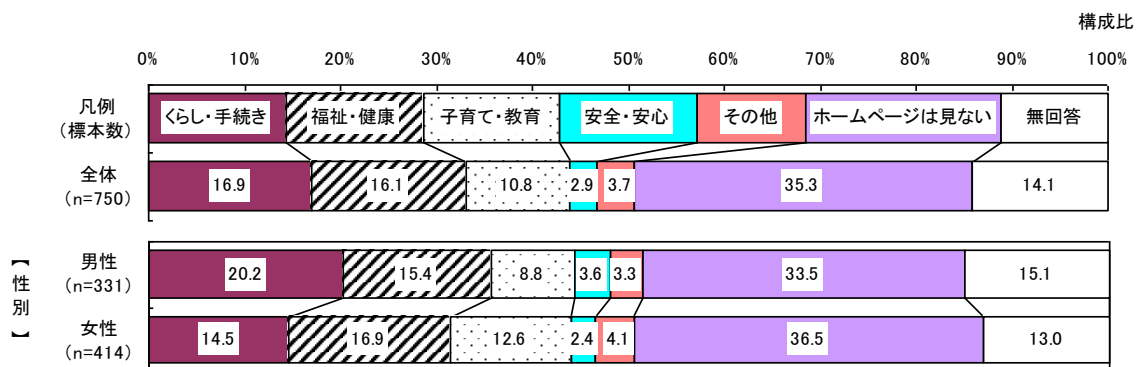
【年代別】

年代別で見ると、「広報を読んでいない」が20代では46.2%と高くなっており、30代、40代でも2割以上の回答割合になっている。どの年代でも「お知らせ」が読まれた記事として最も高いが、20代では「お知らせ」と「特集記事」がともに15.2%と同じ割合になっている。また、「みんなの健康」と「制度・事業のお知らせ」は年代があがるにつれて高くなっていく傾向にある。

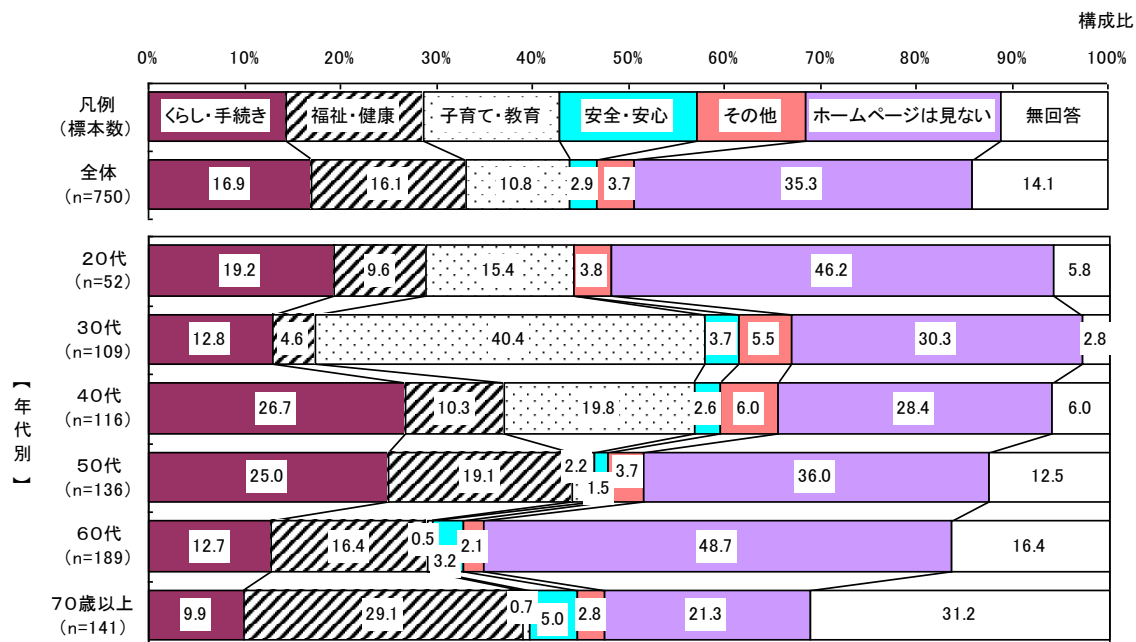
(2) 市のホームページで知りたい情報

問 28 市のホームページで一番知りたい情報は何か。次の中から1つ選び、具体的に知りたい情報をご記入ください。

問 28 市のホームページで知りたい情報【性別】(SA)

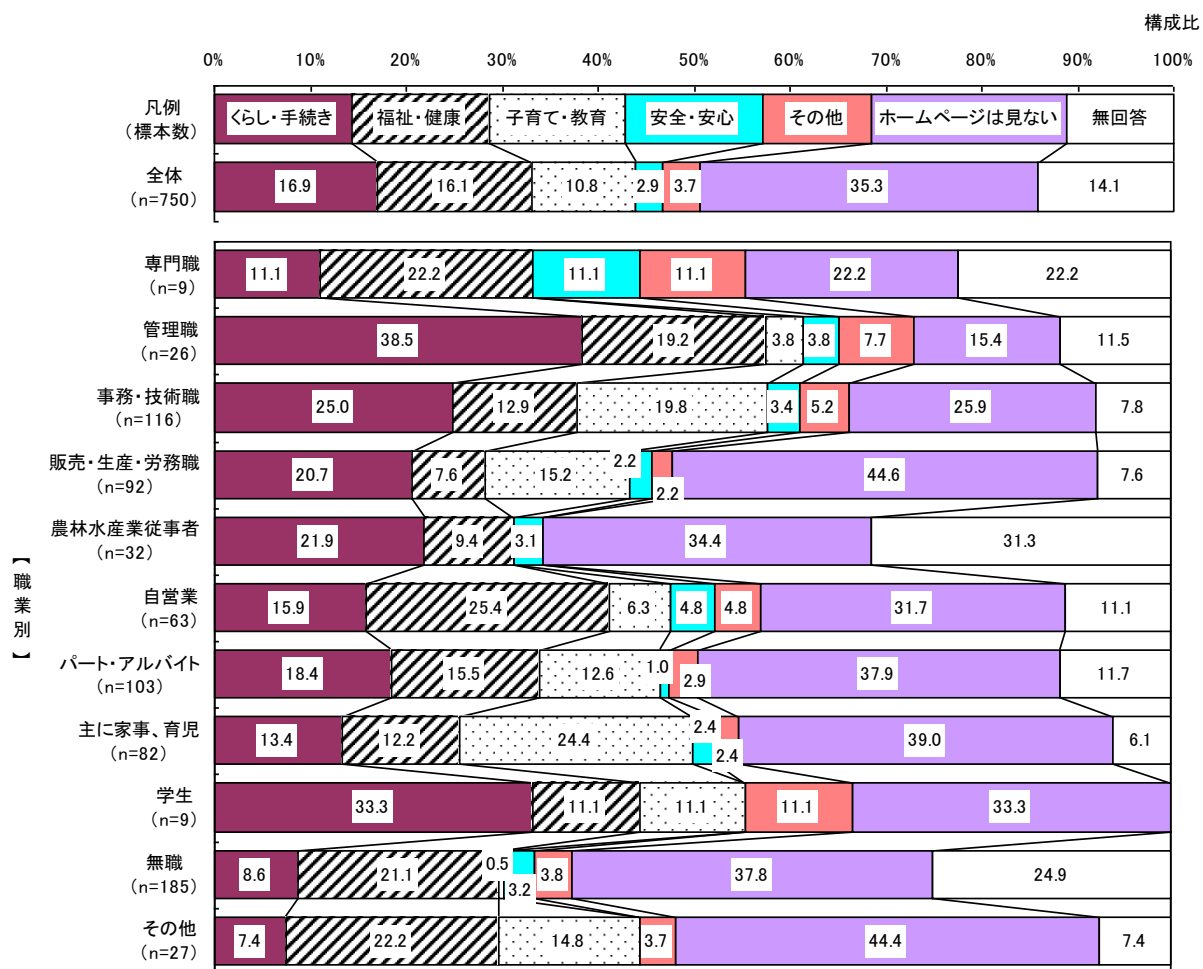


問 28 市のホームページで知りたい情報【年代別】(SA)



第3章 調査結果の分析

問 28 市のホームページで知りたい情報【職業別】(SA)



問 28 市のホームページで知りたい情報

◎「くらし・手続き」「福祉・健康」が高い。「ホームページを見ない」は3割を超える。

【全体】

市のホームページで知りたい情報について全体で見ると、知りたい情報では「くらし・手続き」が16.9%、「福祉・健康」と16.1%と同じくらいの割合になっている。一方、「ホームページは見ない」は35.3%と3割を超えて最も高くなっている。

【性別】

性別で見ると、「くらし・手続き」は男性が20.2%、女性が14.5%となっており、男性が女性を5.7ポイント上回っている。一方、「子育て・教育」は男性が8.8%、女性が12.6%となっており、女性が男性を3.8ポイント上回っている。また、「ホームページは見ない」は市の広報とは反対に、男性が33.5%、女性が36.5%となっており、女性が男性を3ポイント上回っている。

【年代別】

年代別で見ると、「ホームページは見ない」は60代が48.7%と最も多く、次いで20代の46.2%となっている。「くらし・手続き」は40代と50代が25%を超えて高くなっている。「子育て・教育」は20代から40代にかけて高く、特に30代は40.4%と他の年代と比べ突出して高い。「福祉・健康」は40代以上の年代で10%を超えており、特に70歳以上では29.1%と約3割になっている。

【職業別】

職業別で見ると、「くらし・手続き」は管理職が38.5%と3割を超えて高くなっている。「福祉・健康」は、自営業が25.4%、無職が21.1%、「子育て・教育」は主に家事・育児が24.4%と2割を超えて高くなっている。

**第25回
市政に関する世論調査 調査報告書**

平成27年11月

編 集：鹿沼市 総務部秘書課広報広聴係
〒322-8601 栃木県鹿沼市今宮町1688-1
電話 0289-63-2128

調査委託：株式会社 アイアールエス